

# 若年層の東京圏、地方圏への 移動に関する意識調査

---

## 報告書

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局  
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
令和5年3月

## 《目次》

1. 調査概要 . . . . .	3
2. 回答者の属性. . . . .	7
3. 集計結果. . . . .	10
4. まとめ. . . . .	67
【参考資料】 過年度調査結果（抜粋） . . . . .	71

# 1. 調査概要

---

# 1. 調査概要

## 調査目的

- ・若年層のうち感染症拡大以降の東京圏、地方圏間の移動者について、移動の理由や意識等の調査を行うことで、感染症拡大後の移動状況を的確に捉えた上で、その中で観測される移動者の実態把握を行うことを目的とする。

## 調査方法

- ・インターネットを利用したアンケート調査。

## 調査時期

- ・2023年1月13日（金）～1月22日（日）

## 調査対象

- ・令和2年4月以降から調査回答時点までに東京圏から地方圏へ移動した15才-29才の男女

## サンプル数

- ・東京圏から地方圏への移動者：916人
- ・地方圏から東京圏への移動者：1,224人

(※) 東京圏：埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

【サンプル内訳詳細】

(サンプル)

(性別) (移動の別) (年齢階級別)	男性				女性				総数
	15才-19才	20才-24才	25才-29才	計	15才-19才	20才-24才	25才-29才	計	
東京圏から地方圏へ移動者	16	74	127	217	29	224	446	699	916
地方圏から東京圏へ移動者	46	79	162	287	115	348	474	937	1,224

# 1. 調査概要

## ウェイトバックについて

- 回収後のサンプルに男女、年齢等の偏りが見られたため、ウェイトバック集計を実施。「住民基本台帳人口移動報告」に基づいた2020～2022年の移動者数となるようにサンプル数に重みをつけて集計。
- ウェイトバック（重み）は、東京圏・地方圏への移動別×性別×年齢階級別に設定。
- 集計結果は、ウェイトバック後の数値。参考として各集計にはアンケート回答数ベースのサンプル数を記載。

【「住民基本台帳人口移動報告」に基づく2020～2022年の移動者数の集計結果】

(人)

(性別) (移動の別) \ (年齢階級別)	男性			女性		
	15才-19才	20才-24才	25才-29才	15才-19才	20才-24才	25才-29才
東京圏から地方圏へ移動者	26,734	137,352	126,995	16,182	94,231	98,285
地方圏から東京圏へ移動者	59,783	236,429	162,627	48,755	211,469	125,174

# 1. 調査概要

## 設問項目

- Q1. あなたが都道府県をまたいで転居した時期を教えてください。
- Q2. あなたの現在の就労・就学形態をお教えてください。
- Q3. 現在のご職業をお教えてください。
- Q4. あなたは、都道府県をまたいで転居した際に、転職しましたか。
- Q5. 転居前の就労形態をお教えてください。
- Q6. 転居前のご職業をお教えてください。
- Q7. あなたは現在結婚をしていますか。
- Q8. 同居している家族の構成についてお教えてください。
- Q9. あなたは現在、単身赴任をしていますか。
- Q10. あなたの出身地の都道府県はどこですか。
- Q11. 転居はあなた自身の都合に基づくものでしたでしょうか。
- Q12. 転居したきっかけをお教えてください。
- Q13. <仕事・学業関連> あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。 (東京圏から地方圏への移動者)
- Q14. <その他、生活関連> あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。 (東京圏から地方圏への移動者)
- Q15. <仕事・学業関連> あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。 (地方圏から東京圏への移動者)
- Q16. <その他、生活関連> あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。 (地方圏から東京圏への移動者)
- Q17. 2020年4月以前における、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望についてお教えてください。
- Q18. 2020年4月～2021年頃における、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望についてお教えてください。
- Q19. 現在の、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望についてお教えてください。
- Q20. 2020年4月以前(新型コロナウイルス感染症拡大以前)まであなたが居住地を選択する際に重視していたことは何ですか。
- Q21. 2020年4月～2021年頃(新型コロナウイルス感染症拡大直後)であなたが居住地を選択する際に重視していたことは何ですか。
- Q22. 現在(2022年12月時点)、あなたが居住地を選択する際に重視していることは何ですか。
- Q23. 次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。
- Q24. 次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。
- Q25. あなたは、地方圏での居住において、以下のそれぞれの地域について、どの程度住みたいと思われますか。
- Q26. 生活、仕事、学業などにおけるデジタル化(テレワークやオンライン教育、遠隔医療など)が推進されることで、都市から地方へ転居しやすくなると思いますか。
- Q27. デジタル技術の普及・進展に関して、あなたが居住地を選択する際の要因に与える影響が大きいと考えるものを、3つまでお答えください。
- Q28. あなたが勤務する企業または団体におけるテレワークの実施頻度をお答えください。

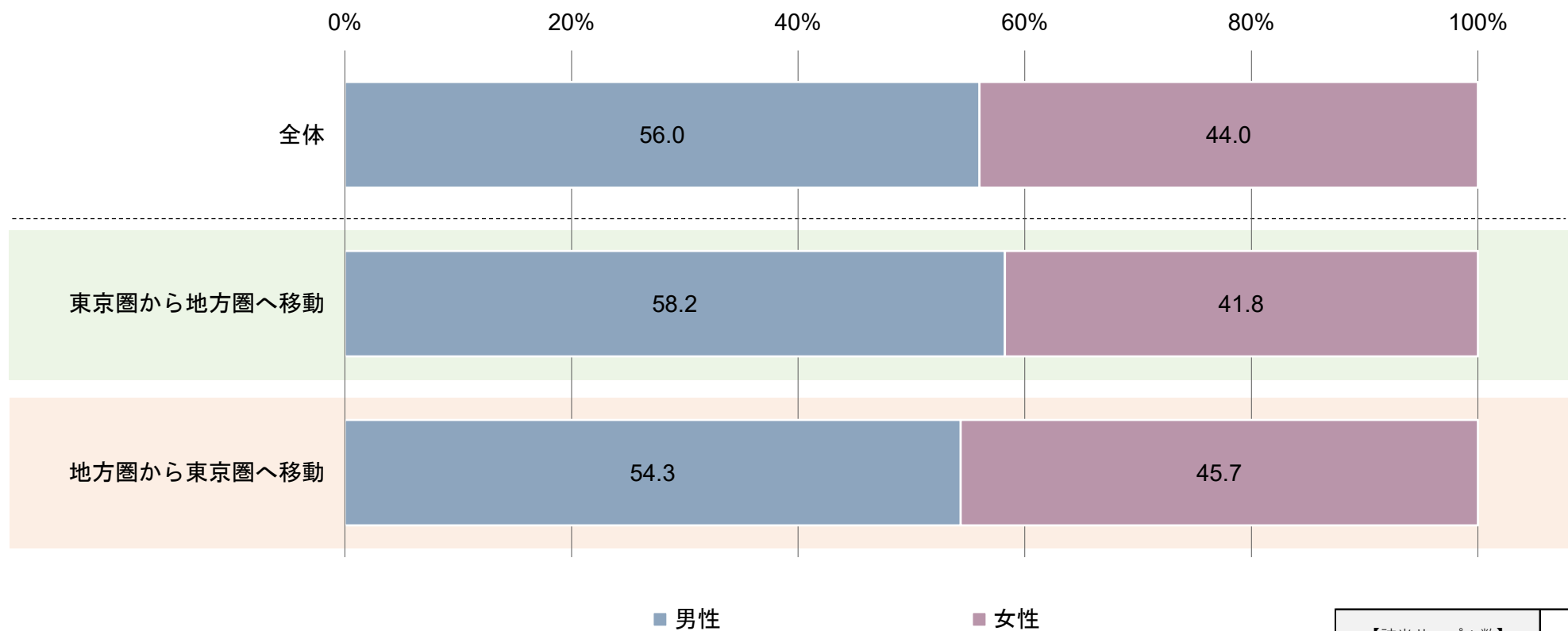
## 2. 回答者の属性

---

## 2. 回答者の属性

### 性別

- ・ウエイトバック集計の結果、「東京圏から地方圏へ移動」は「男性」58.2%、「女性」41.8%、「地方圏から東京圏へ移動」は「男性」54.3%、「女性」45.7%となった。



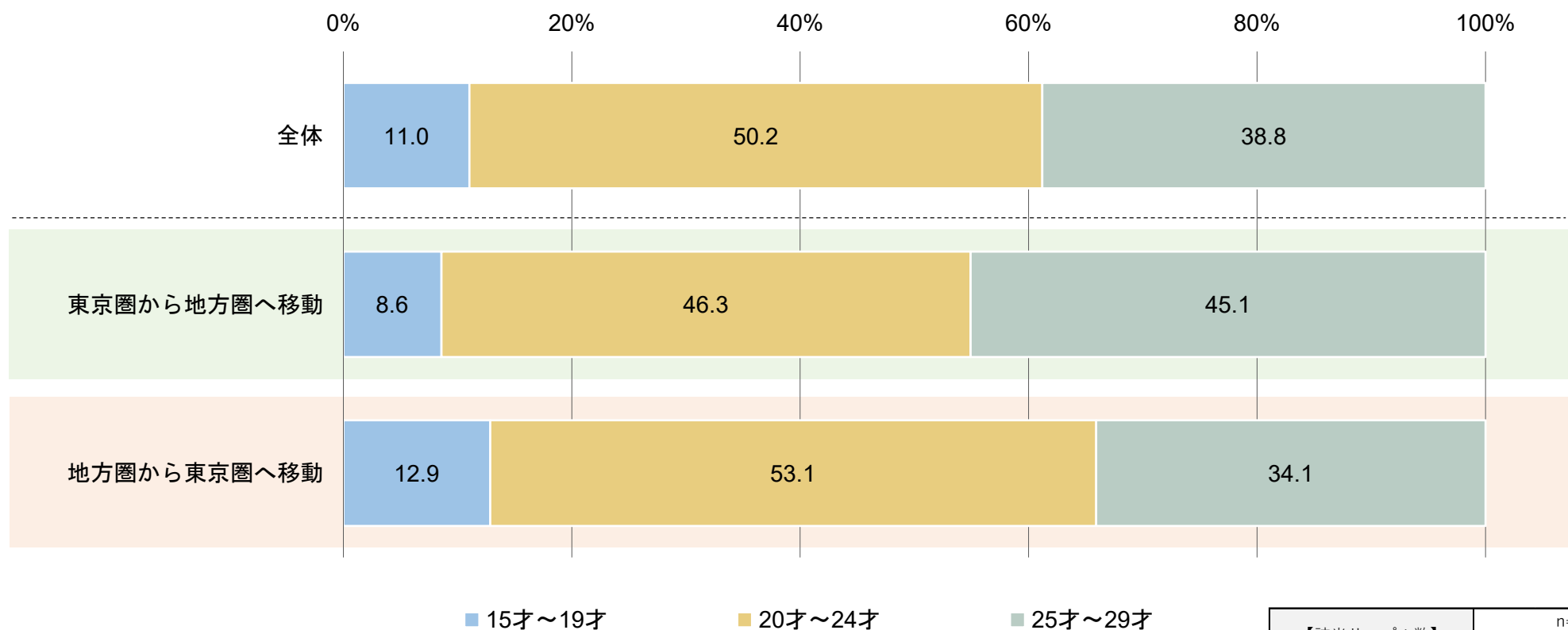
【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699
地方圏から東京圏へ移動	287	937



## 2. 回答者の属性

### 年齢

- ・ウエイトバック集計の結果、「東京圏から地方圏へ移動」は「15才～19才（8.6%）」、「20才～24才（46.3%）」、「25才～29才（45.1%）」、「地方圏から東京圏へ移動」は「15才～19才（12.9%）」、「20才～24才（53.1%）」、「25才～29才（34.1%）」となった。



【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636

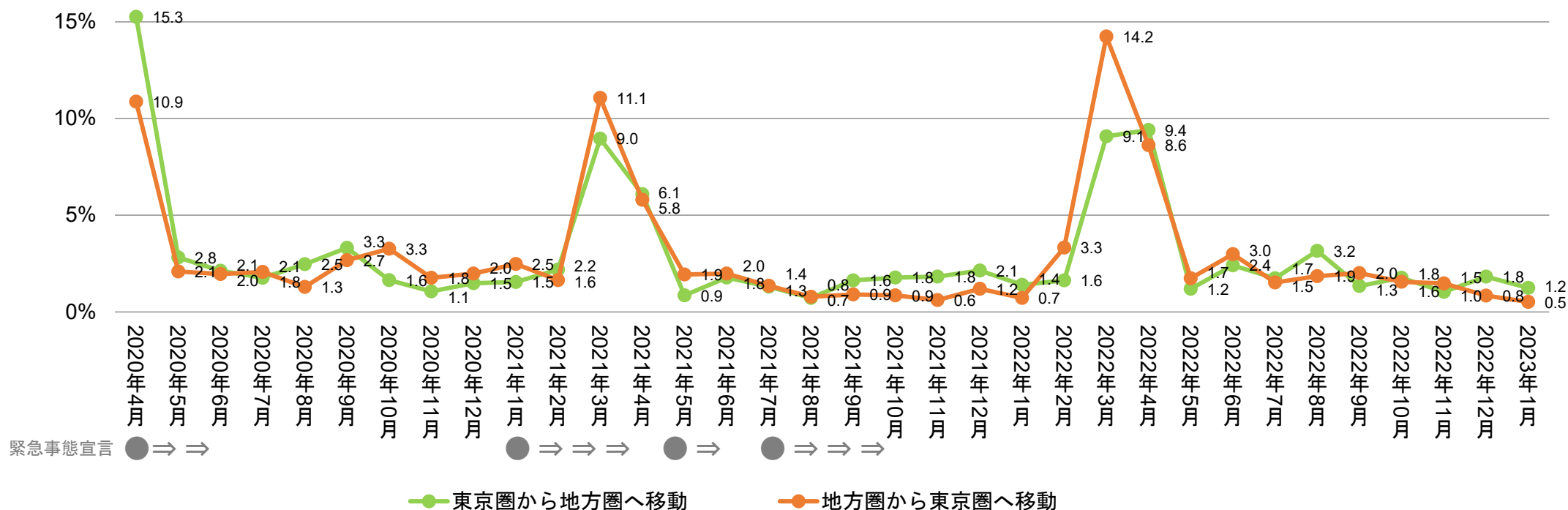
# 3. 集計結果

---

# 3. 集計結果

## Q1. あなたが都道府県をまたいで転居した時期を教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「2020年4月」が15.3%と最も割合が高く、次いで「2022年4月」が9.4%、「2022年3月」が9.1%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「2022年3月」が14.2%と最も割合が高く、次いで「2021年3月」が11.1%、「2020年4月」が10.9%となっている。

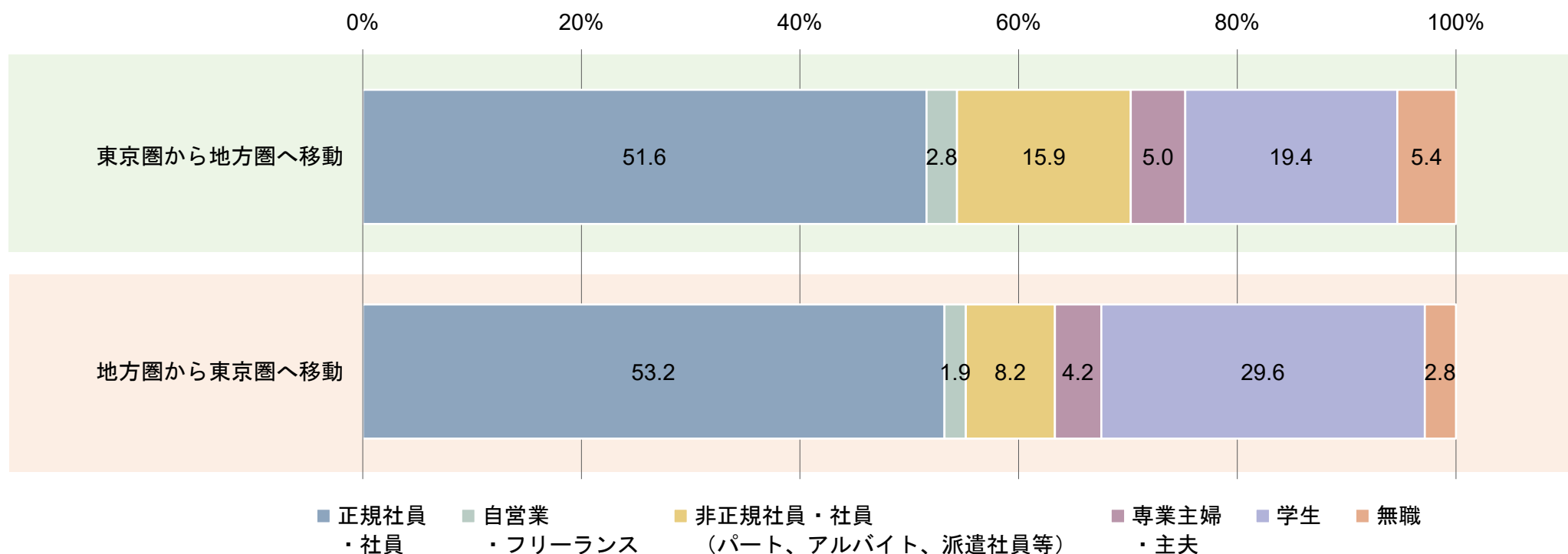


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q2. あなたの現在の就労・就学形態をお教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「正規社員・社員」の割合が最も高く51.6%となっている。次いで、「学生」が19.4%、「非正規社員・社員（パート、アルバイト、派遣社員等）」が15.9%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「正規社員・社員」の割合が最も高く53.2%となっている。次いで、「学生」が29.6%、「非正規社員・社員（パート、アルバイト、派遣社員等）」が8.2%となっている。

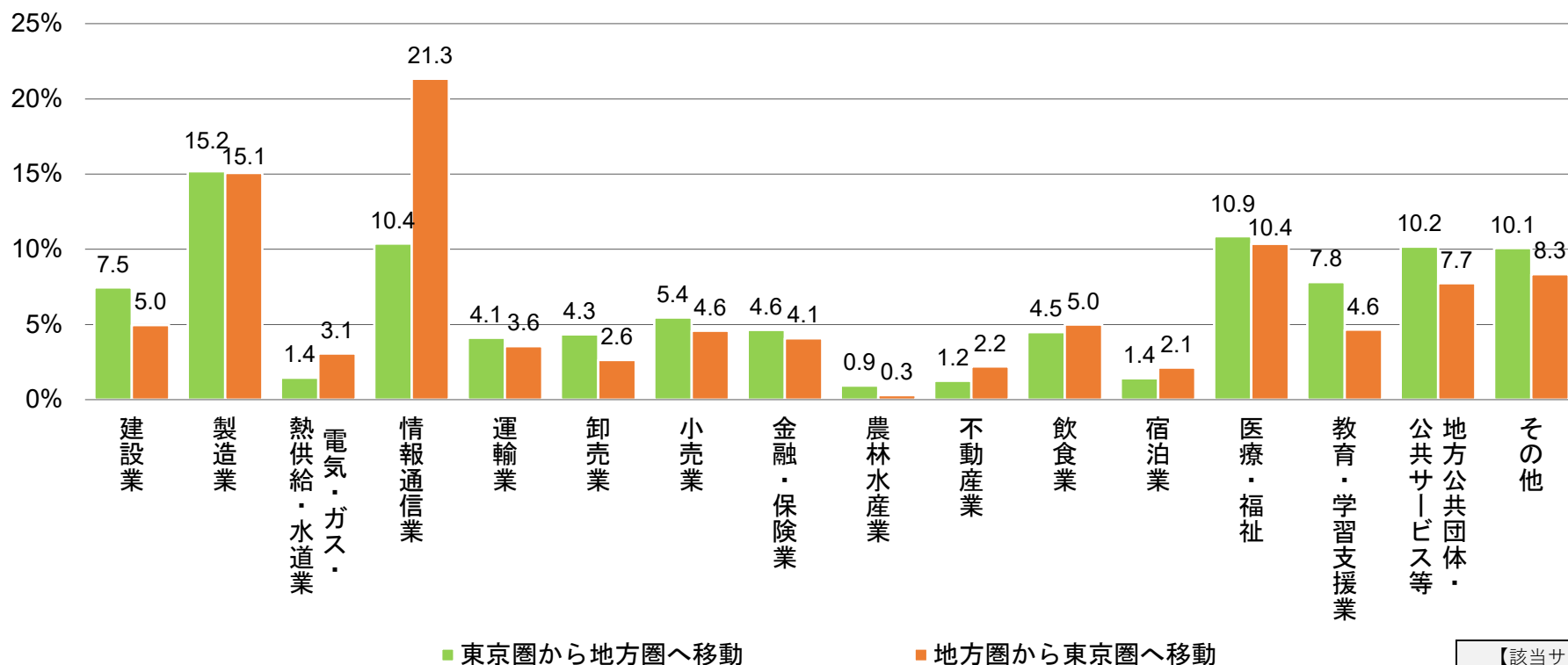


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q3. 現在の職業を教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「製造業」の割合が最も高く15.2%となっている。次いで、「医療・福祉」が10.9%、「情報通信業」が10.4%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「情報通信業」の割合が最も高く21.3%となっている。次いで、「製造業」が15.1%、「医療・福祉」が10.4%となっている。
- 「情報通信業」の割合は「東京圏から地方圏へ移動」では10.4%なのに対して、「地方圏から東京圏へ移動」では21.3%となっている。

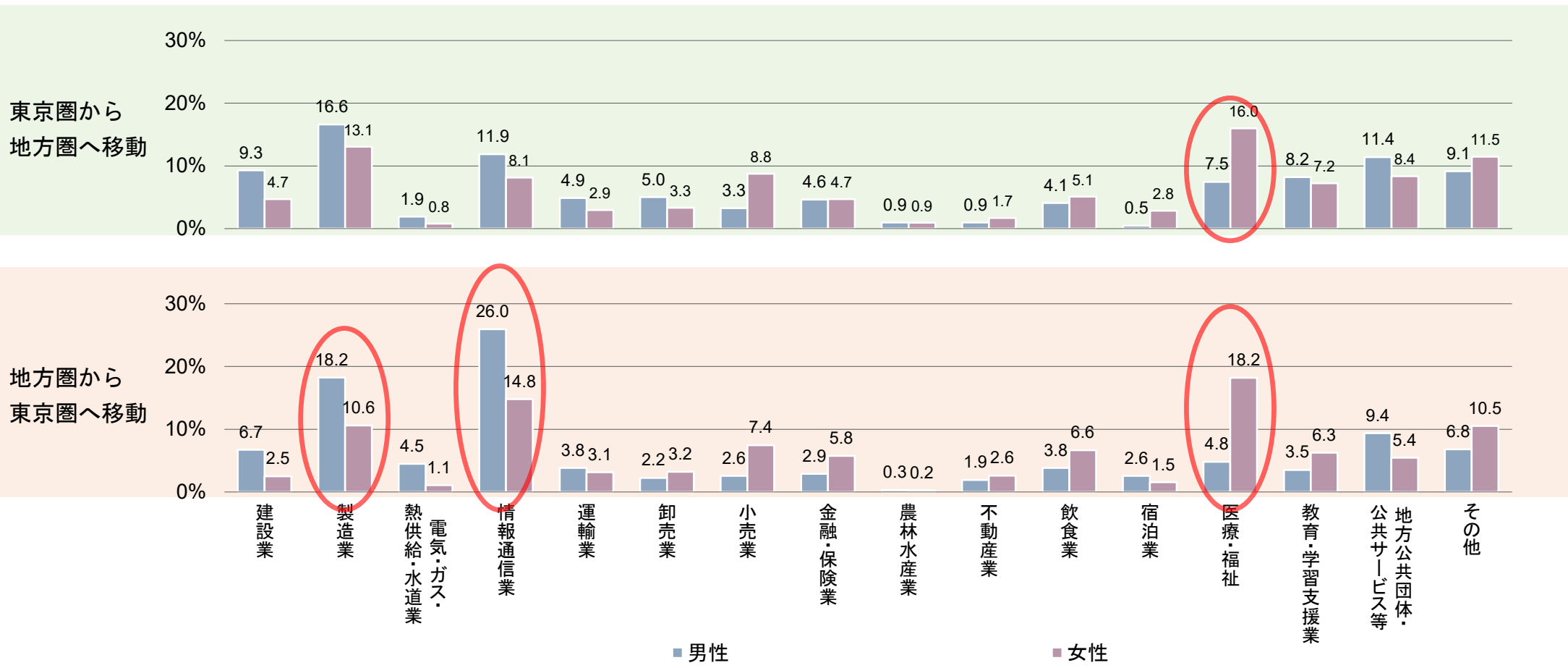


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	658
地方圏から東京圏へ移動	783

# 3. 集計結果

## Q3. 現在の職業を教えてください。(性別)

- 男女間で比較的差がある職業は、「東京圏から地方圏へ移動」では「医療・福祉」であり、「地方圏から東京圏へ移動」では「製造業」「情報通信業」「医療・福祉」となっている。

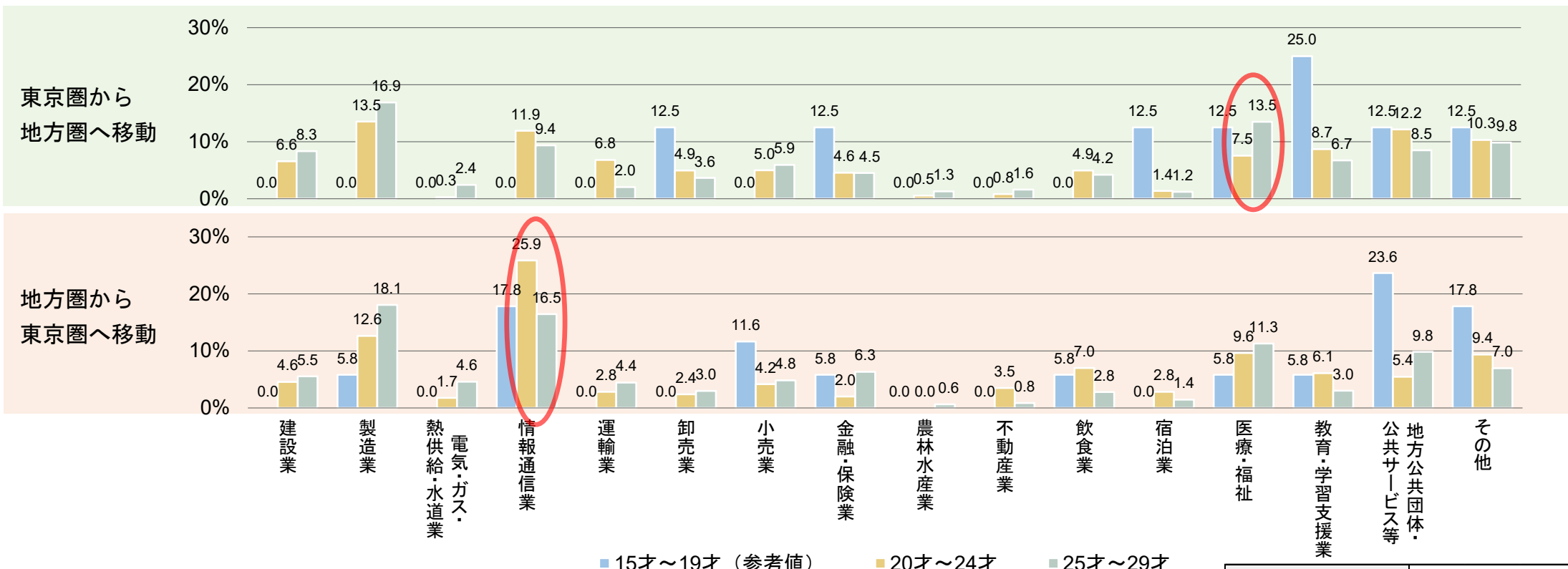


【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	168	490
地方圏から東京圏へ移動	208	575

# 3. 集計結果

## Q3. 現在の職業を教えてください。(年齢階級別)

- ・年齢階級別で比較的大きな差がみられるのは、「東京圏から地方圏へ移動」では「医療・福祉」であり、20才～24才に比べ、25才～29才の割合が比較的高くなっている。「地方圏から東京圏へ移動」では「情報通信業」であり、25才～29才に比べ、20才～24才の割合が比較的高くなっている。
- ・なお、「東京圏から地方圏へ移動」「地方圏から東京圏へ移動」とともに、該当する15才～19才の回答サンプル数が少ないことから、参考値扱いとした。



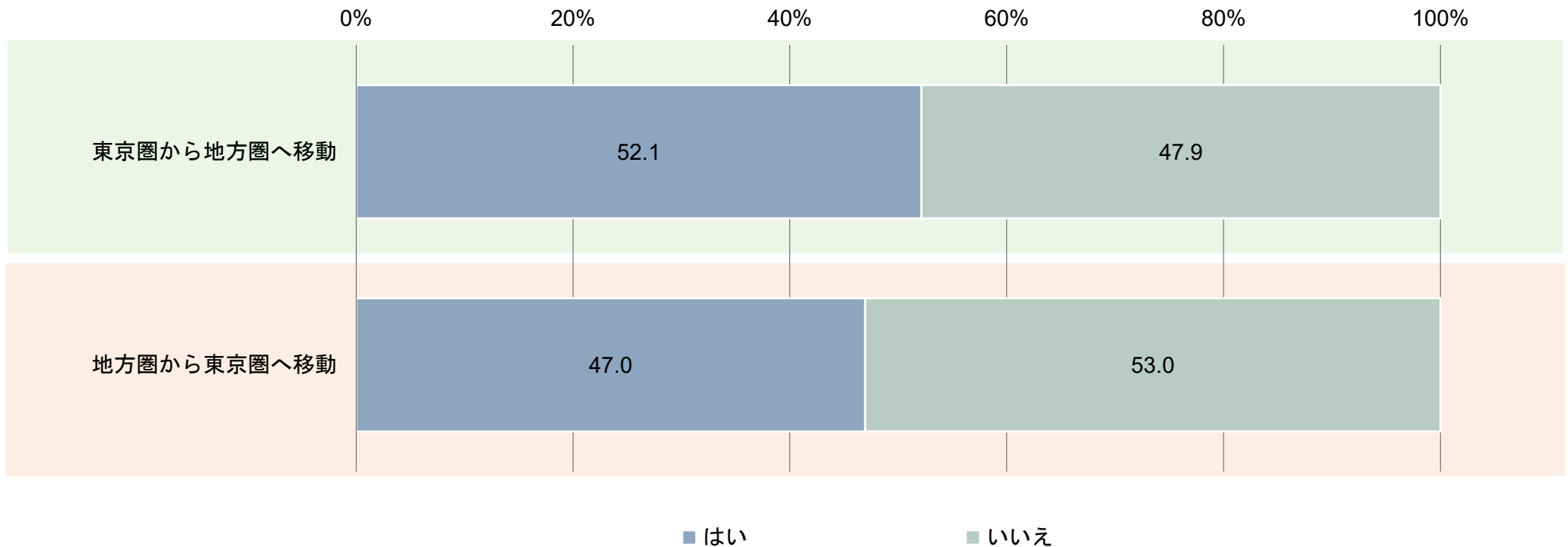
【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	8	198	452
地方圏から東京圏へ移動	11	251	521

### 3. 集計結果

#### Q4. あなたは、都道府県をまたいで転居した際に、転職しましたか。

※未就労からの就職を除きます（新卒採用等）

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「はい」が52.1%、「いいえ」が47.9%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「はい」が47.0%、「いいえ」が53.0%となっている。



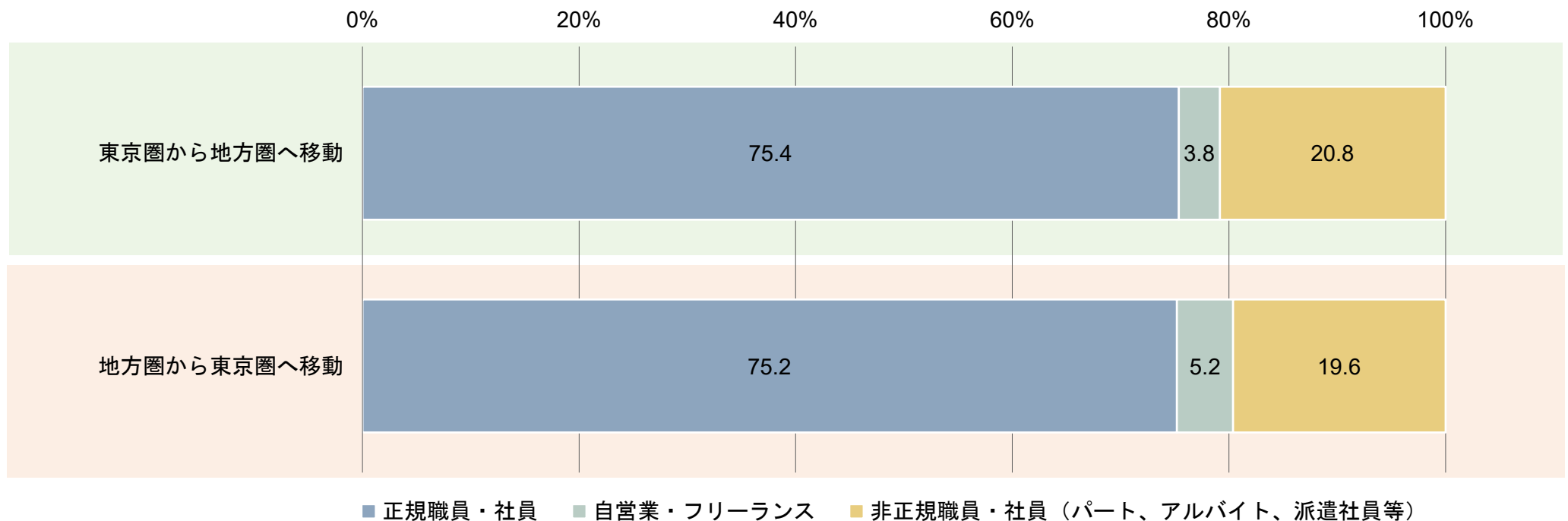
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	658
地方圏から東京圏へ移動	783



### 3. 集計結果

#### Q5. 転居前の就労形態をお教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「正規職員・社員」の割合が最も高く75.4%となっている。次いで、「非正規職員・社員（パート、アルバイト、派遣社員等）」が20.8%、「自営業・フリーランス」が3.8%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「正規職員・社員」の割合が最も高く75.2%となっている。次いで、「非正規職員・社員（パート、アルバイト、派遣社員等）」が19.6%、「自営業・フリーランス」が5.2%となっている。



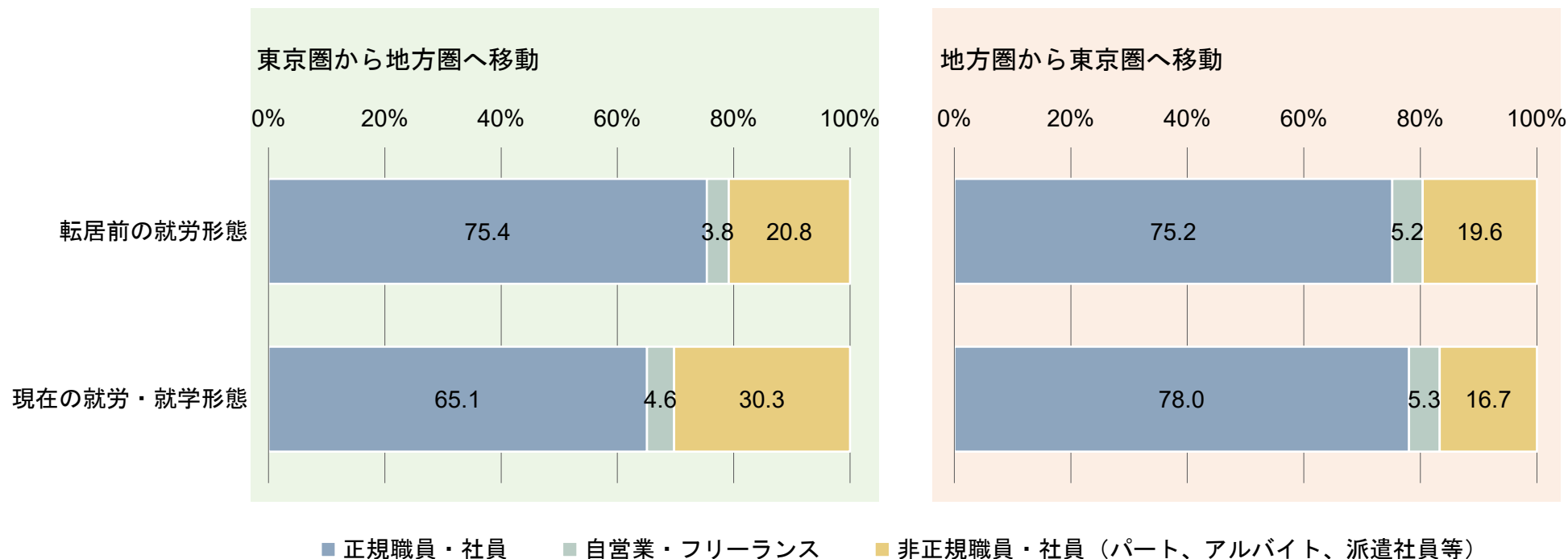
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	366
地方圏から東京圏へ移動	414

# 3. 集計結果

## Q2、Q5「就労形態」(比較)

※Q4で転職したと回答した人を対象

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では、転居前「正規職員・社員」の割合が75.4%だったものが、現在（転居後）65.1%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では、転居前「正規職員・社員」の割合が75.2%だったものが、現在（転居後）78.0%となっている。

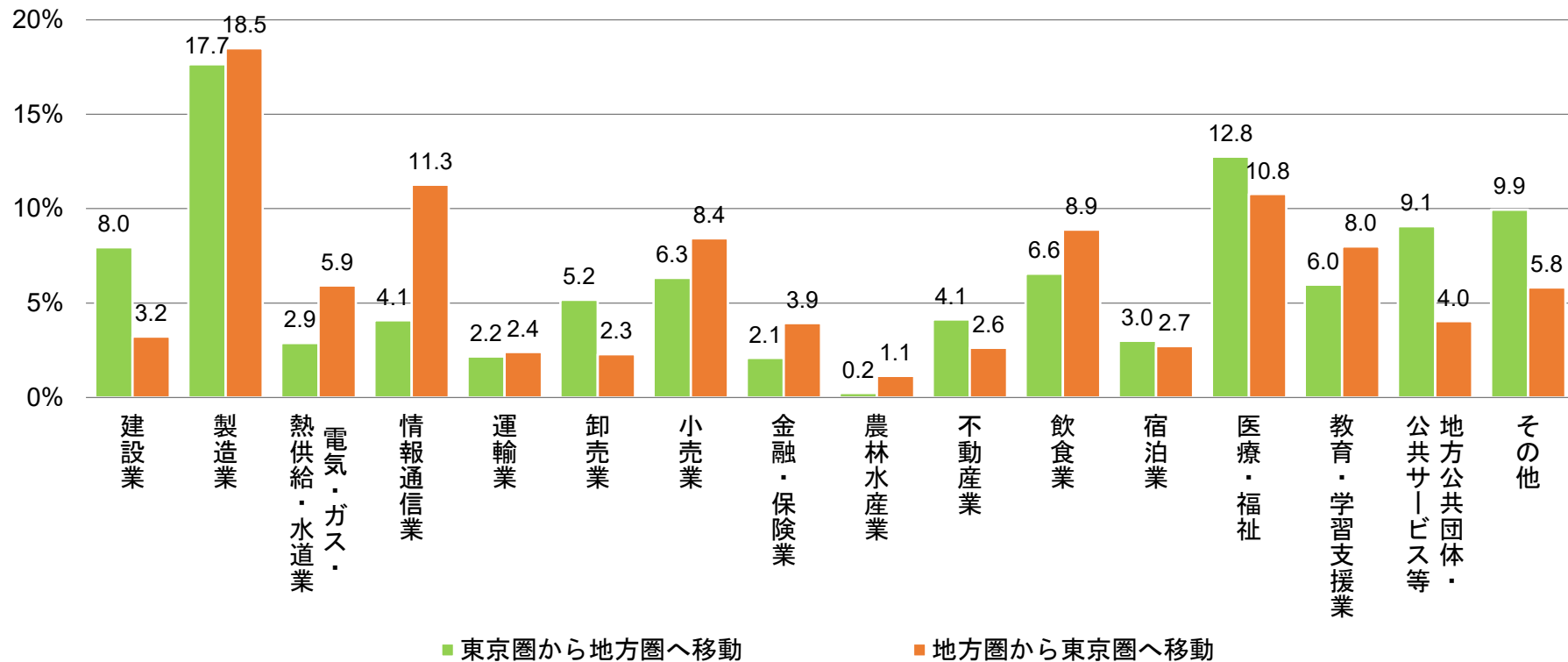


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	366
地方圏から東京圏へ移動	414

# 3. 集計結果

## Q6. 転居前のご職業をお教えてください。 ※Q4で転職したと回答した人を対象

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「製造業」の割合が最も高く17.7%となっている。次いで、「医療・福祉」が12.8%、「その他」が9.9%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「製造業」の割合が最も高く18.5%となっている。次いで、「情報通信業」が11.3%、「医療・福祉」が10.8%となっている。



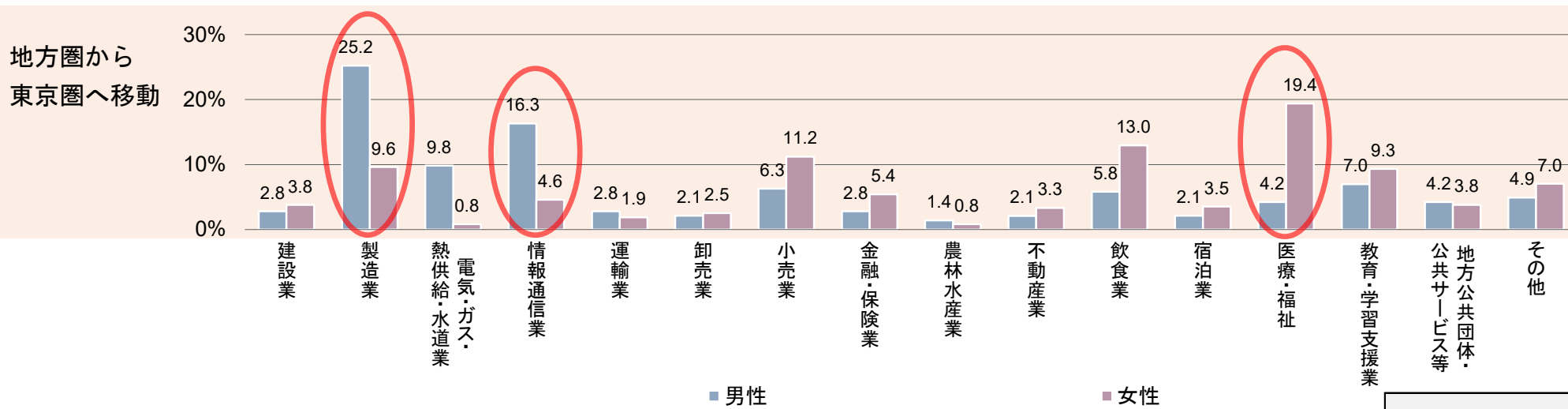
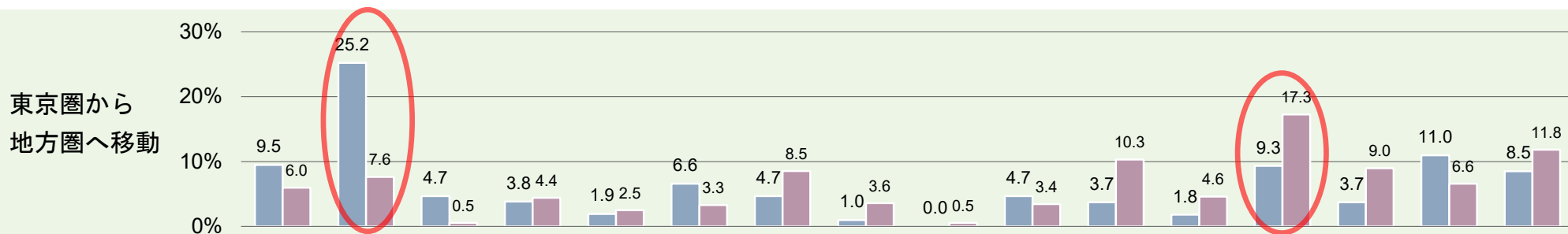
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	366
地方圏から東京圏へ移動	414

# 3. 集計結果

## Q6. 転居前のご職業をお教えてください。(性別)

※Q4で転職したと回答した人を対象

- 男女間で比較的差がある職業は、「東京圏から地方圏へ移動」では「製造業」「医療・福祉」であり、「地方圏から東京圏へ移動」では「製造業」「情報通信業」「医療・福祉」となっている。
- 「医療・福祉」については、女性の割合が高く、「製造業」「情報通信業」では、男性の割合が高くなっている。



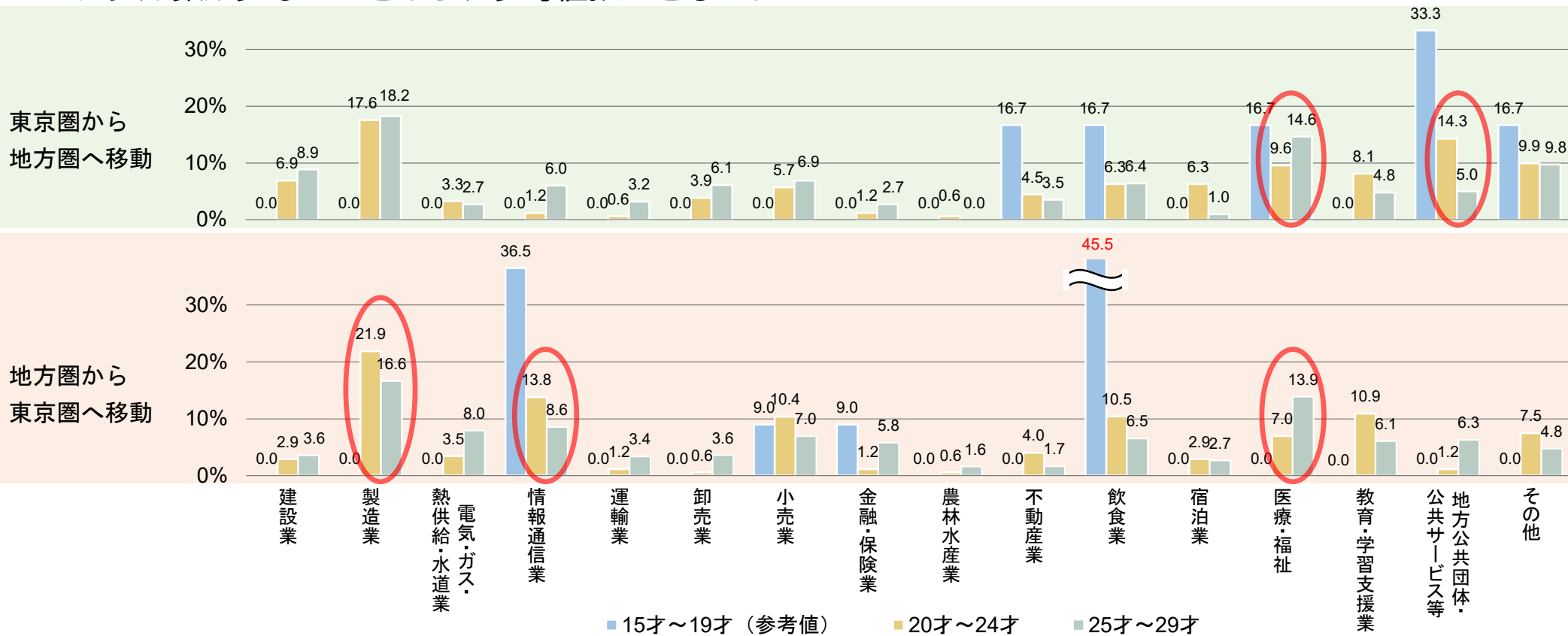
【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	87	279
地方圏から東京圏へ移動	102	312

# 3. 集計結果

## Q6. 転居前のご職業をお教えてください。 (年齢階級別)

※Q4で転職したと回答した人を対象

- ・年齢階級別で比較的大きな差がみられるのは、「東京圏から地方圏へ移動」では「地方公共団体・公共サービス業」医療・福祉」であり、「地方圏から東京圏へ移動」では「製造業」「医療・福祉」「情報通信業」などとなっている。「医療・福祉」は、「25才～29才」の割合が高く、他は「20才～24才」が高くなっている。
- ・なお、「東京圏から地方圏へ移動」「地方圏から東京圏へ移動」ともに、該当する15才～19才の回答サンプル数が少ないことから、参考値扱いとした。



【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	6	97	263
地方圏から東京圏へ移動	7	93	314

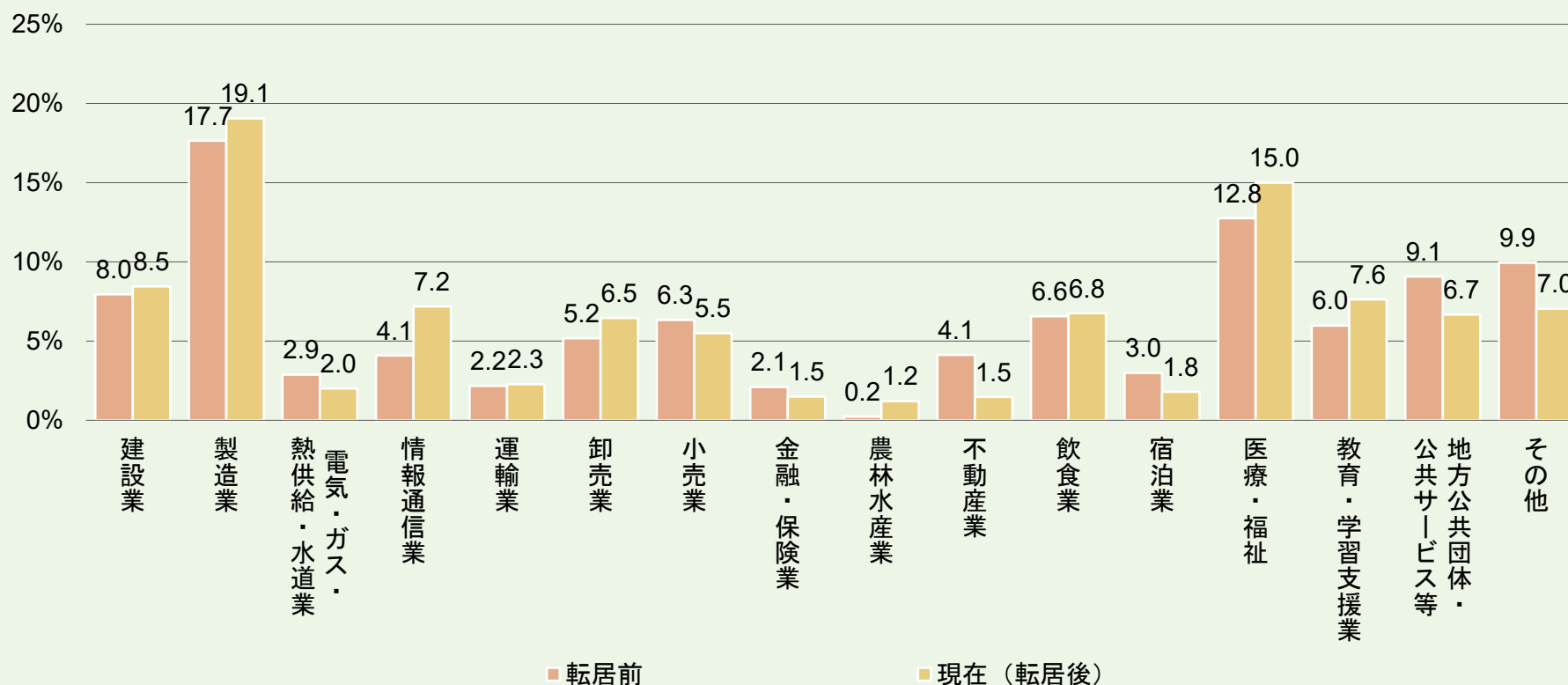
# 3. 集計結果

## Q6「転居前の職業」、Q3「現在の職業」(比較) / 「東京圏から地方圏へ移動」

※Q4で転職したと回答した人を対象

- 「東京圏から地方圏へ移動」で、転居前と比べて転居後の割合が比較的高くなっている業種は「情報通信業」「医療・福祉」などであり、低下した業種は「その他」「不動産業」「地方公共団体・公共サービス等」などとなっている。

東京圏から地方圏へ移動



【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	366

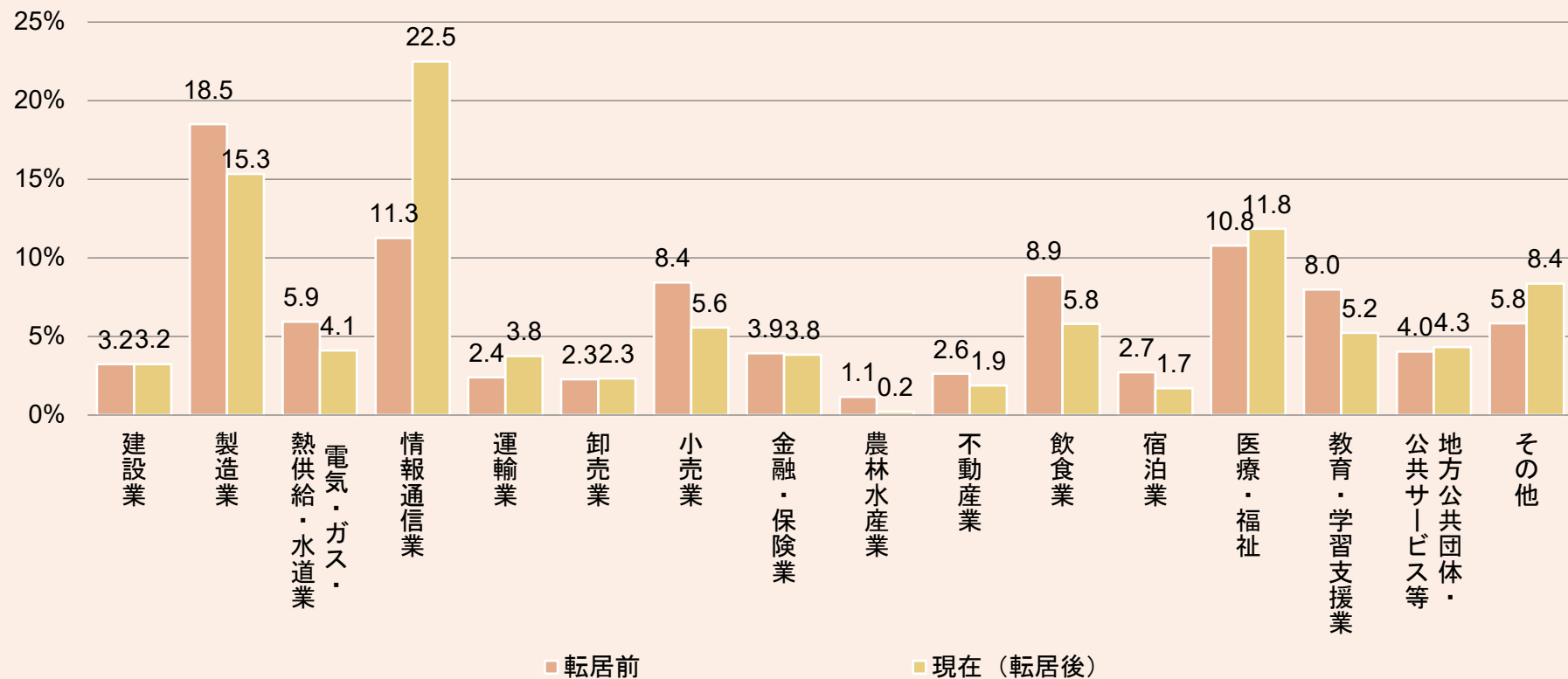
# 3. 集計結果

## Q6「転居前の職業」、Q3「現在の職業」(比較) / 「地方圏から東京圏へ移動」

※Q4で転職したと回答した人を対象

- 「地方圏から東京圏へ移動」では、転居前と比べて「情報通信業」「その他」の割合が増え、「飲食業」「製造業」「小売」などの割合が減っている。

地方圏から東京圏へ移動

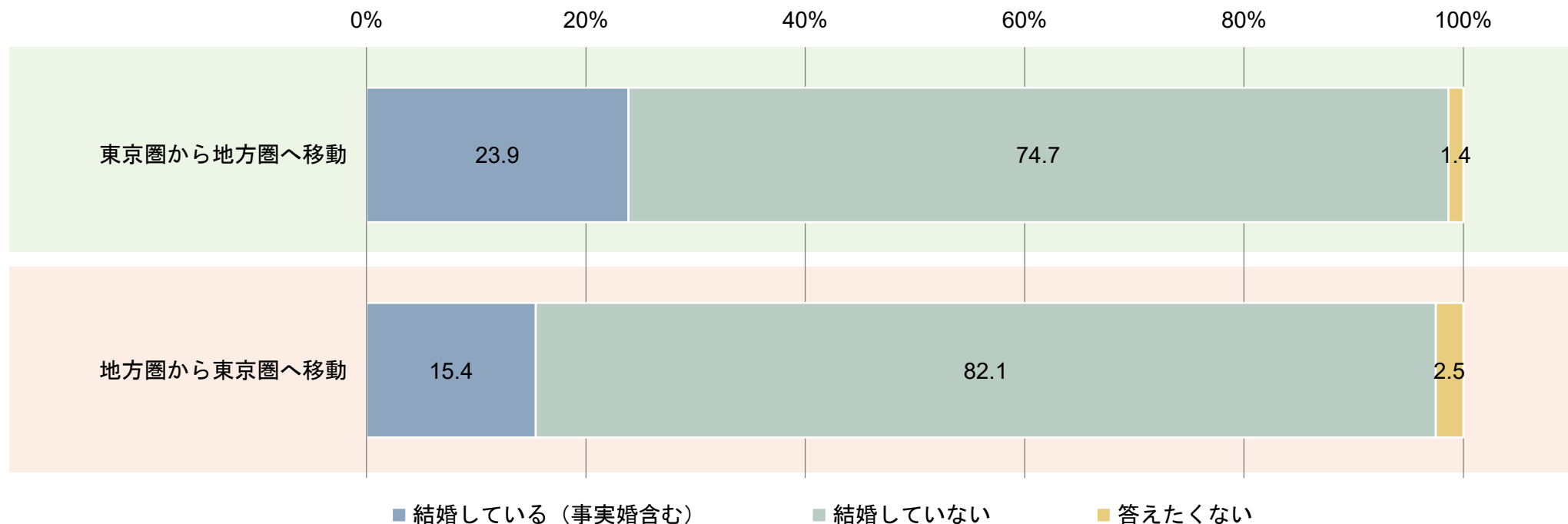


【該当サンプル数】	n=
地方圏から東京圏へ移動	414

### 3. 集計結果

#### Q7. あなたは現在結婚をしていますか。

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「結婚していない」の割合が最も高く74.7%となっている。次いで、「結婚している（事実婚含む）」が23.9%、「答えたくない」が1.4%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「結婚していない」の割合が最も高く82.1%となっている。次いで、「結婚している（事実婚含む）」が15.4%、「答えたくない」が2.5%となっている。



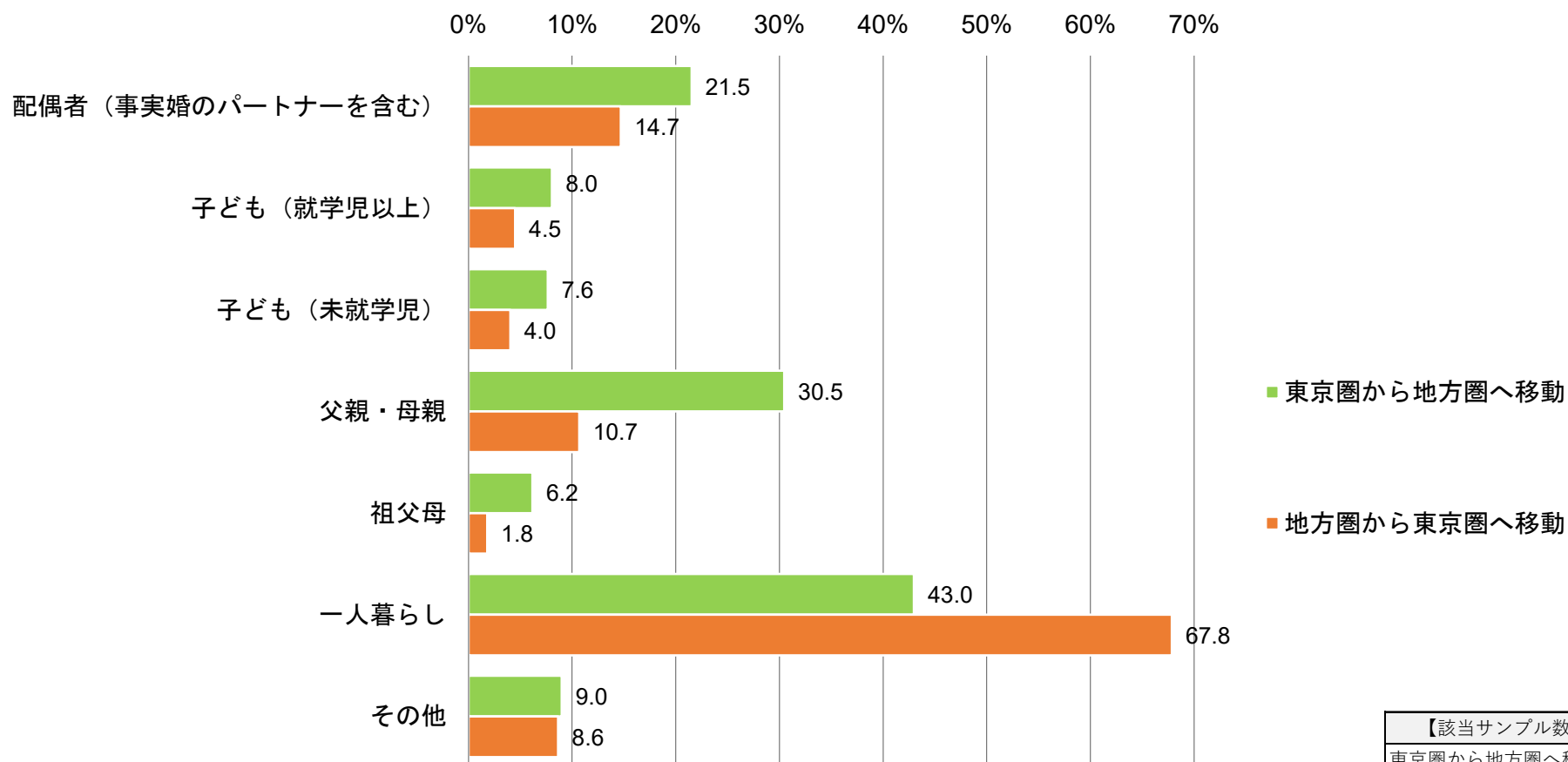
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224



# 3. 集計結果

## Q8. 同居している家族の構成について教えてください。（複数回答）

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「一人暮らし」の割合が最も高く43.0%となっている。次いで、「父親・母親」が30.5%、「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」が21.5%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「一人暮らし」の割合が最も高く67.8%となっている。次いで、「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」が14.7%、「父親・母親」が10.7%となっている。



【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

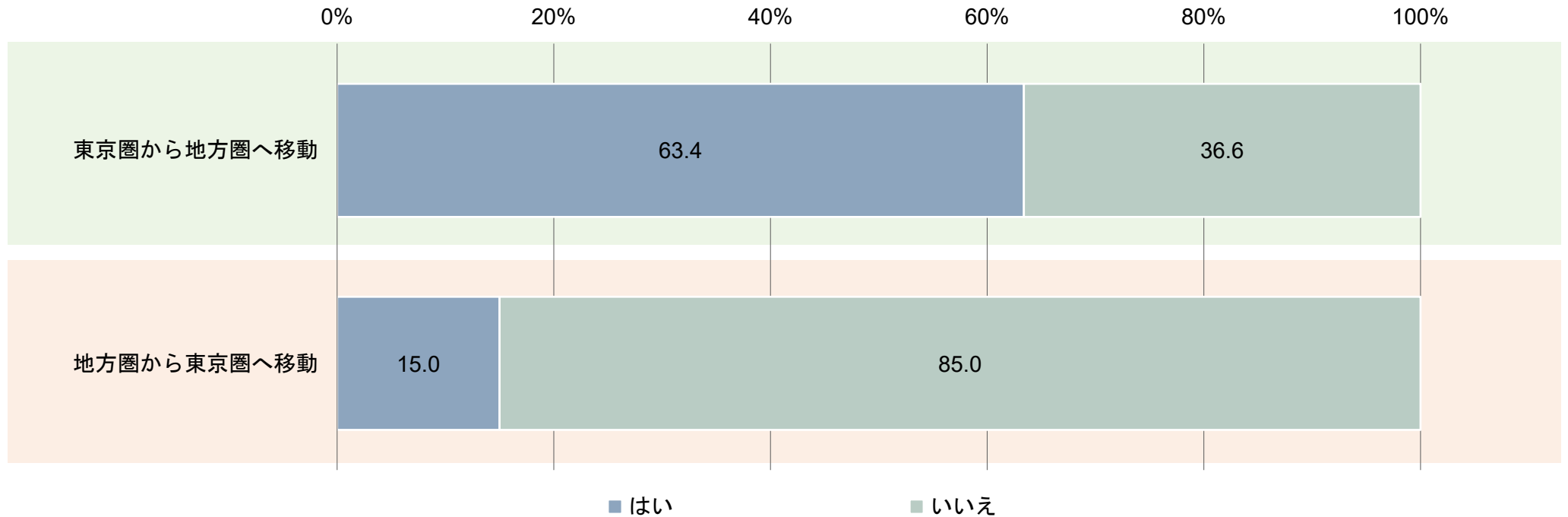
# 3. 集計結果

Q9. あなたは現在、単身赴任をしていますか。

※Q7で「1.結婚している」、かつ、Q8で「一人暮らし」と回答した人を対象

《参考値》

※本設問は、アンケート該当サンプル数が少ないことから、参考値扱いとした。



【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	7
地方圏から東京圏へ移動	3

# 3. 集計結果

## Q10. あなたの出身地（※）の都道府県はどこですか。

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「東京都」の割合が最も高く11.9%となっている。次いで、「神奈川県」が8.0%、「千葉県」が6.7%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「東京都」の割合が最も高く8.7%となっている。次いで、「埼玉県」が6.7%、「茨城県」が6.4%となっている。

	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	東京都	神奈川県
東京圏から地方圏へ移動	4.1%	1.0%	1.3%	2.0%	2.3%	1.1%	1.9%	6.4%	2.5%	3.0%	6.3%	6.7%	11.9%	8.0%
地方圏から東京圏へ移動	3.1%	1.6%	1.6%	2.9%	1.1%	1.1%	2.4%	6.4%	2.1%	2.8%	6.7%	3.5%	8.7%	5.1%

新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県
2.3%	0.4%	1.0%	0.0%	1.1%	3.6%	0.8%	4.0%	4.8%	0.9%	0.3%	1.5%	4.6%	2.6%	0.3%	0.1%	0.1%
3.8%	1.0%	1.4%	0.2%	1.3%	3.3%	1.6%	4.8%	5.4%	1.1%	1.0%	1.9%	3.9%	3.7%	1.1%	0.2%	0.6%

島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	海外
0.6%	0.5%	1.1%	1.0%	0.0%	0.5%	0.1%	0.3%	3.4%	0.2%	0.5%	0.8%	0.3%	1.4%	0.8%	0.9%	0.2%
0.1%	0.8%	1.9%	1.3%	0.2%	1.2%	1.4%	0.2%	2.2%	0.4%	0.8%	0.5%	0.4%	0.9%	1.0%	1.3%	0.1%

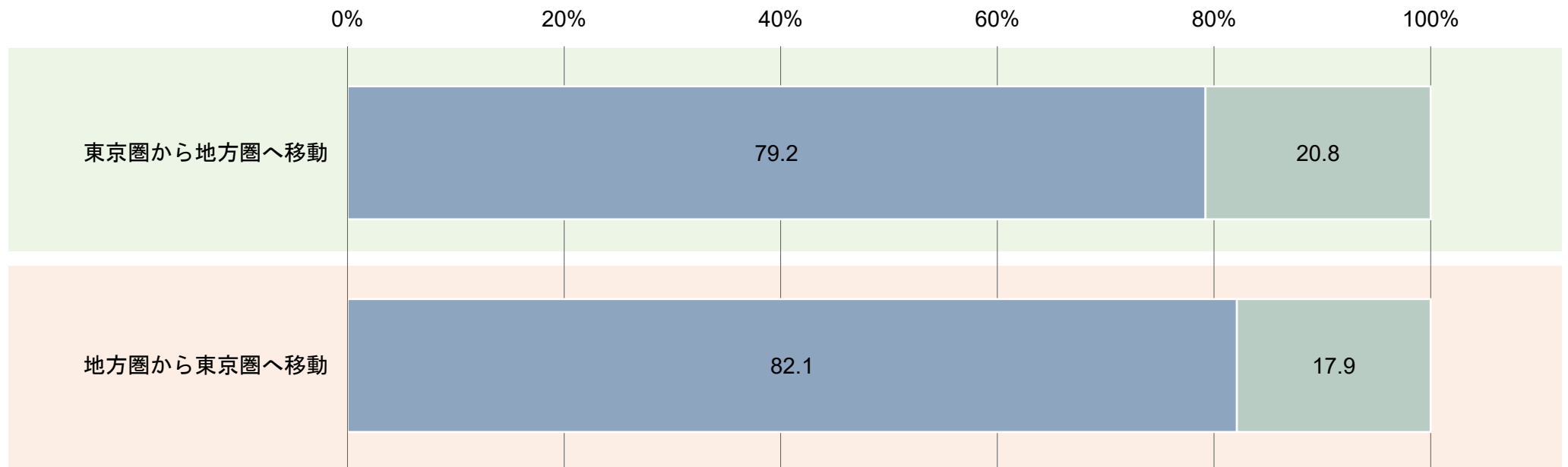
（※）生まれてから18歳までの間で、最も長く暮らした地域

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

#### Q11. 転居はあなた自身の都合に基づくものでしたでしょうか。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「転居はあなた自身の都合に基づくものであった」が79.2%、「転居はあなた自身の都合に基づくものではなかった（同居人や親族の都合に基づくもの等）」が20.8%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「転居はあなた自身の都合に基づくものであった」が82.1%、「転居はあなた自身の都合に基づくものではなかった（同居人や親族の都合に基づくもの等）」が17.9%となっている。



■ 自身の都合に基づくものであった

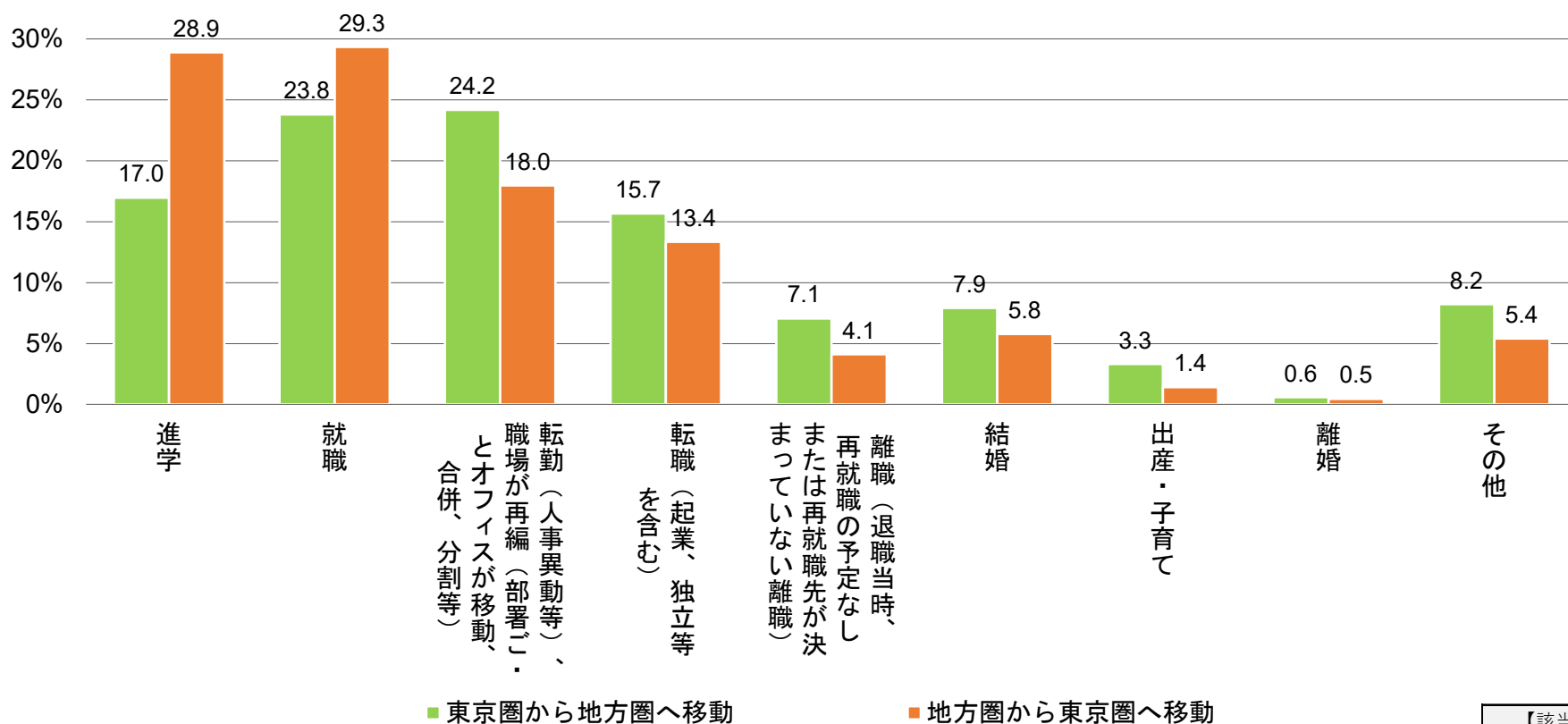
■ 自身の都合に基づくものではなかった  
(同居人や親族の都合に基づくもの等)

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q12. 転居したきっかけをお教えてください。(複数回答)

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」の割合が最も高く24.2%となっている。次いで、「就職」が23.8%、「進学」が17.0%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「就職」の割合が最も高く29.3%となっている。次いで、「進学」が28.9%、「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」が18.0%となっている。



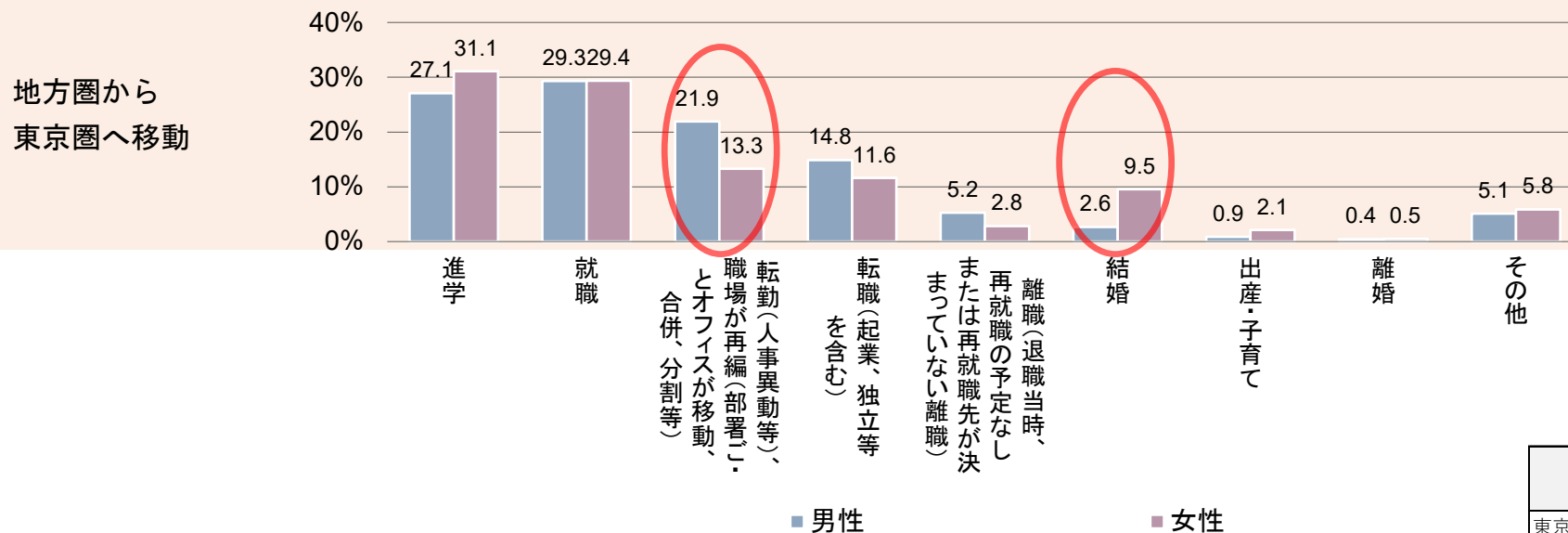
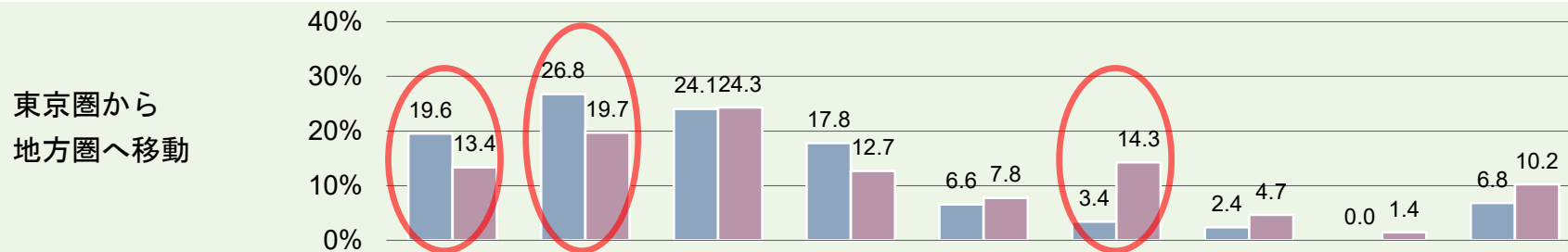
(※) 転居が「あなた自身の都合」によるものでない場合、同居者等のきっかけについてご回答ください。

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q12. 転居したきっかけをお教えてください。(複数回答) (性別)

- 男女間で比較的差があるきっかけは、「東京圏から地方圏へ移動」では「結婚」「就職」「進学」であり、「地方圏から東京圏へ移動」では「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」「結婚」となっている。

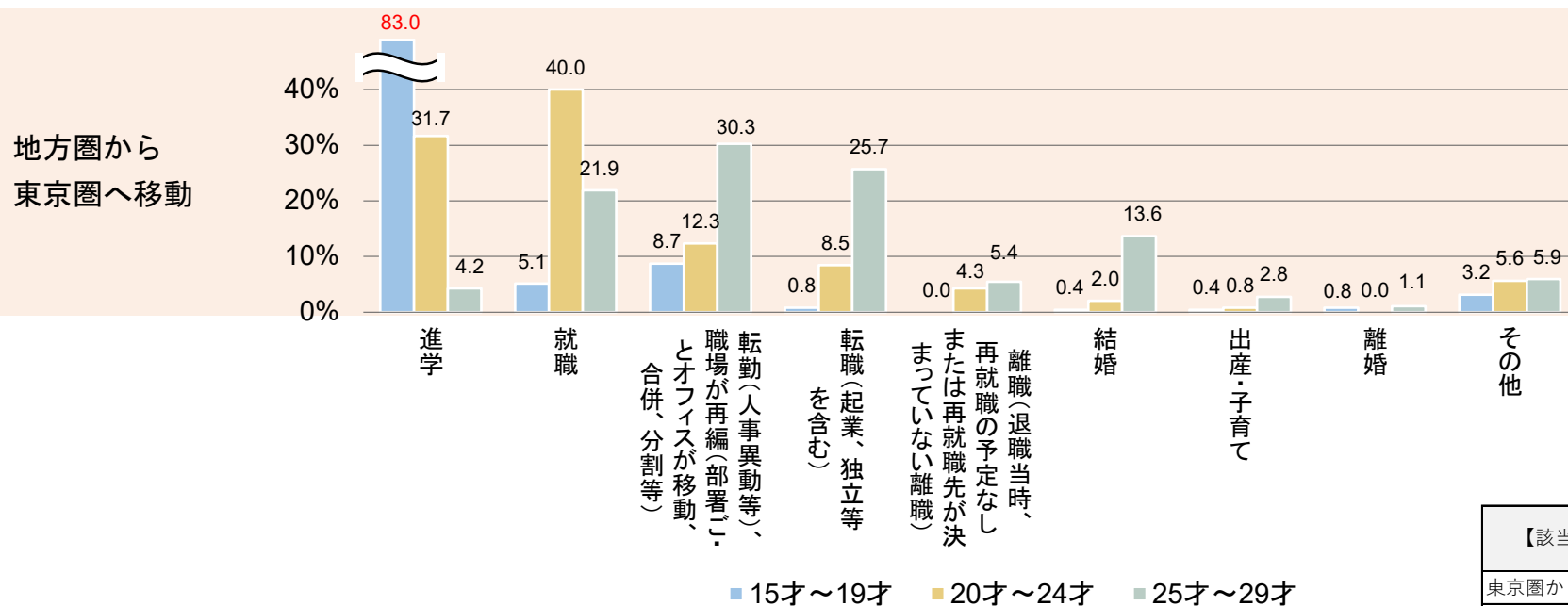
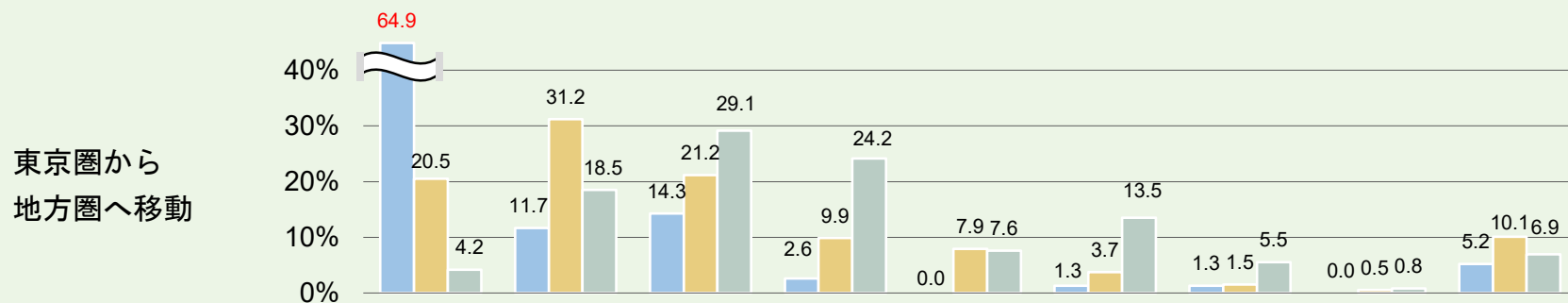


【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699
地方圏から東京圏へ移動	287	937

# 3. 集計結果

## Q12. 転居したきっかけをお教えてください。(複数回答) (年齢階級別)

- 年齢階級別では、「東京圏から地方圏へ移動」「地方圏から東京圏へ移動」とも、15才～19才では「進学」、20才～24才では「就職」、25才～29才では「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」が最も多くなっている。

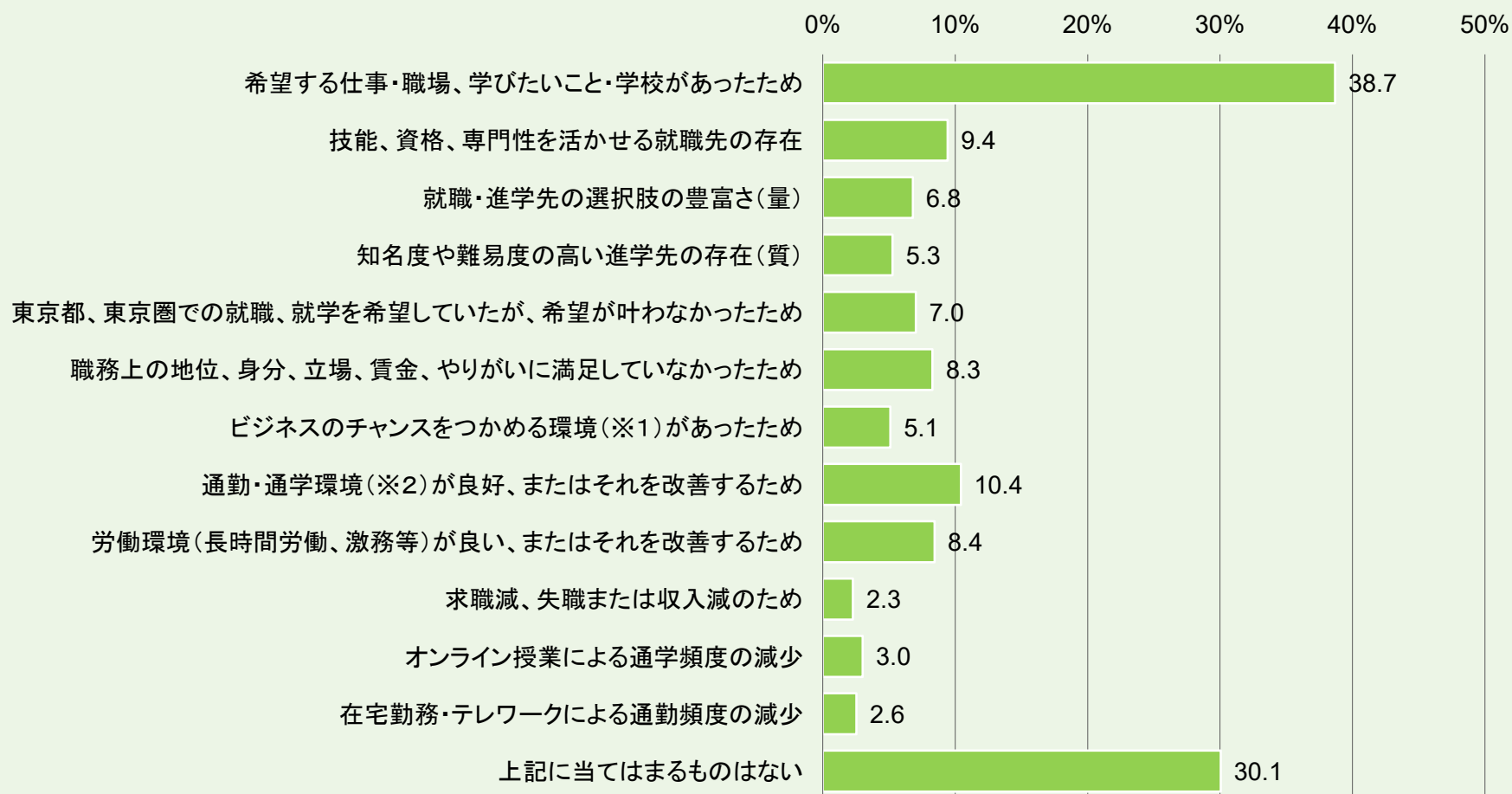


【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636

### 3. 集計結果

**Q13. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)**  
**※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答**

- ・「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」の割合が最も高く38.7%となっている。次いで、「上記に当てはまるものはない」が30.1%、「通勤・通学環境（長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等）が良好、またはそれを改善するため」が10.4%となっている。



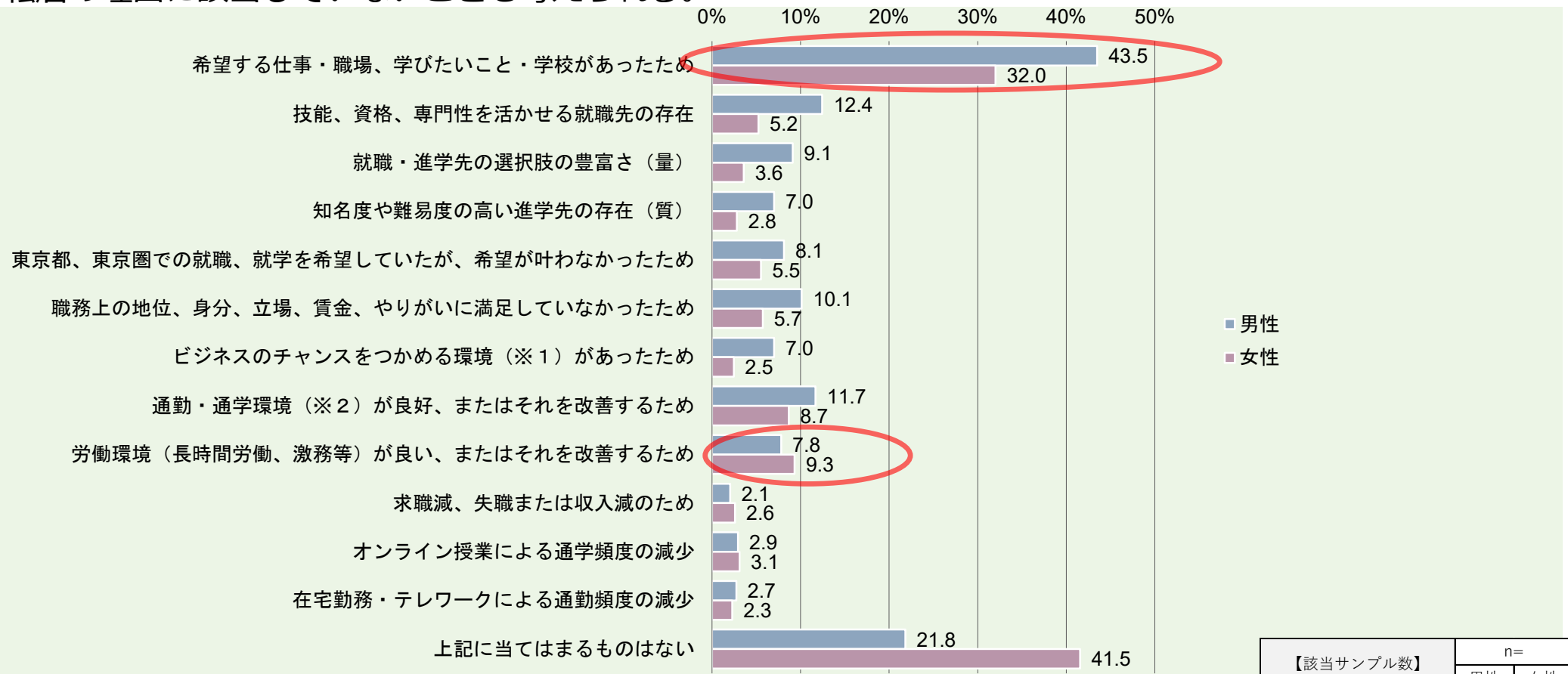
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916



# 3. 集計結果

**Q13. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)**  
**※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答 (性別)**

- ・全般に男性の割合が高くなっており、「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」などでは、その差が大きく出ている。一方、女性の割合が高いのは「労働環境（長時間労働、激務等）が良い、またはそれを改善するため」などとなっているが、男性との差は小さい。
- ・女性に関しては、「上記に当てはまるものはない」とする割合が4割を超えており、仕事・学業関連が転居の理由に該当していないことも考えられる。



(※1) 例:起業、フリーランス、芸術・文化関係

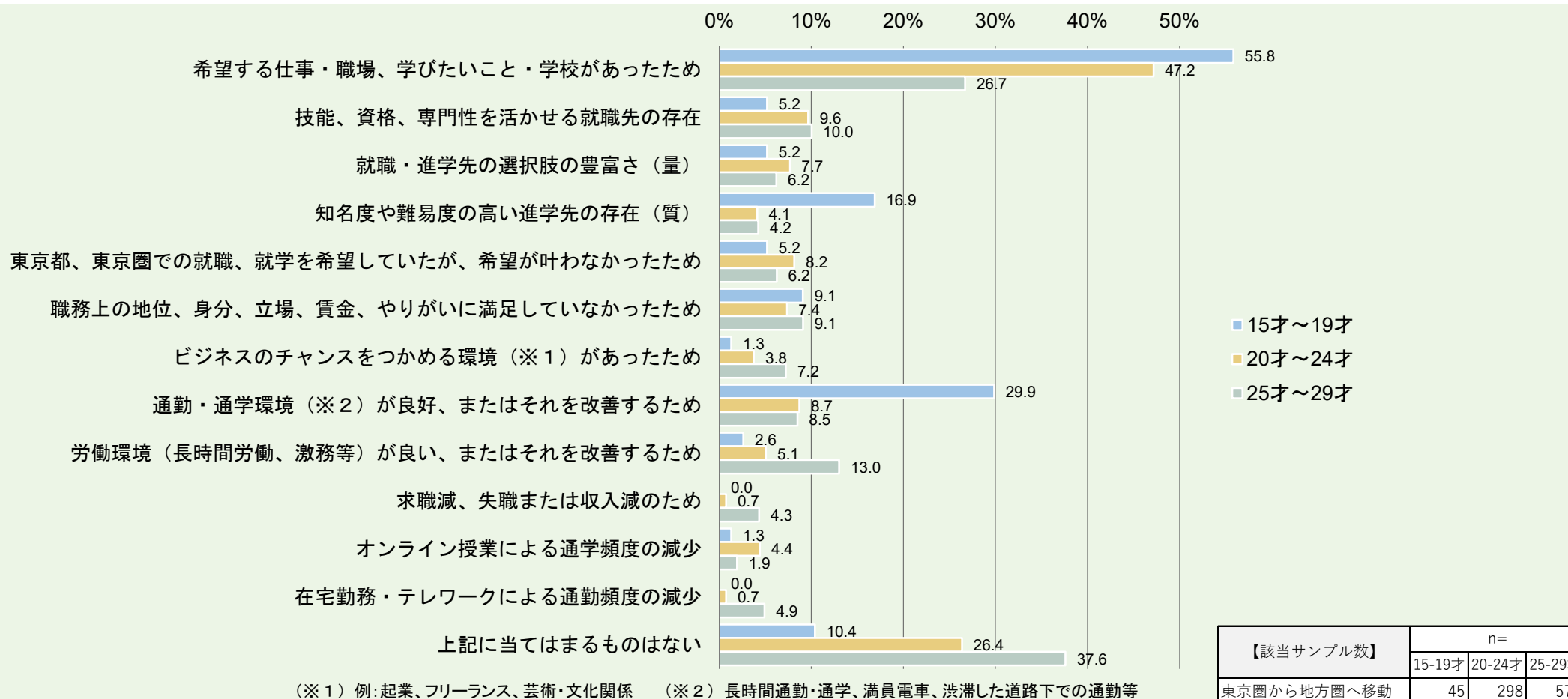
(※2) 長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等

【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699

# 3. 集計結果

**Q13. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)**  
**※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答 (年齢階級別)**

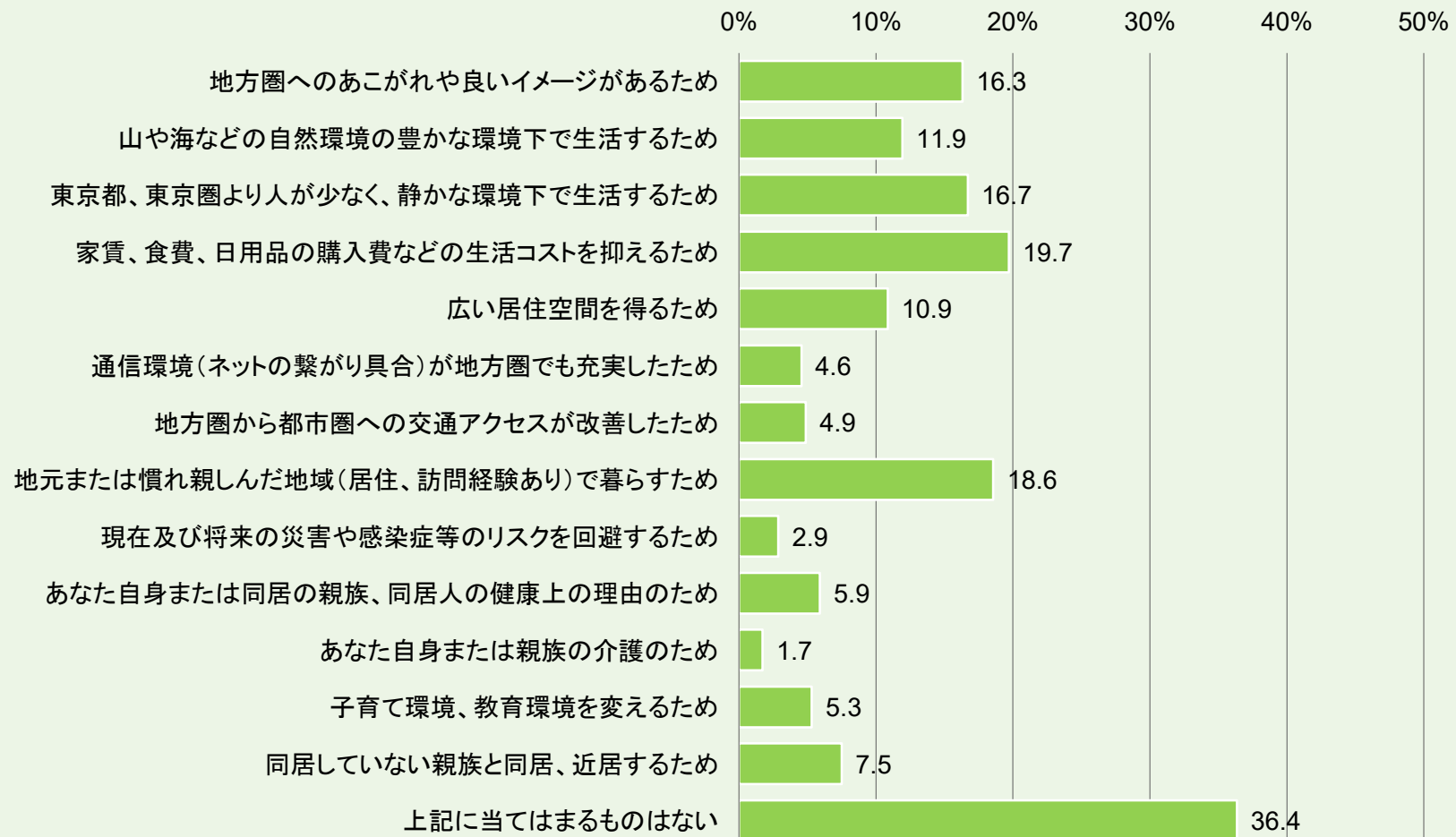
- ・年齢階級別では、「15才～19才」で「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」「知名度や難易度の高い進学先の存在(質)」「通勤・通学環境(長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等)が良好、またはそれを改善するため」が、他の年代に比べ突出して高くなっている。
- ・「20才～24才」「25才～29才」でも「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」が高くなっているが、「25才～29才」は「上記に当てはまるものはない」とする割合が4割近くになっている。



### 3. 集計結果

Q14. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)  
※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答

- ・「上記に当てはまるものはない」の割合が最も高く36.4%となっている。次いで、「家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため」が19.7%、「地元または慣れ親しんだ地域（居住、訪問経験あり）で暮らすため」が18.6%となっている。

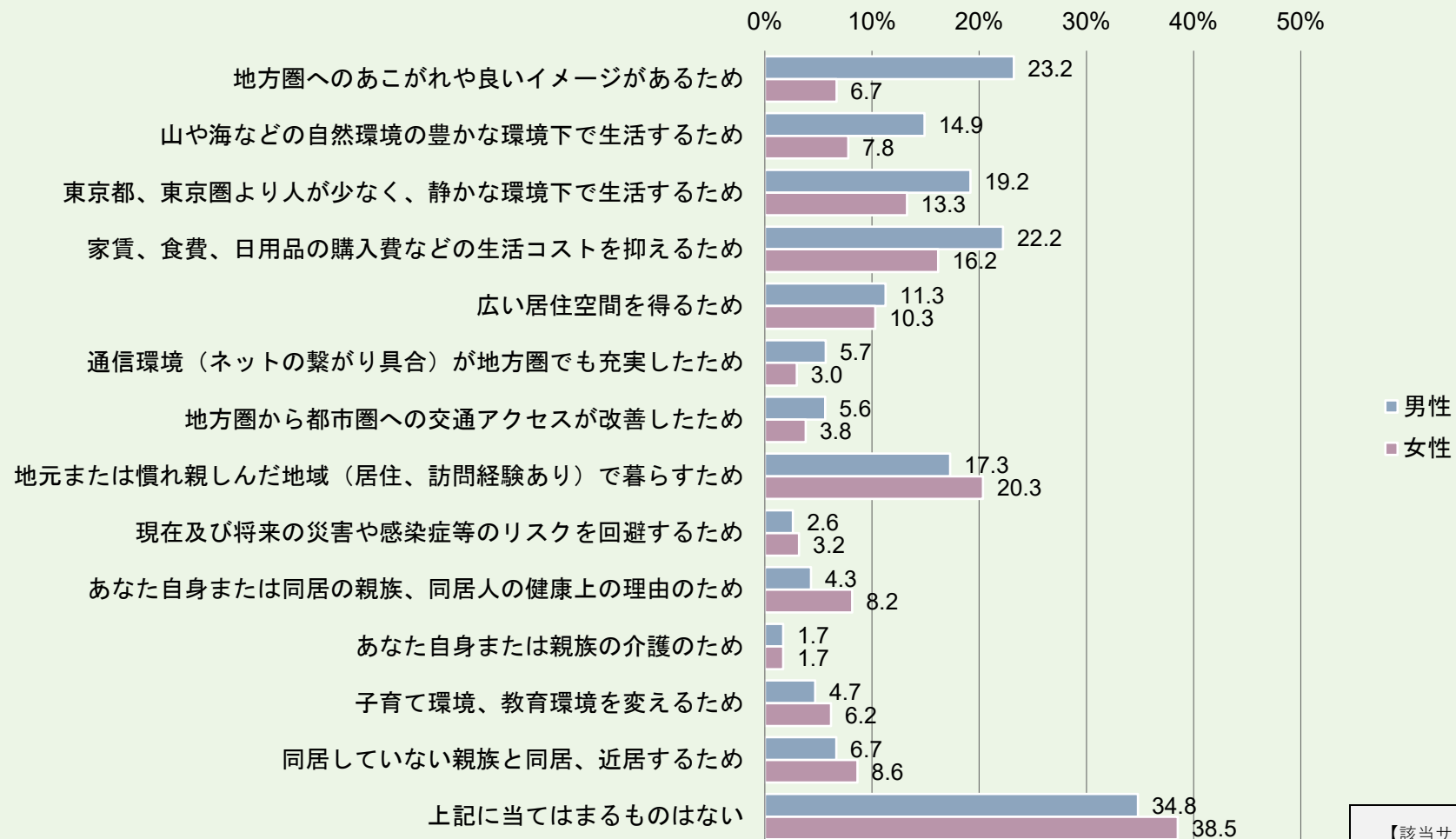


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916

# 3. 集計結果

Q14. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)  
 ※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答 (性別)

- ・男性は女性に比べ、イメージや環境的側面を転居の理由とする割合が高く、女性は地元や慣れ親しんだ地域への回帰、健康上の理由、子育て環境などで、男性より高くなっている。

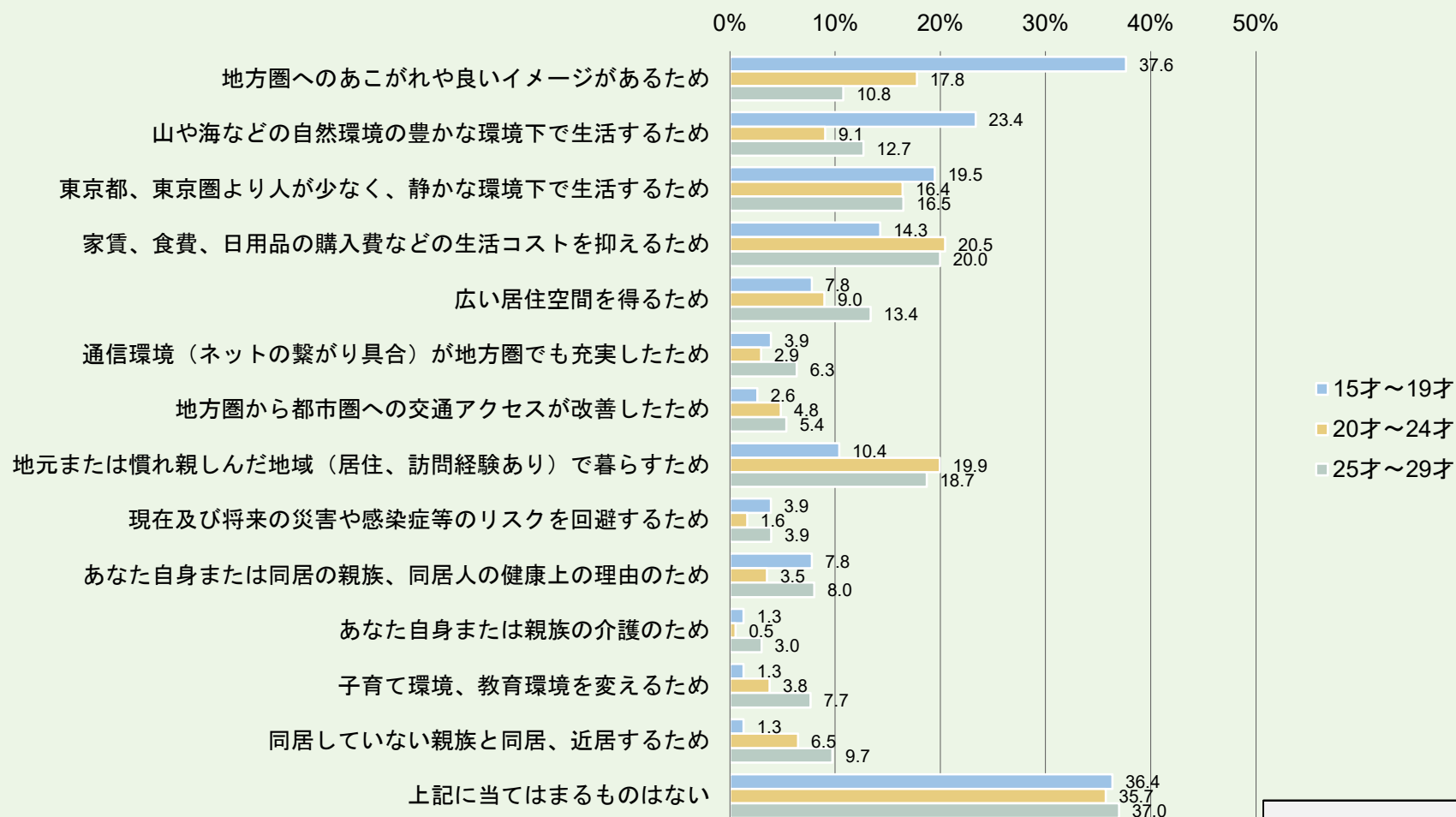


【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699

# 3. 集計結果

Q14. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)  
 ※「東京圏から地方圏へ移動」の回答者のみが回答 (年齢階級別)

- ・年齢階級別では、「15才～19才」では、イメージや環境的側面を転居の理由とする割合が高く、「20才～24才」「25才～29才」では、環境的な側面に加え、生活コストの低減、地元や慣れ親しんだ地域での生活などが転居の理由として高くなっている。

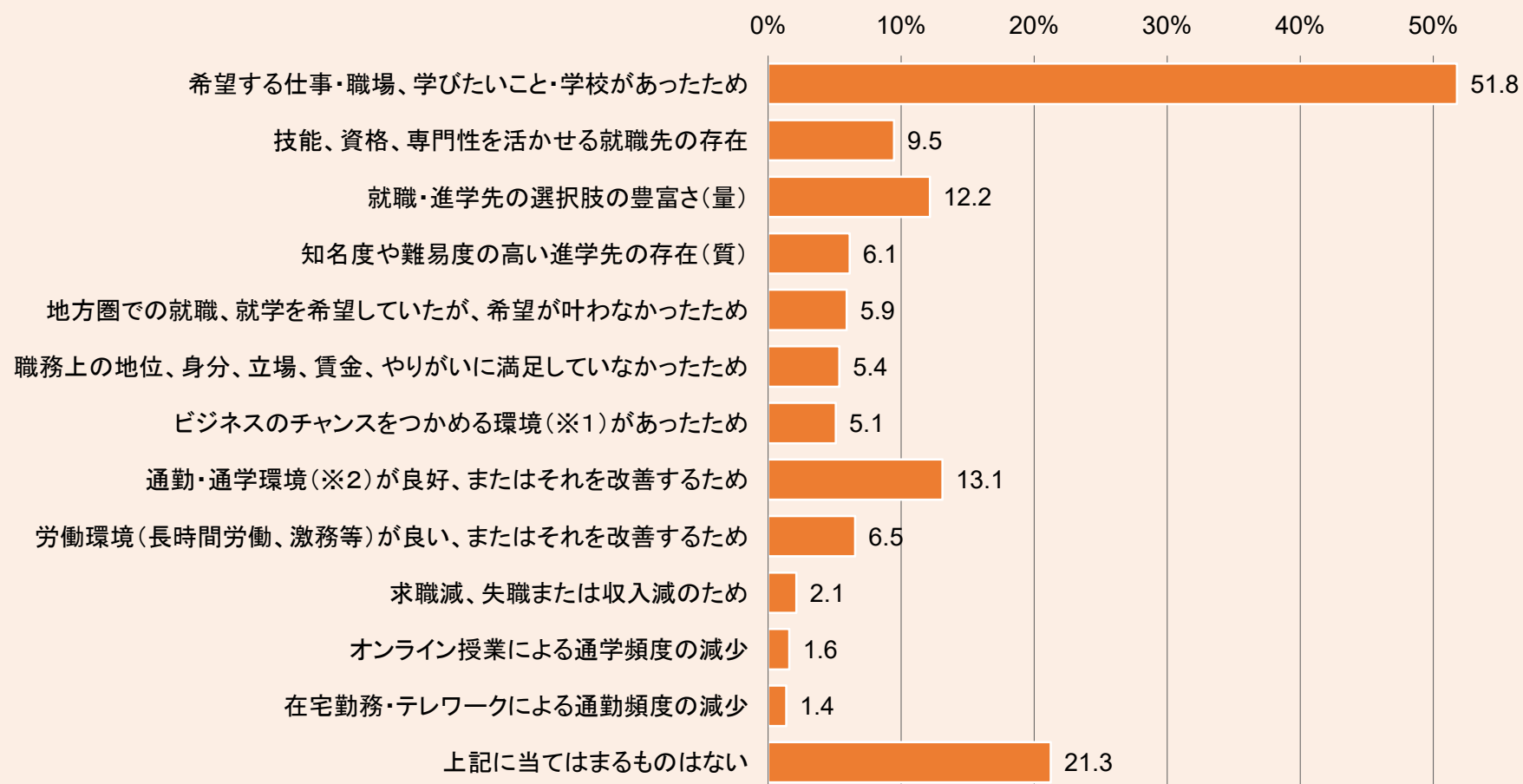


【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573

### 3. 集計結果

Q15. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)  
※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答

- 「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」の割合が最も高く51.8%となっている。次いで、「上記に当てはまるものはない」が21.3%、「通勤・通学環境（長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等）が良好、またはそれを改善するため」が13.1%となっている。

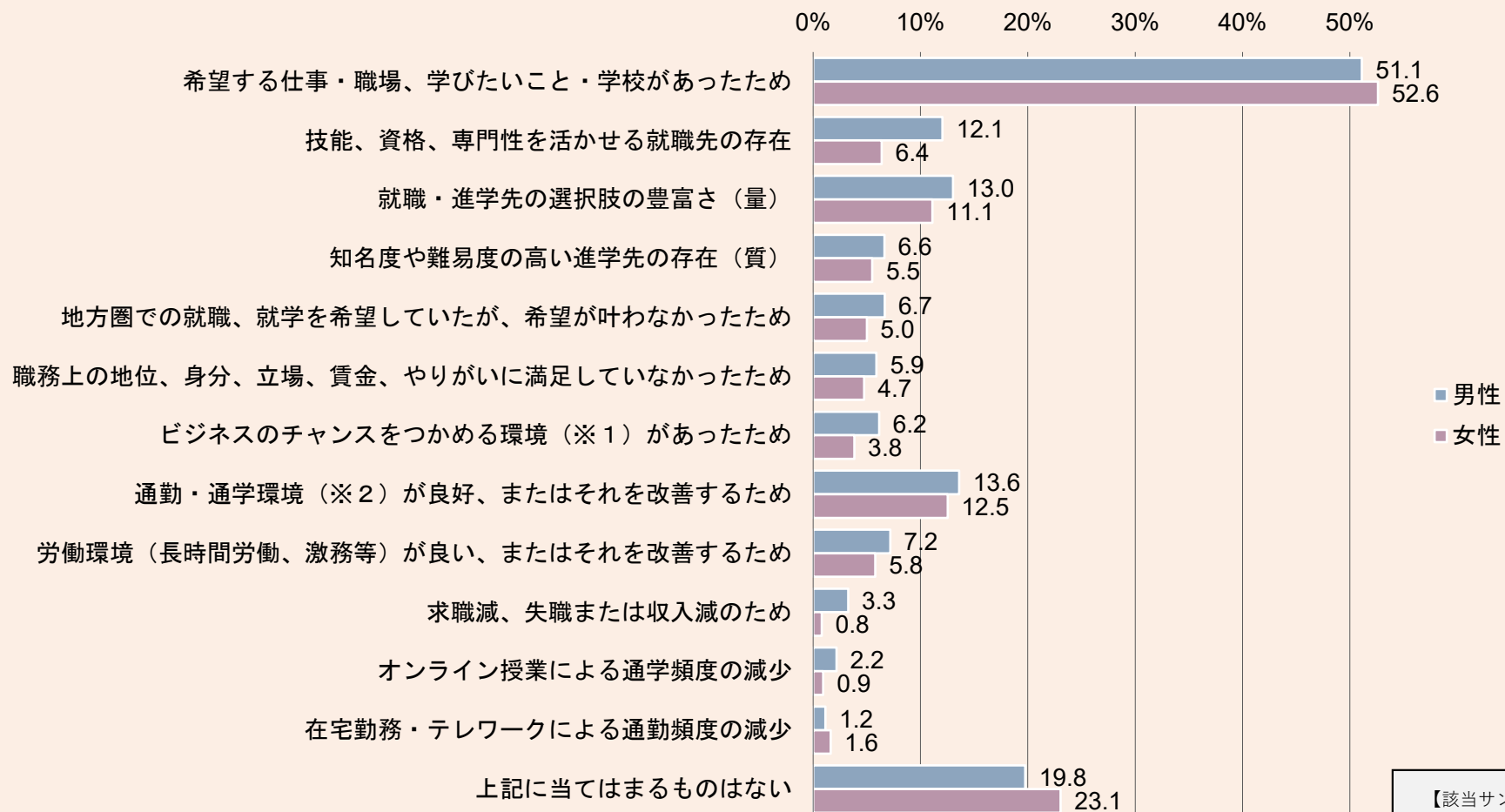


【該当サンプル数】	n=
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

**Q15. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)**  
**※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答 (性別)**

- ・男女とも、「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」が5割を超えている。
- ・男女間で、比較的大きな差がみられるのは、「技能、資格、専門性を活かせる就職先の存在」であり男性の割合が高くなっている。また、全般に女性に比べ男性の方が高い割合を示している。



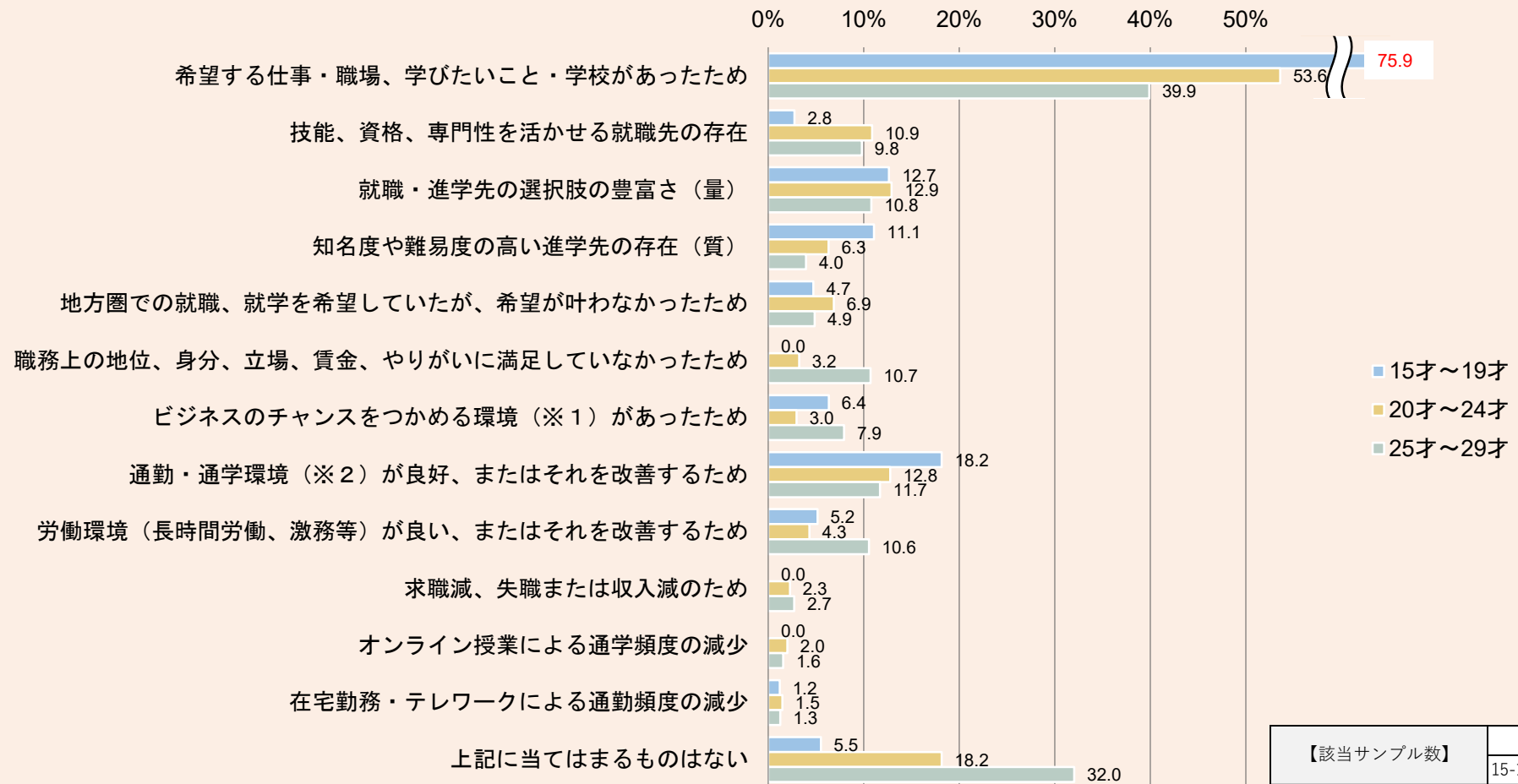
【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
地方圏から東京圏へ移動	287	937



# 3. 集計結果

**Q15. <仕事・学業関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)**  
**※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答 (年齢階級別)**

- ・年齢階級別では、各年齢階級とも「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」が、突出する形で高い割合を示している。
- ・ただし、その割合は、年齢階級の上昇とともに低下し、逆に「上記に当てはまるものはない」とする割合が年齢階級の上昇とともに高くなっている。



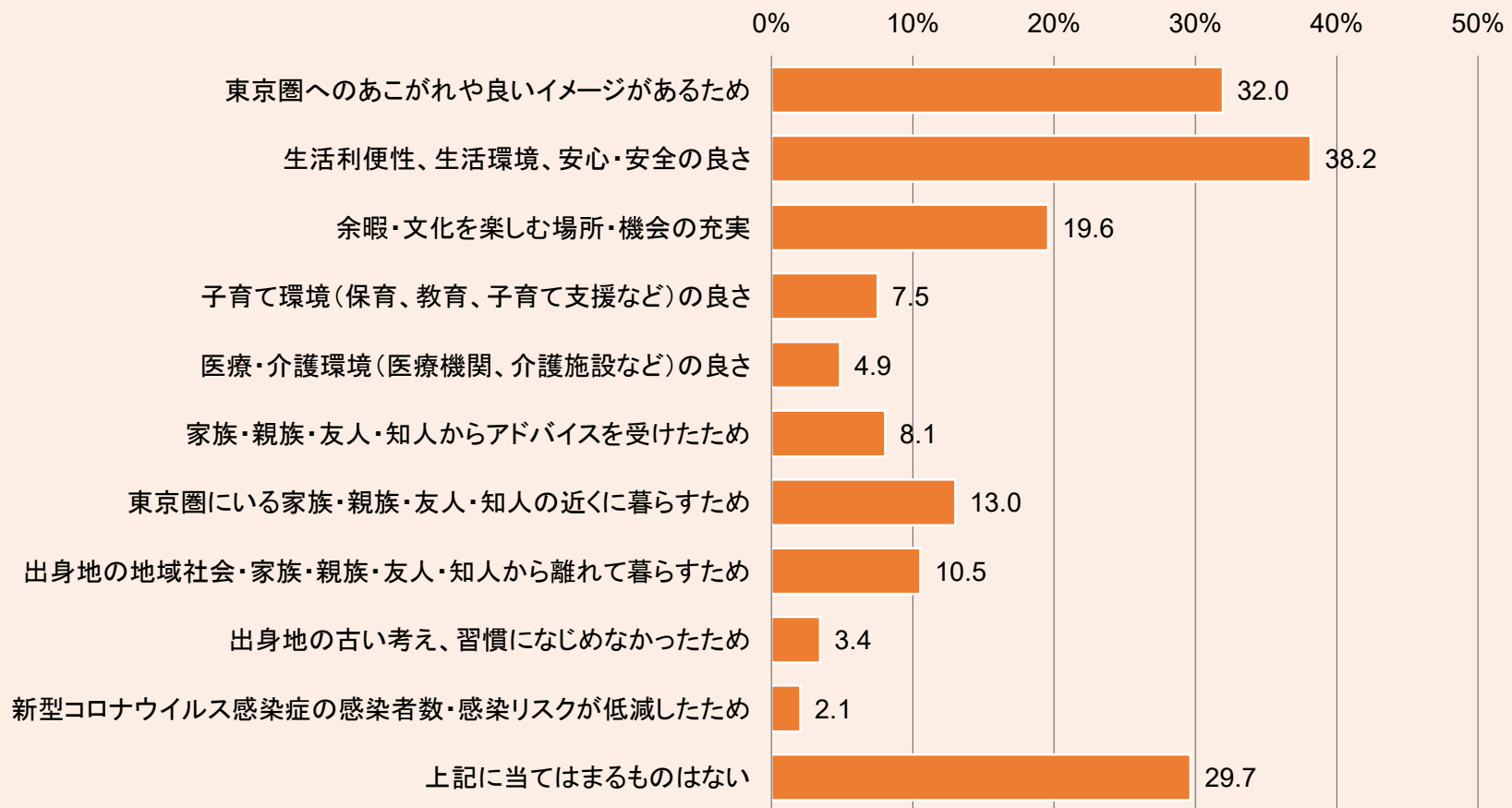
【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636



### 3. 集計結果

Q16. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。（複数回答）  
※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答

- 「生活利便性、生活環境、安心・安全の良さ」の割合が最も高く38.2%となっている。次いで、「東京圏へのあこがれや良いイメージがあるため」が32.0%、「上記に当てはまるものはない」が29.7%となっている。

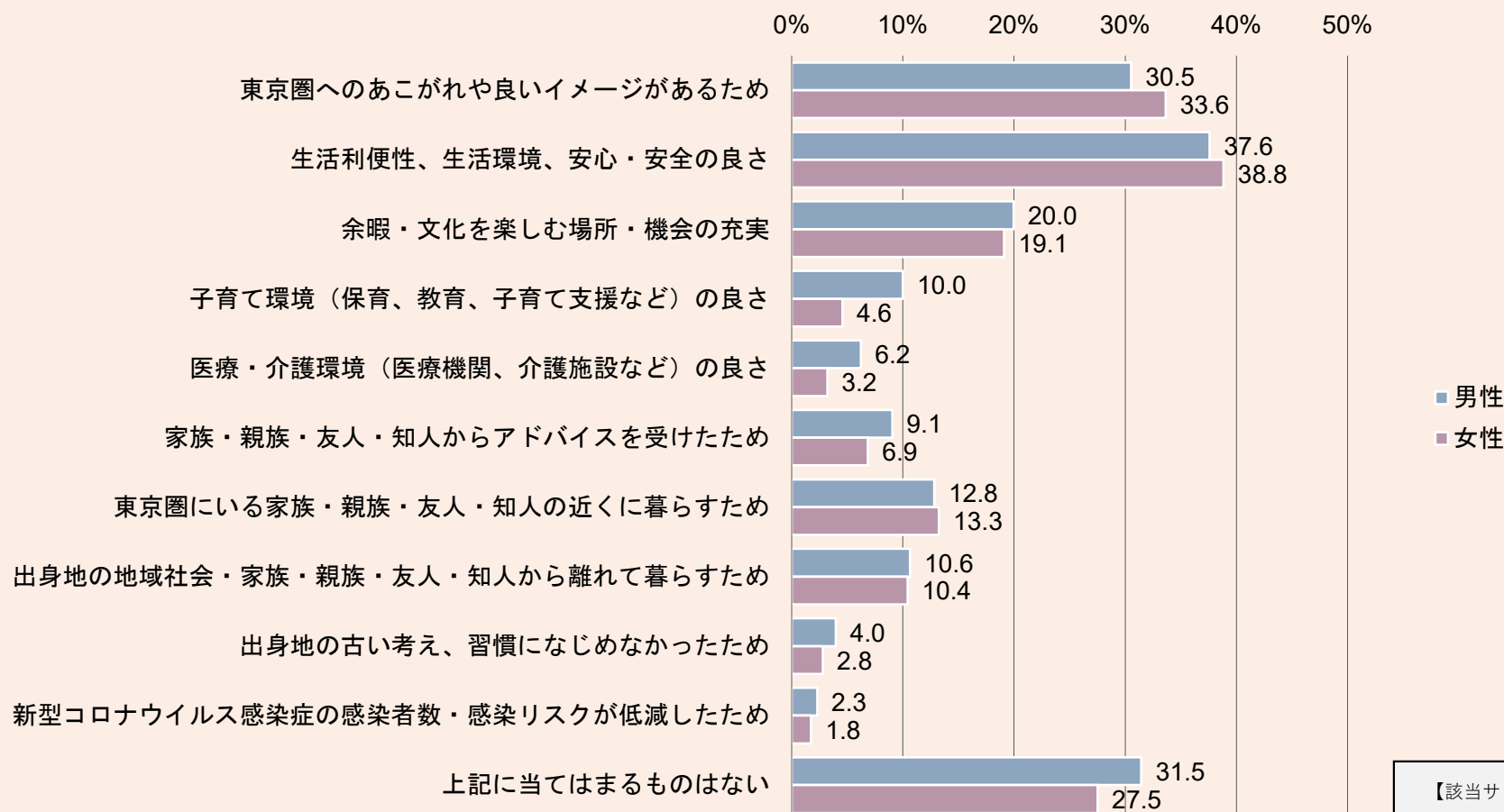


【該当サンプル数】	n=
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

Q16. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。(複数回答)  
 ※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答 (性別)

- ・男女とも、「生活利便性、生活環境、安心・安全の良さ」が最も高く、次いで「東京圏へのあこがれや良いイメージがあるため」となっているが、その割合は、女性が若干高くなっている。
- ・男女間で比較的大きな差があるのは「子育て環境（保育、教育、子育て支援など）の良さ」であり、男性の方が女性より高くなっている。

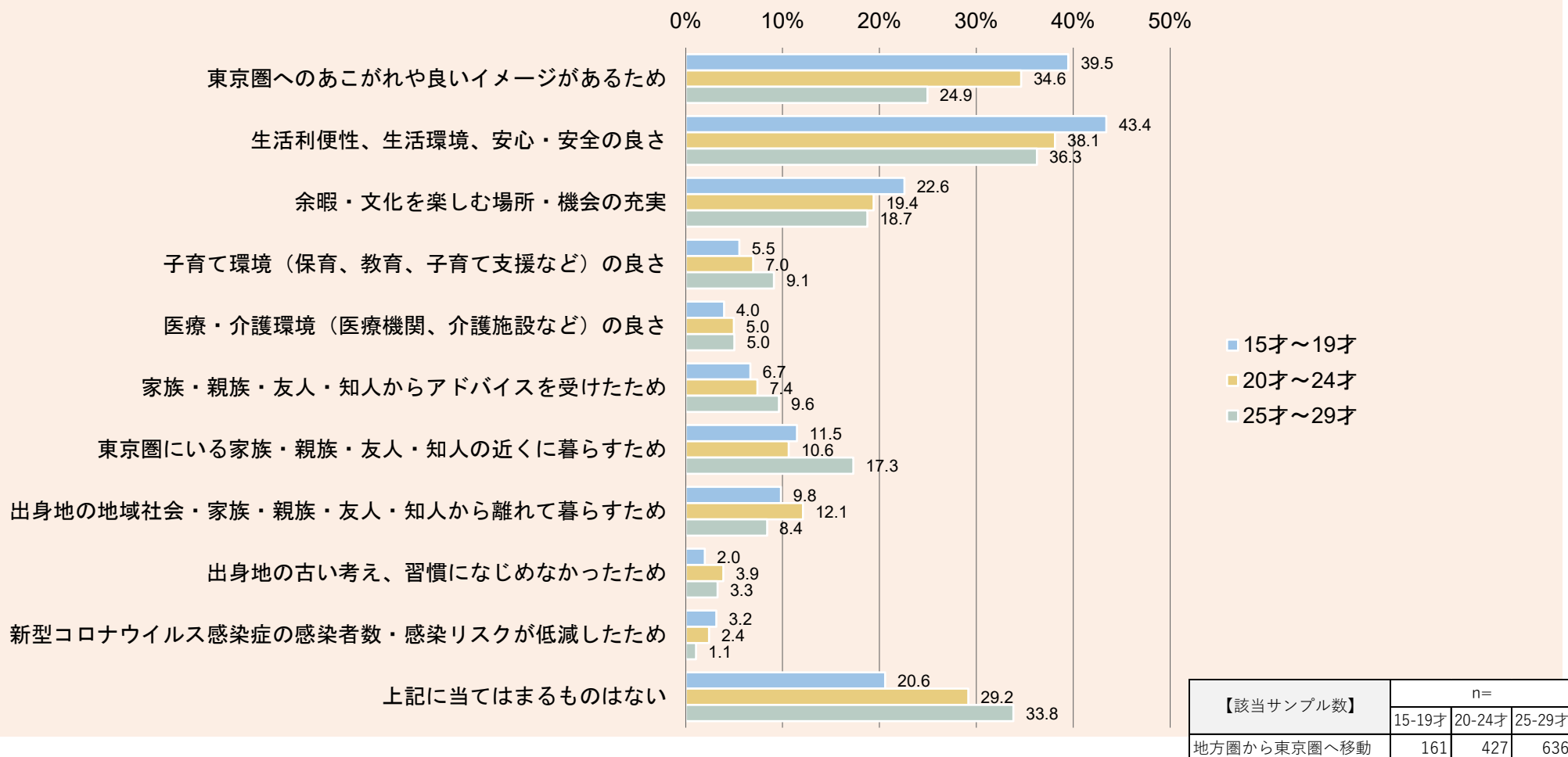


【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
地方圏から東京圏へ移動	287	937

# 3. 集計結果

**Q16. <その他、生活関連>あなたが転居した理由として、当てはまるものを全てお答えください。（複数回答）**  
**※「地方圏から東京圏へ移動」の回答者のみが回答** **（年齢階級別）**

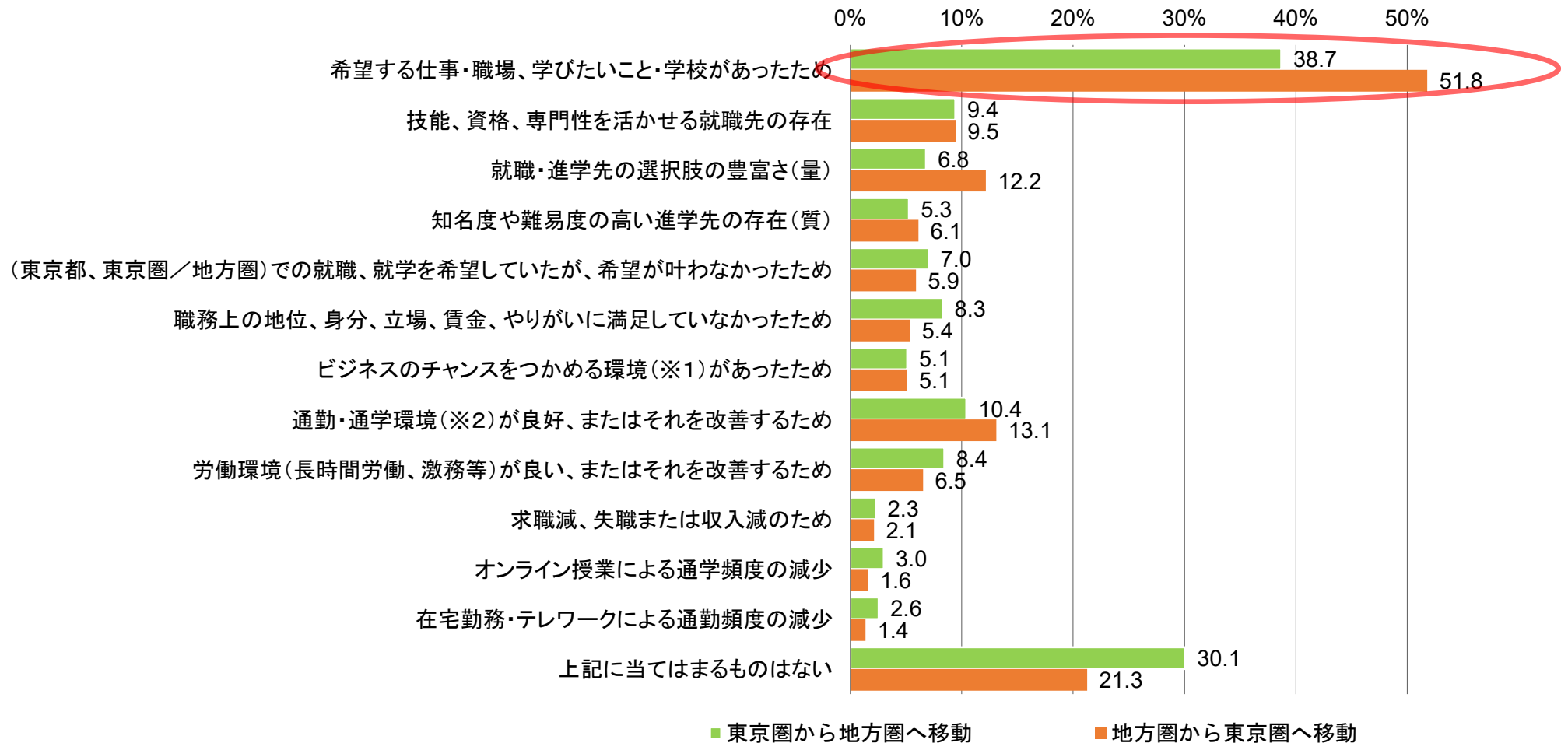
- ・年齢階級別で比較的大きな差がみられるのは「東京圏へのあこがれや良いイメージがあるため」であり、年齢階級の上昇とともに、その割合は低下し、差が広がっている。
- ・また「25才～29才」では他の年齢階級に比べ、「東京圏にいる家族・親族・友人・知人の近くに暮らすため」の割合が比較的高くなっている。



# 3. 集計結果

## Q13、Q15 「<仕事・学業関連>あなたが転居した理由」 (比較)

- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」の割合が51.8%と、「東京から地方圏への移動」の38.7%に比べて高くなっている。



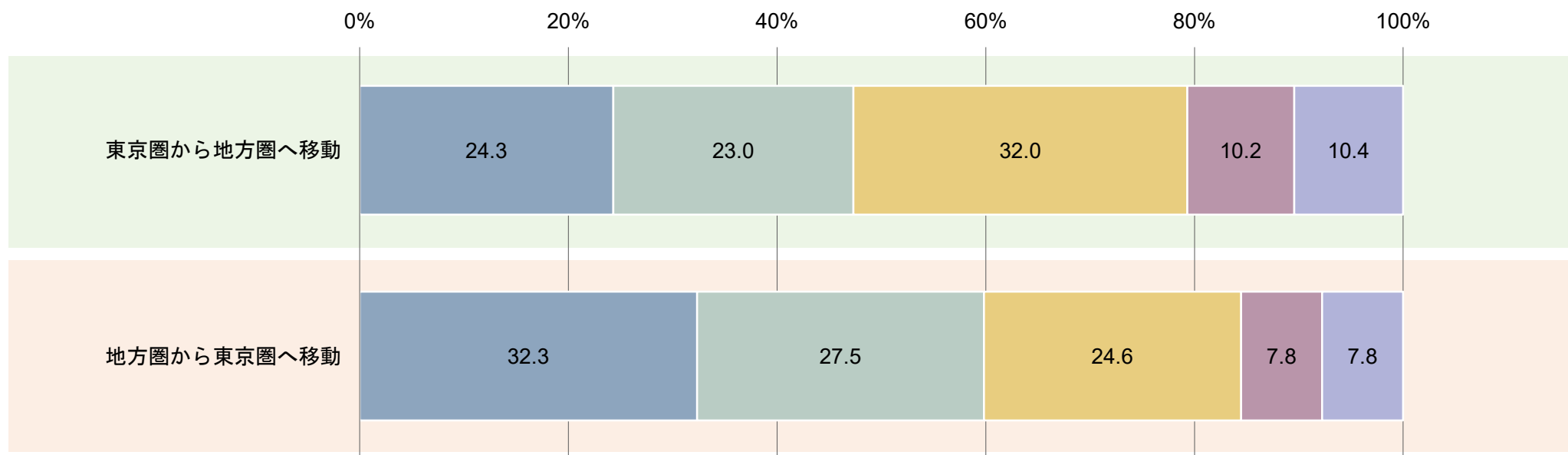
(※1) 例: 起業、フリーランス、芸術・文化関係 (※2) 長時間通勤・通学、満員電車、渋滞した道路下での通勤等

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

#### Q17. 2020年4月以前における、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望について教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」の割合が最も高く32.0%となっている。次いで、「東京圏での暮らしを希望していた」が24.3%、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が23.0%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「東京圏での暮らしを希望していた」の割合が最も高く32.3%となっている。次いで、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が27.5%、「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」が24.6%となっている。



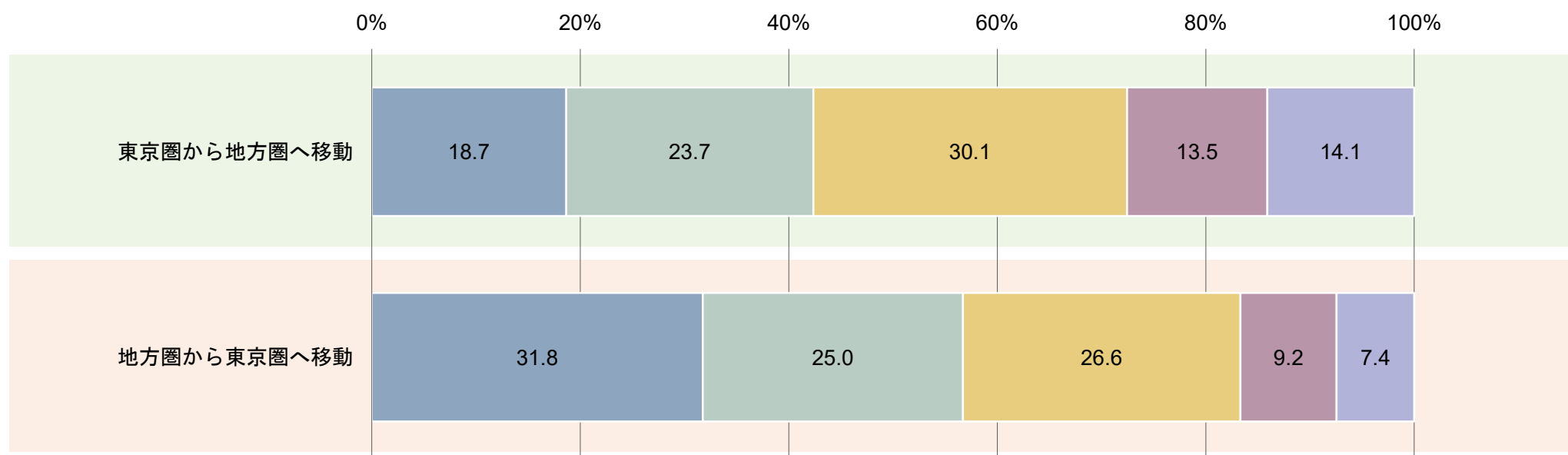
- 東京圏での暮らしを希望していた
- どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた
- 特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった
- どちらかといえば地方圏での暮らしを希望していた
- 地方圏での暮らしを希望していた

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

#### Q18. 2020年4月～2021年頃における、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望について教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」の割合が最も高く30.1%となっている。次いで、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が23.7%、「東京圏での暮らしを希望していた」が18.7%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「東京圏での暮らしを希望していた」の割合が最も高く31.8%となっている。次いで、「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」が26.6%、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が25.0%となっている。



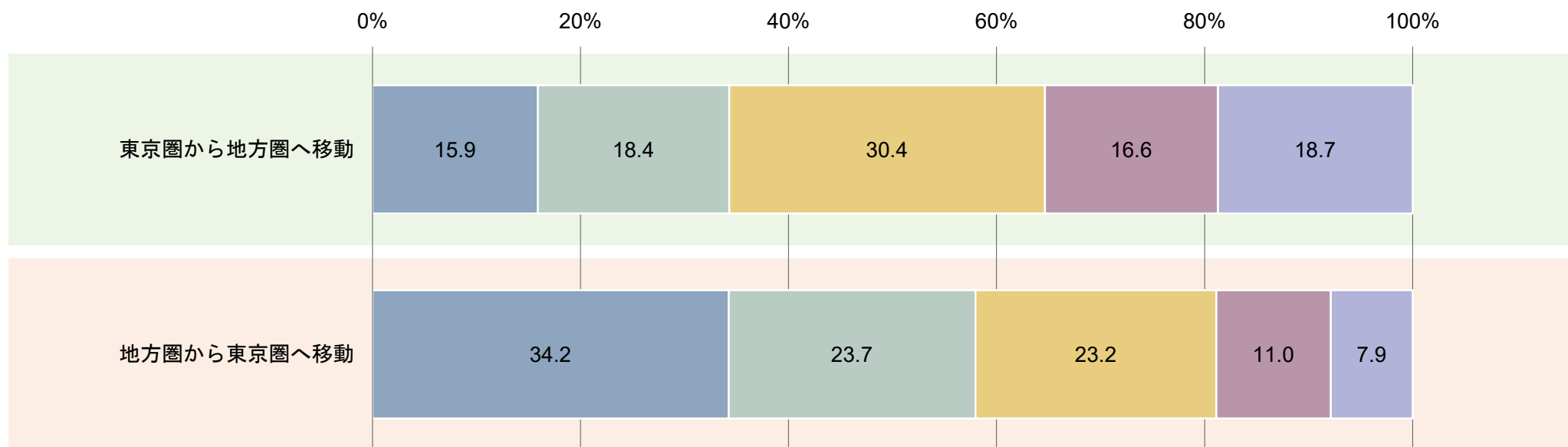
- 東京圏での暮らしを希望していた
- どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた
- 特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった
- どちらかといえば地方圏での暮らしを希望していた
- 地方圏での暮らしを希望していた

【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q19. 現在の、東京圏・地方圏で暮らすことへの希望について教えてください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」の割合が最も高く30.4%となっている。次いで、「地方圏での暮らしを希望していた」が18.7%、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が18.4%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「東京圏での暮らしを希望していた」の割合が最も高く34.2%となっている。次いで、「どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた」が23.7%、「特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった」が23.2%となっている。



- 東京圏での暮らしを希望していた
- どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた
- 特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった
- どちらかといえば地方圏での暮らしを希望していた
- 地方圏での暮らしを希望していた

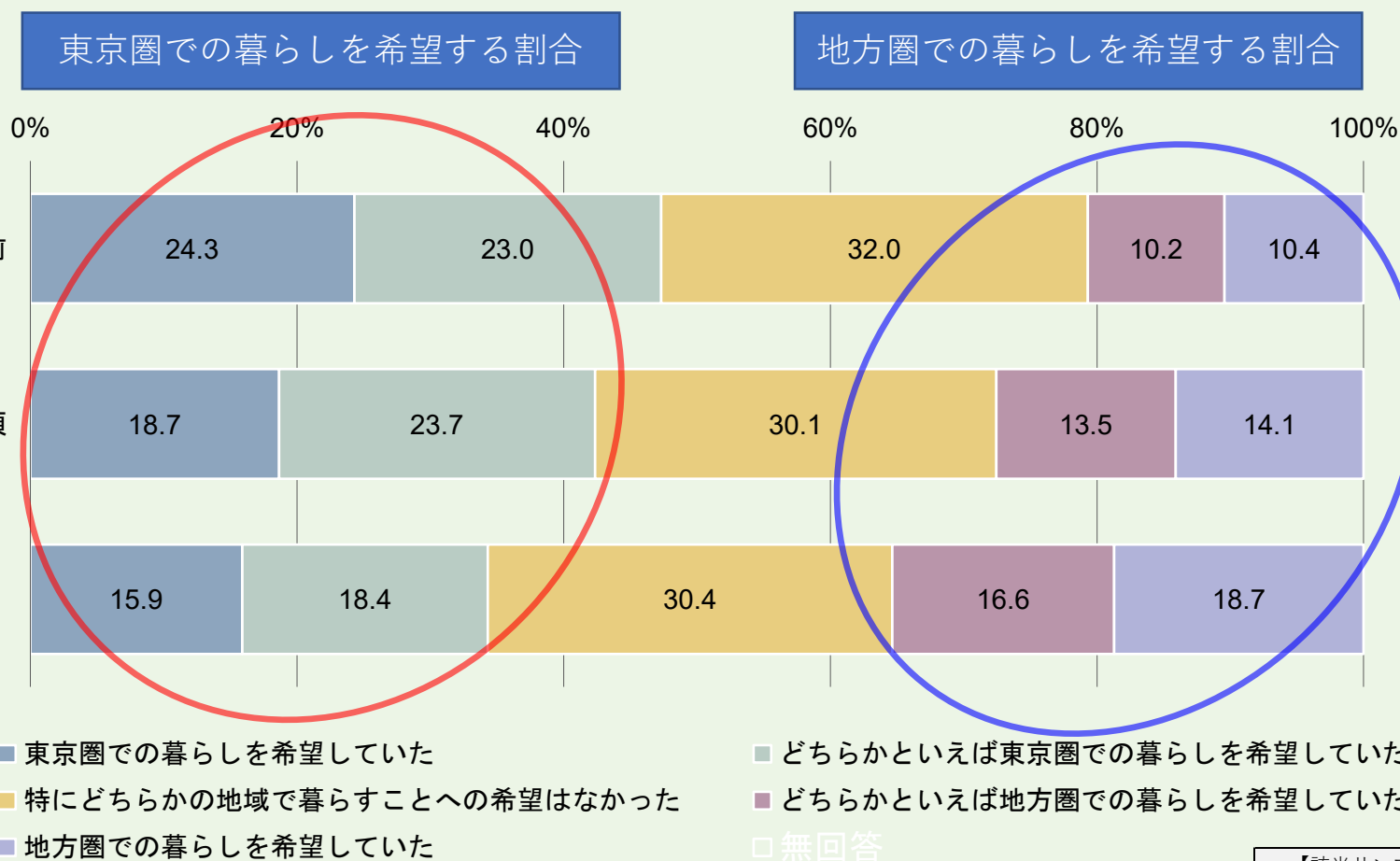
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q17～19. 東京圏・地方圏で暮らすことへの希望（推移） / 「東京圏から地方圏へ移動」

- 「東京圏から地方圏へ移動」では、東京での暮らしを希望する割合が、2020年4月以前の47.3%から現在では34.3%まで下がり、地方圏での暮らしを希望する割合は、20.6%から35.3%まで上昇している。

東京圏から地方圏へ移動



【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916

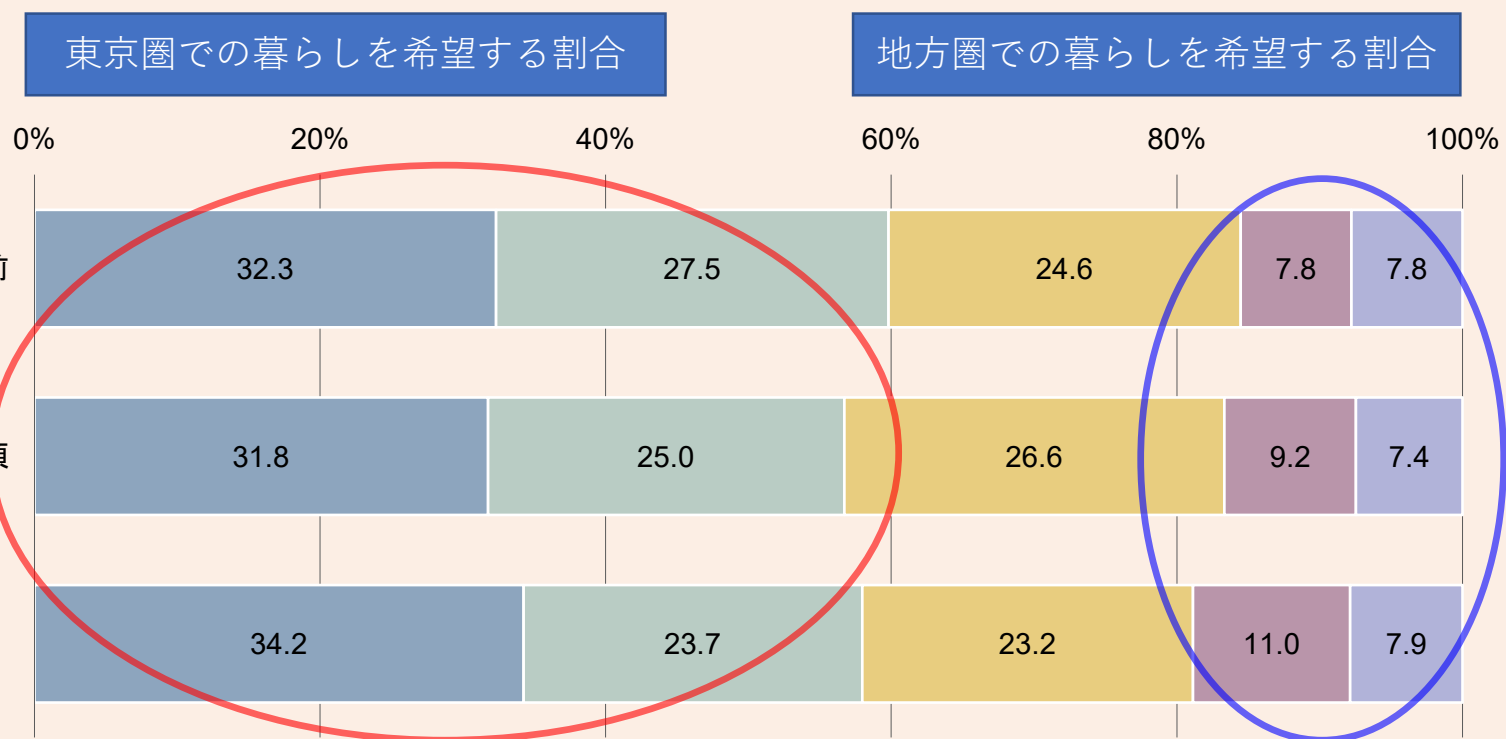


# 3. 集計結果

## Q17~19. 東京圏・地方圏で暮らすことへの希望（推移） / 「地方圏から東京圏へ移動」

- 「地方圏から東京圏へ移動」では、大きな変化はみられない。

地方圏から東京圏へ移動



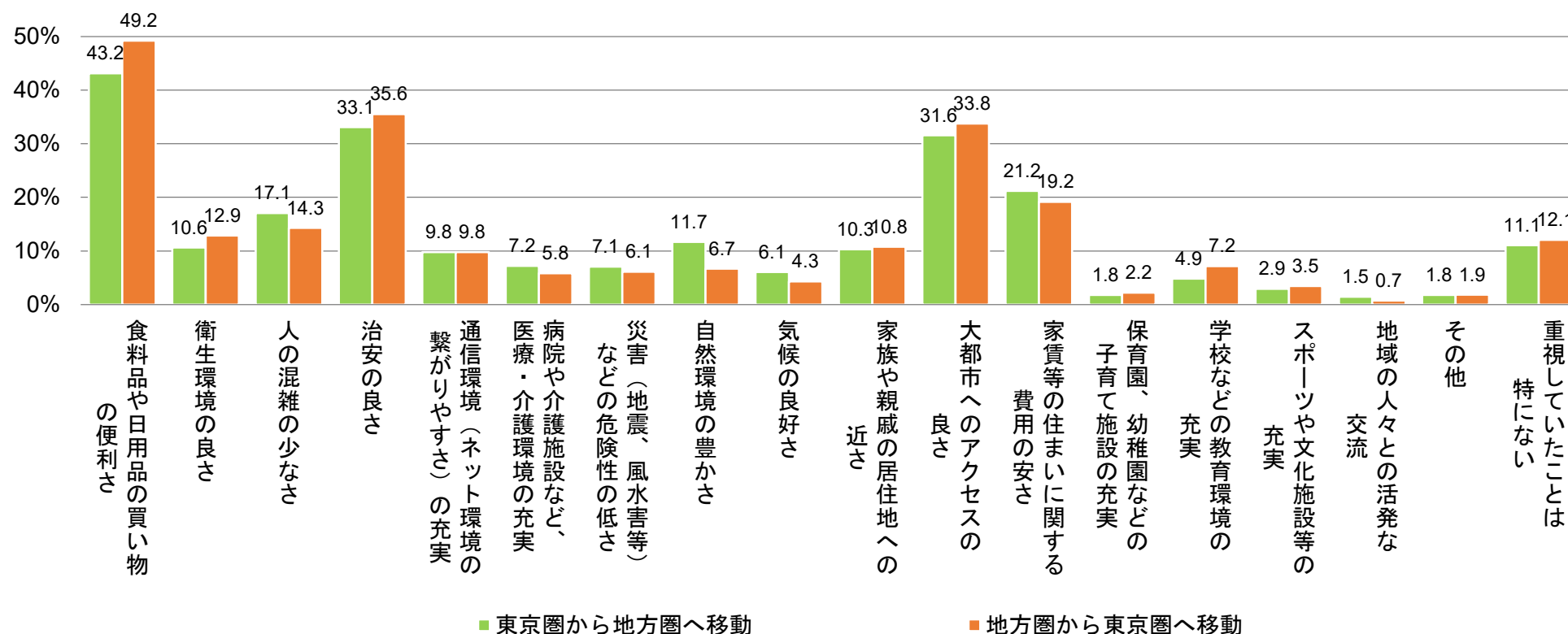
- 東京圏での暮らしを希望していた
- どちらかといえば東京圏での暮らしを希望していた
- 特にどちらかの地域で暮らすことへの希望はなかった
- どちらかといえば地方圏での暮らしを希望していた
- 地方圏での暮らしを希望していた
- 無回答

【該当サンプル数】	n=
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

Q20. 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前）まであなたが居住地を選択する際に重視していたことは何ですか。（複数回答）

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く43.2%となっている。次いで、「治安の良さ」が33.1%、「大都市へのアクセスの良さ」が31.6%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く49.2%となっている。次いで、「治安の良さ」が35.6%、「大都市へのアクセスの良さ」が33.8%となっている。

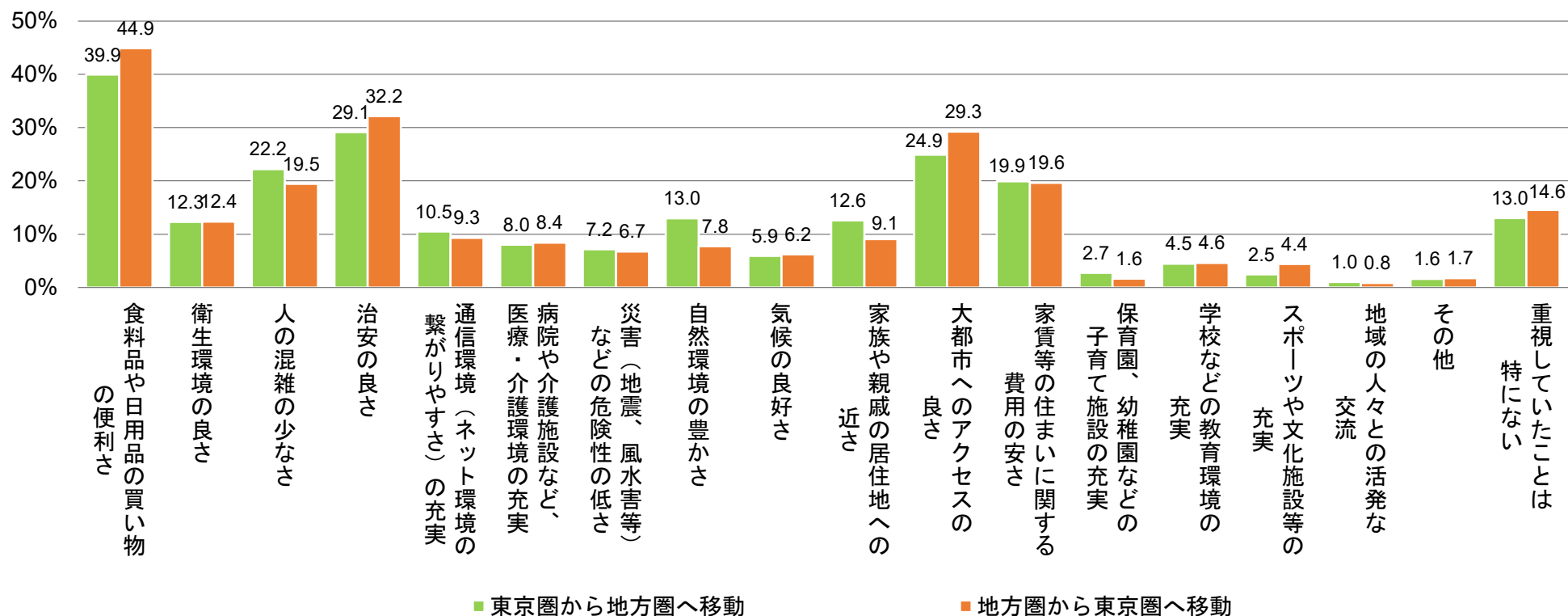


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

Q21. 2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後）であなたが居住地を選択する際に重視していたことは何ですか。（複数回答）

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く39.9%となっている。次いで、「治安の良さ」が29.1%、「大都市へのアクセスの良さ」が24.9%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く44.9%となっている。次いで、「治安の良さ」が32.2%、「大都市へのアクセスの良さ」が29.3%となっている。

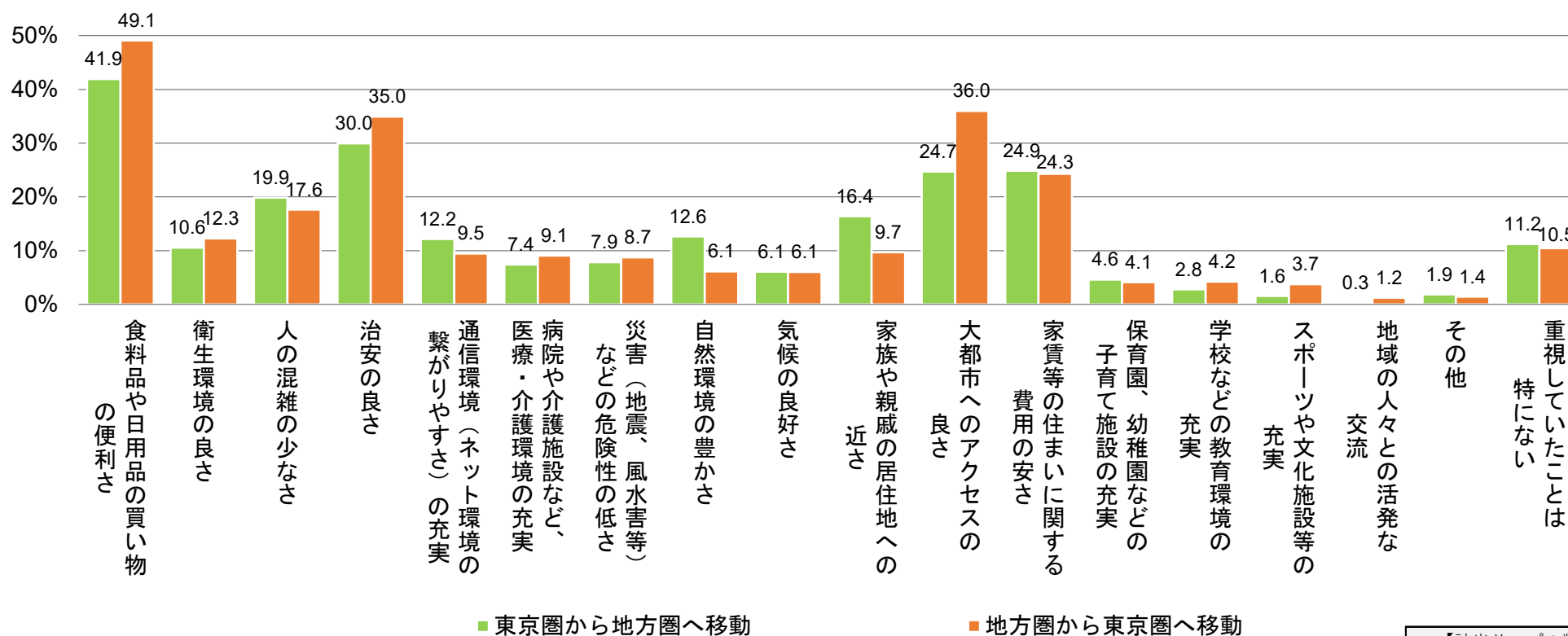


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q22. 現在（2023年1月時点）、あなたが居住地を選択する際に重視していることは何ですか。（複数回答）

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く41.9%となっている。次いで、「治安の良さ」が30.0%、「家賃等の住まいに関する費用の安さ」が24.9%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「食料品や日用品の買い物の便利さ」の割合が最も高く49.1%となっている。次いで、「大都市へのアクセスの良さ」が36.0%、「治安の良さ」が35.0%となっている。



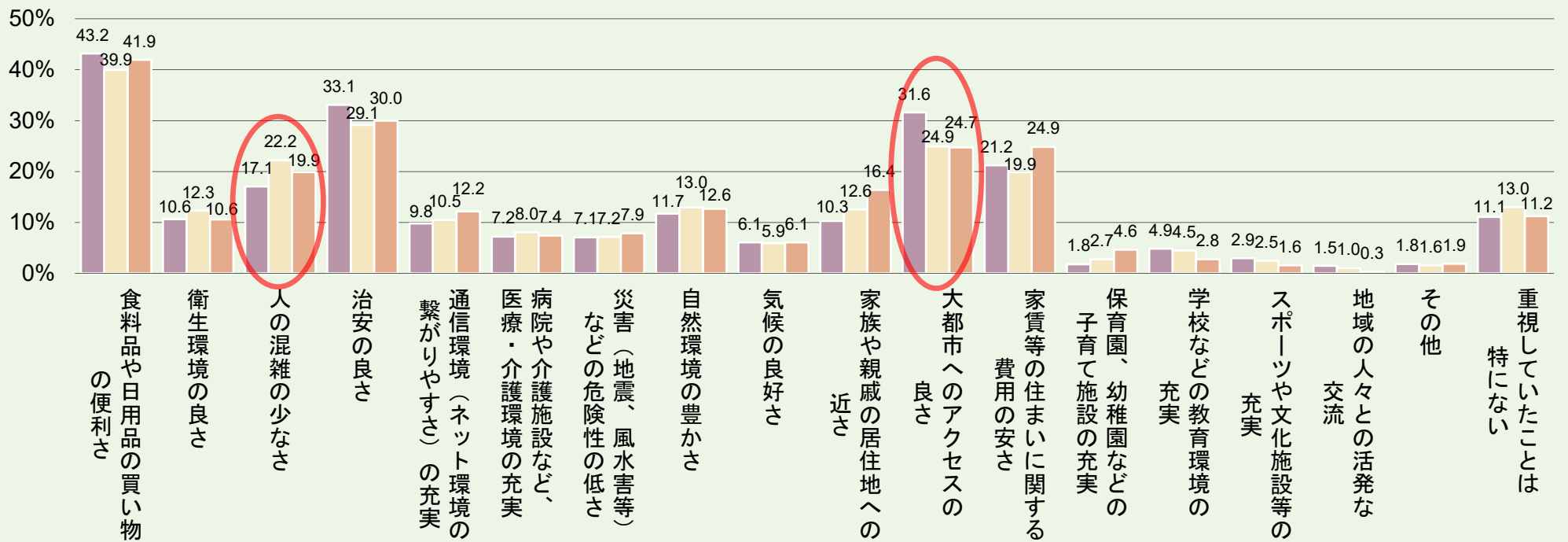
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

## Q20～22. 居住地を選択する際に重視していること（推移） / 「東京圏から地方圏へ移動」

- 「人の混雑の少なさ」を重視する人の割合が、「2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後）」では「2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前）」と比べて高くなっている。
- 「大都市へのアクセスの良さ」を重視する人の割合が、「2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後）」で「2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前）」と比べて低くなっていて、現在も変わっていない。

東京圏から地方圏へ移動



■ 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前） ■ 2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後） ■ 現在（2023年1月時点）

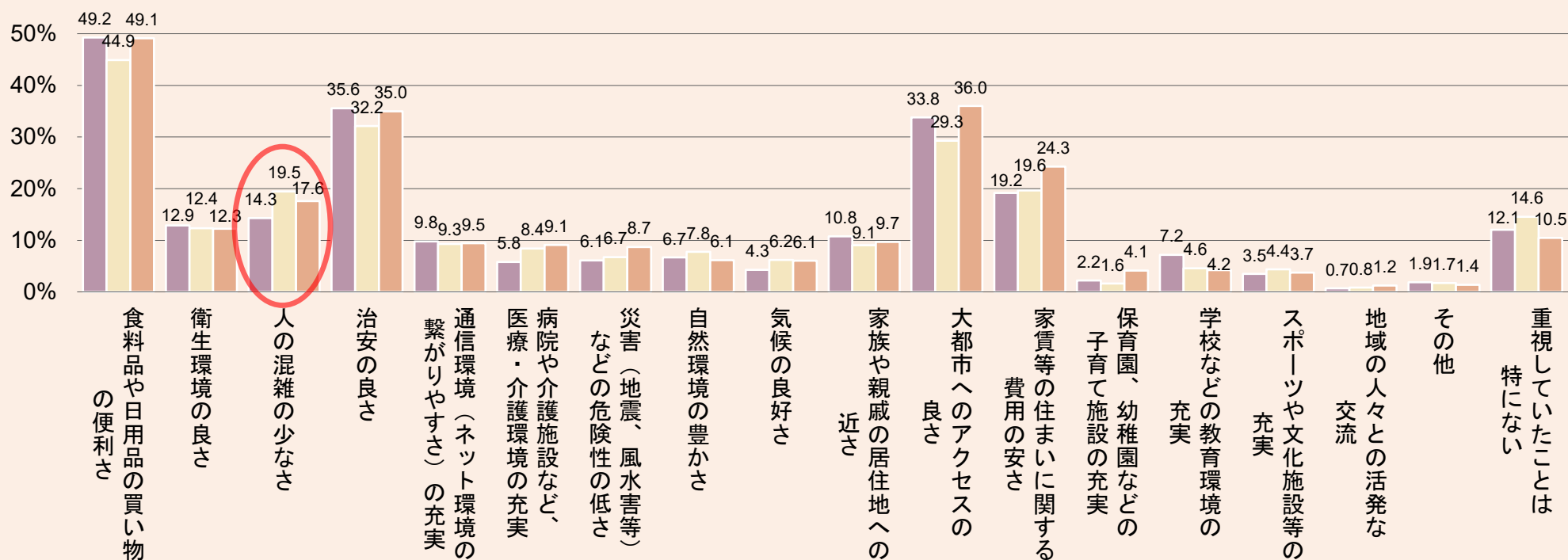
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916

# 3. 集計結果

## Q20～22. 居住地を選択する際に重視していること（推移） / 「地方圏から東京圏へ移動」

- 「人の混雑の少なさ」を重視する人の割合が、「2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後）」では「2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前）」と比べて高くなっている。

地方圏から東京圏へ移動



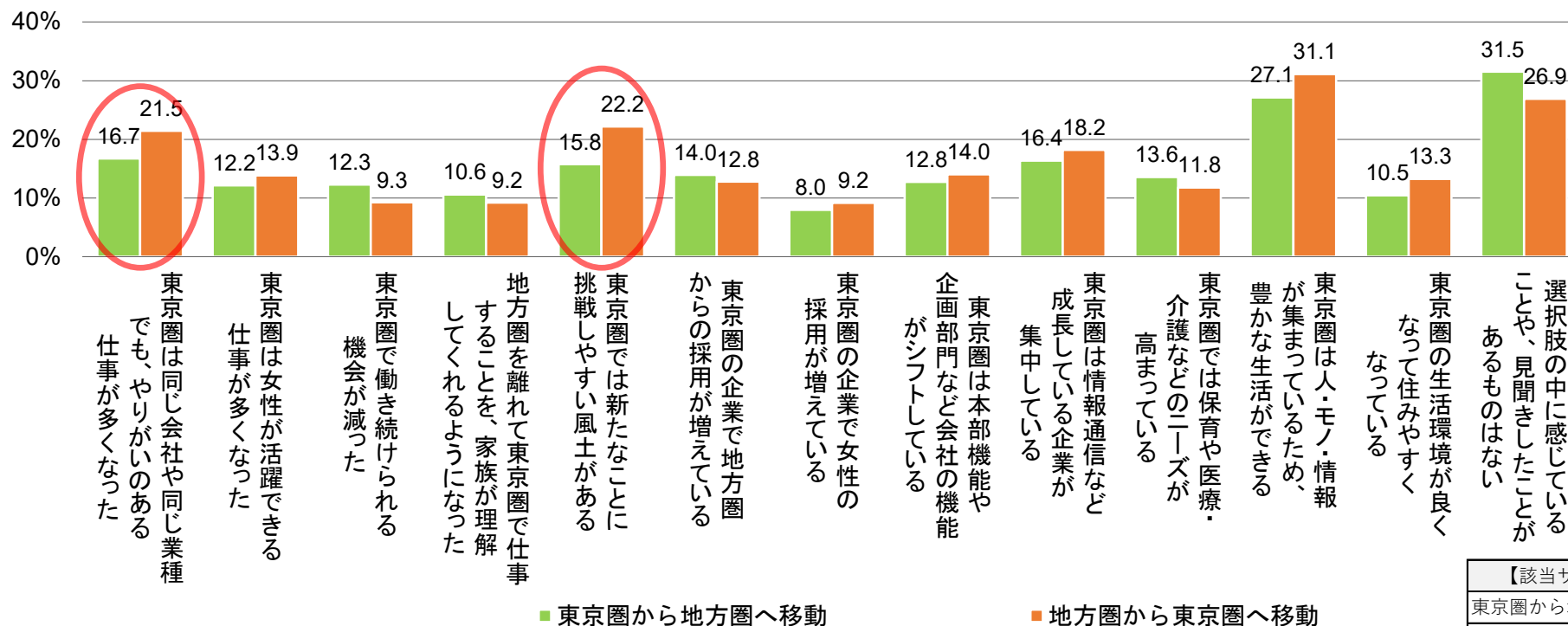
■ 2020年4月以前（新型コロナウイルス感染症拡大以前）    ■ 2020年4月～2021年頃（新型コロナウイルス感染症拡大直後）    ■ 現在（2023年1月時点）

【該当サンプル数】	n=
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

Q23. 次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。（複数回答）

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない」の割合が最も高く31.5%となっている。次いで、「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」が27.1%、「東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった」が16.7%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」の割合が最も高く31.1%となっている。次いで、「選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない」が26.9%、「東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある」が22.2%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」で、「東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった」「東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある」の割合が「東京圏から地方圏へ移動」と比べて高くなっている。



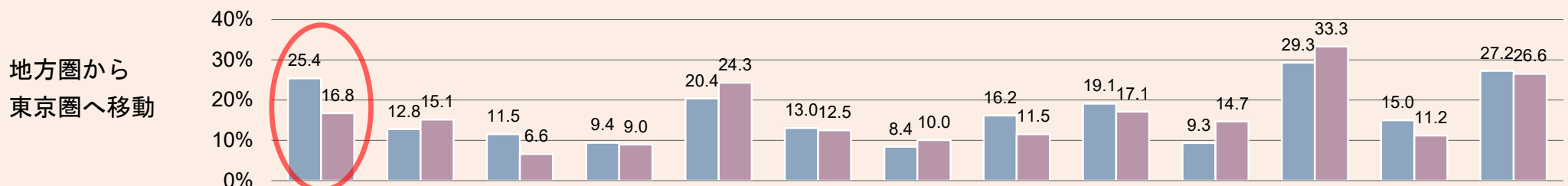
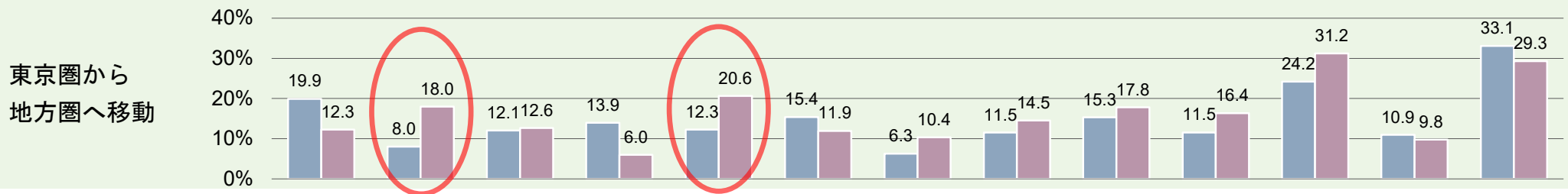
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224



# 3. 集計結果

Q23. 次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。（複数回答） **（性別）**

- 男女間で比較的大きな差があるのは、「東京圏から地方圏へ移動」では「東京圏は女性が活躍できる仕事が多くなった」「東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある」などで、いずれも女性の割合が高くなっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった」に差が見られ、男性の割合が高くなっている。



東京圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった

東京圏は女性が活躍できる仕事が多くなった

東京圏で働き続けられる機会が減った

東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある

東京圏では新たなことに挑戦しやすい風土がある

東京圏の企業で地方圏からの採用が増えている

東京圏の企業で女性の採用が増えている

東京圏は本部機能や企画部門など会社の機能がシフトしている

東京圏は情報通信など成長している企業が集中している

東京圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている

東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる

東京圏の生活環境が良くなっている

東京圏は住みやすくなっている

選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあつたものはない

■ 男性 ■ 女性

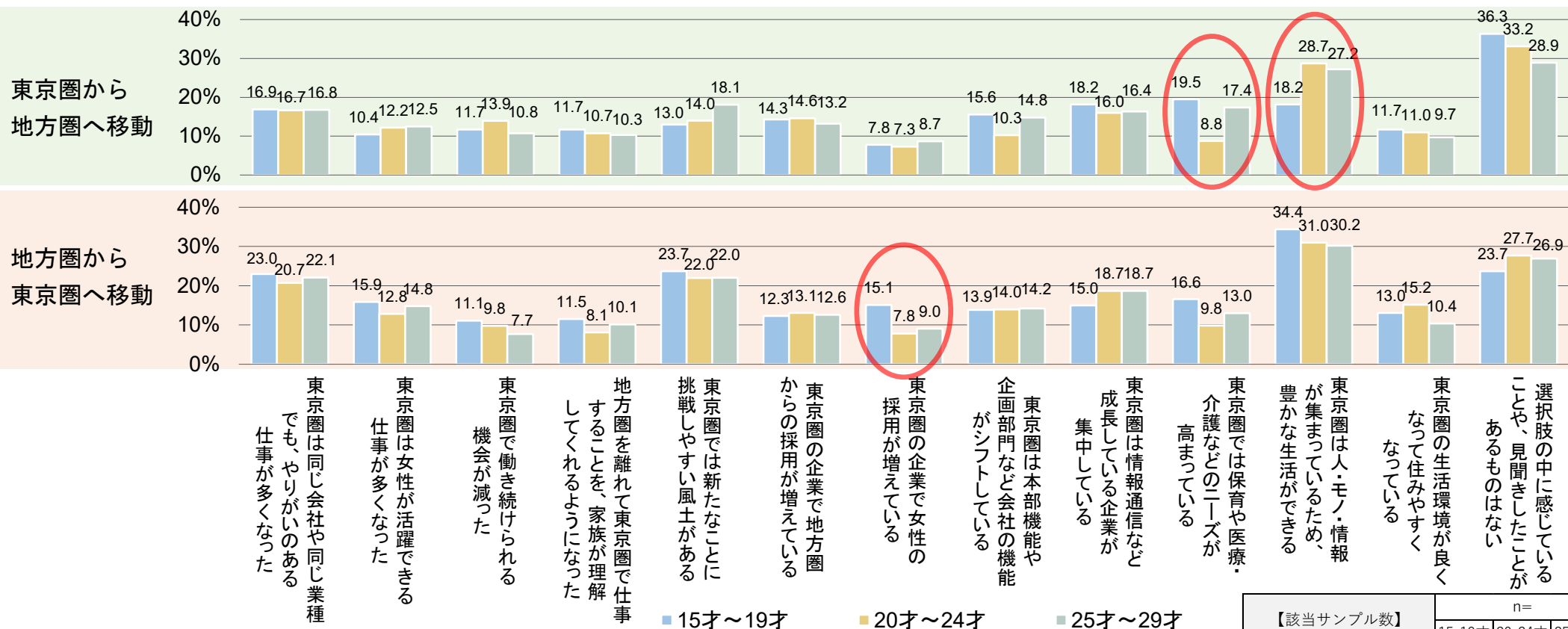
【該当サンプル数】	n =	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699
地方圏から東京圏へ移動	287	937



# 3. 集計結果

Q23. 次の中で、東京圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。（複数回答） **（年齢階級別）**

- 「東京圏から地方圏へ移動」では、「東京圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている」や「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」などで、特に「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」は、15才～19才で他の年齢階級に比べ低くなっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「東京圏の企業で女性の採用が増えている」で、15才～19才の割合が他の年齢階級に比べ高くなっている。

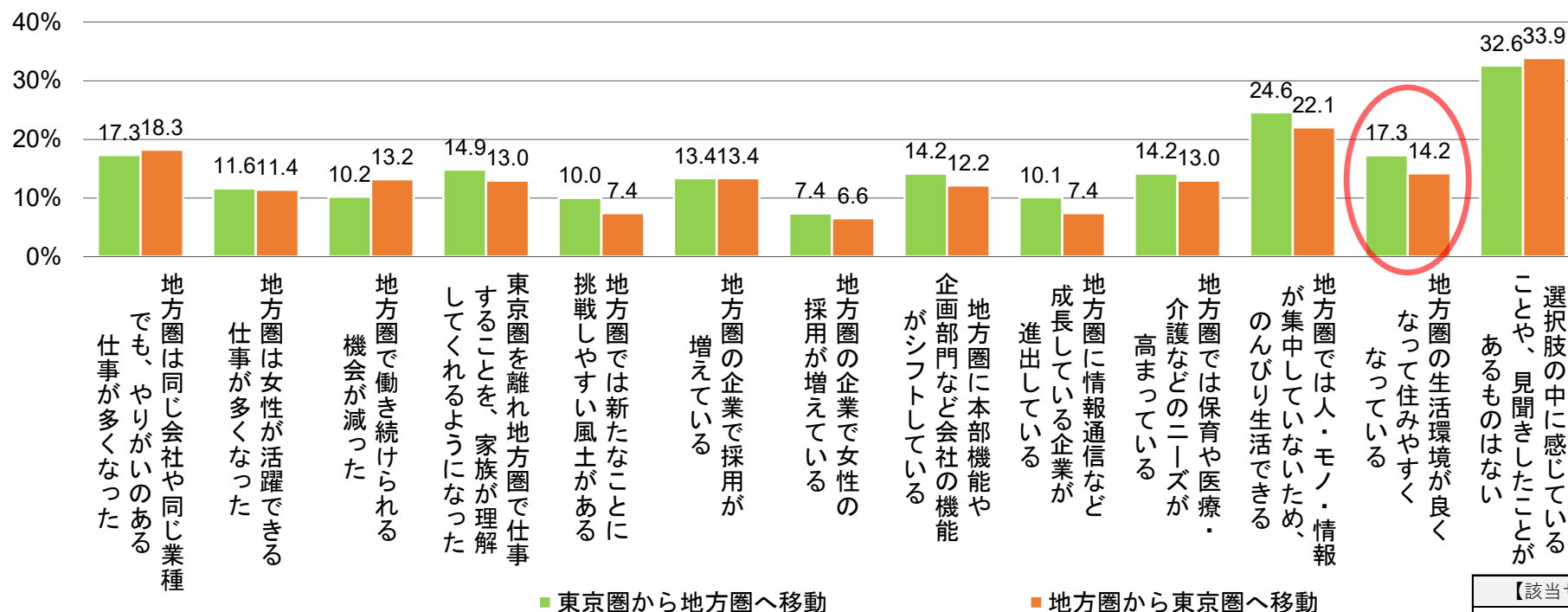


【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636

# 3. 集計結果

Q24. 次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。（複数回答）

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない」の割合が最も高く32.6%となっている。次いで、「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」が24.6%、「地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった」が17.3%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「選択肢の中に感じていることや、見聞きしたことがあるものはない」の割合が最も高く33.9%となっている。次いで、「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」が22.1%、「地方圏は同じ会社や同じ業種でも、やりがいのある仕事が多くなった」が18.3%となっている。
- 「東京圏から地方圏へ移動」で、「地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている」の割合が「地方圏から東京圏へ移動」と比べて高くなっている。

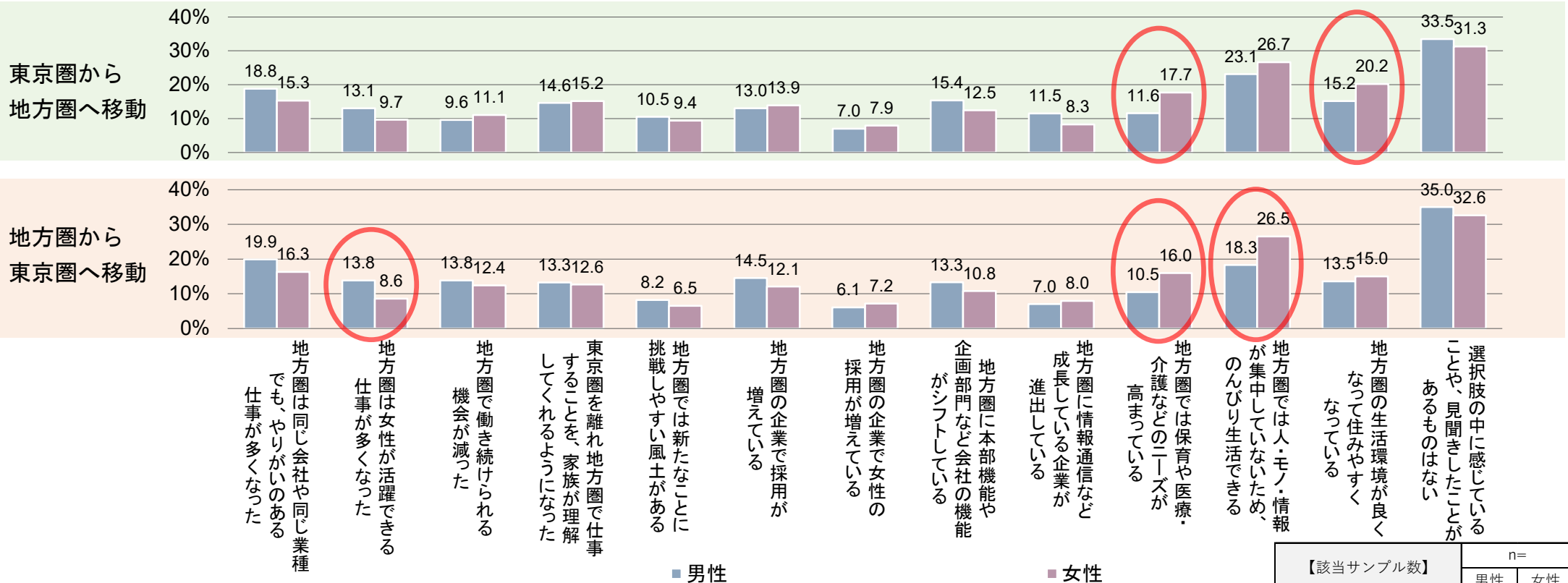


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

# 3. 集計結果

Q24. 次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあるらば、すべてお答えください。（複数回答） **(性別)**

- 男女間で比較的大きな差があるのは、「東京圏から地方圏へ移動」では「地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている」や「地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている」で、女性の割合が高くなっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」「地方圏では保育や医療・介護などのニーズが高まっている」「地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった」などとなっているが、「地方圏は女性が活躍できる仕事が多くなった」とする割合は、男性に比べ女性の方が低くなっている。

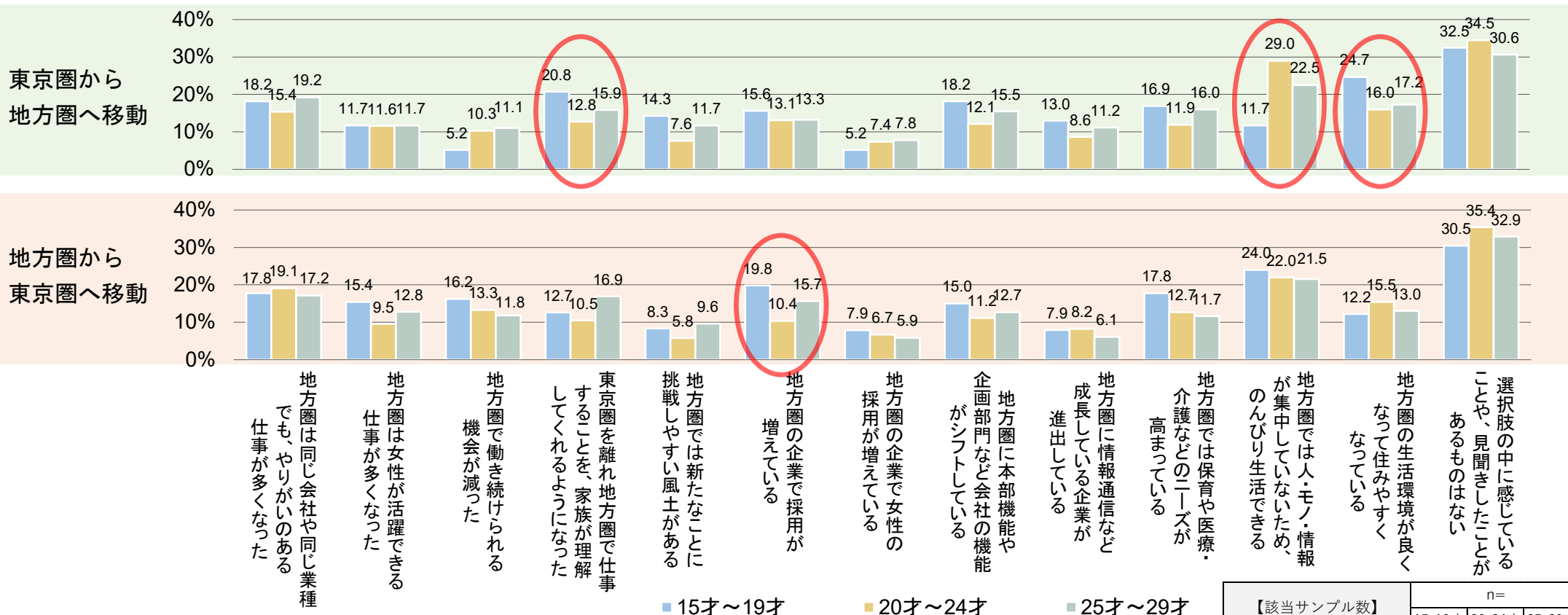


【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699
地方圏から東京圏へ移動	287	937

# 3. 集計結果

Q24. 次の中で、地方圏のイメージとして2020年4月以降、あなたが感じていることや、見聞きしたことがあれば、すべてお答えください。（複数回答） **（年齢階級別）**

- 「東京圏から地方圏へ移動」では、「東京圏を離れ地方圏で仕事することを、家族が理解してくれるようになった」「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」「地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている」などで、年齢階級別での違いが大きくなっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「地方圏の企業で採用が増えている」で、15才～19才の割合が他の年齢階級に比べ高くなっている。

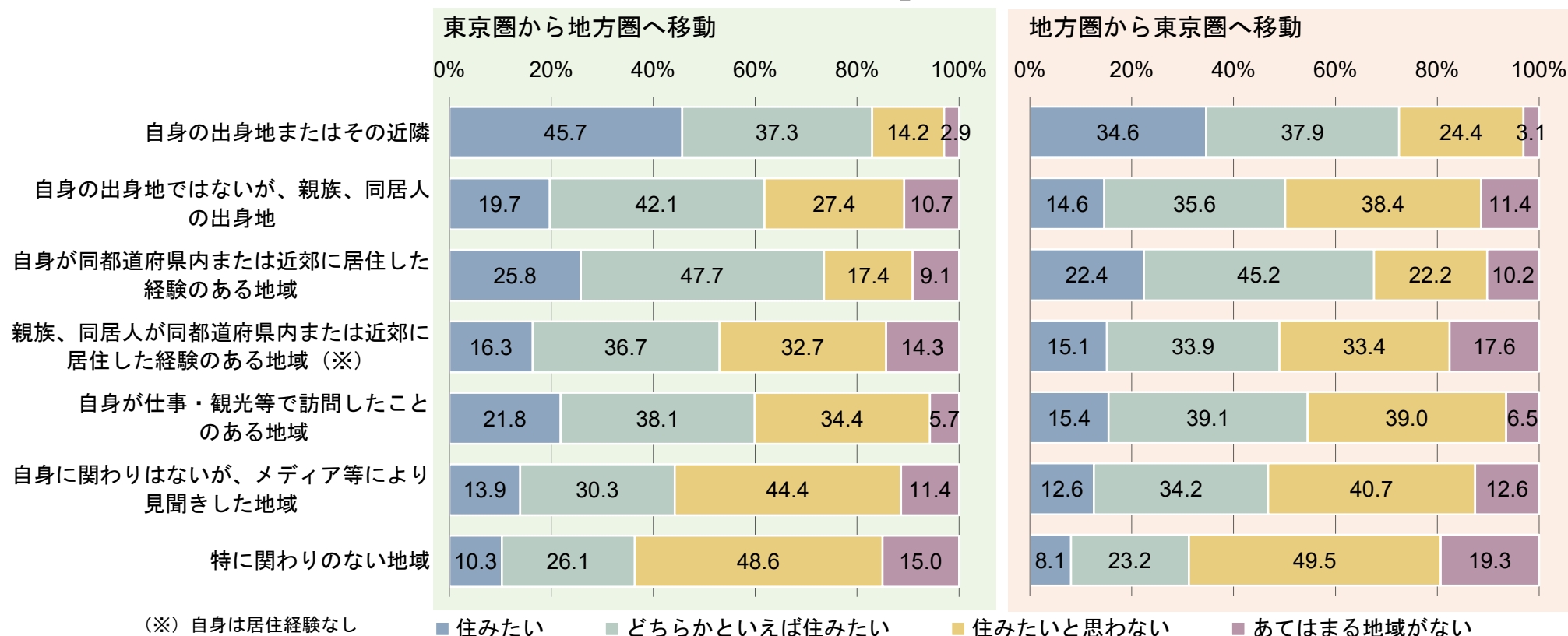


【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636

# 3. 集計結果

**Q25. あなたは、地方圏での居住において、以下のそれぞれの地域について、どの程度住みたいと思われ  
ますか。**

- ・「住みたい」と答えた地域に着目すると、「東京圏から地方圏へ移動」では「自身の出身地またはその近隣」が45.7%ともっとも割合が高く、次いで「自身が同都道府県内または近郊に居住した経験のある地域」が25.8%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「自身の出身地またはその近隣」が34.6%ともっとも割合が高く、次いで「自身が同都道府県内または近郊に居住した経験のある地域」が22.4%となっている。

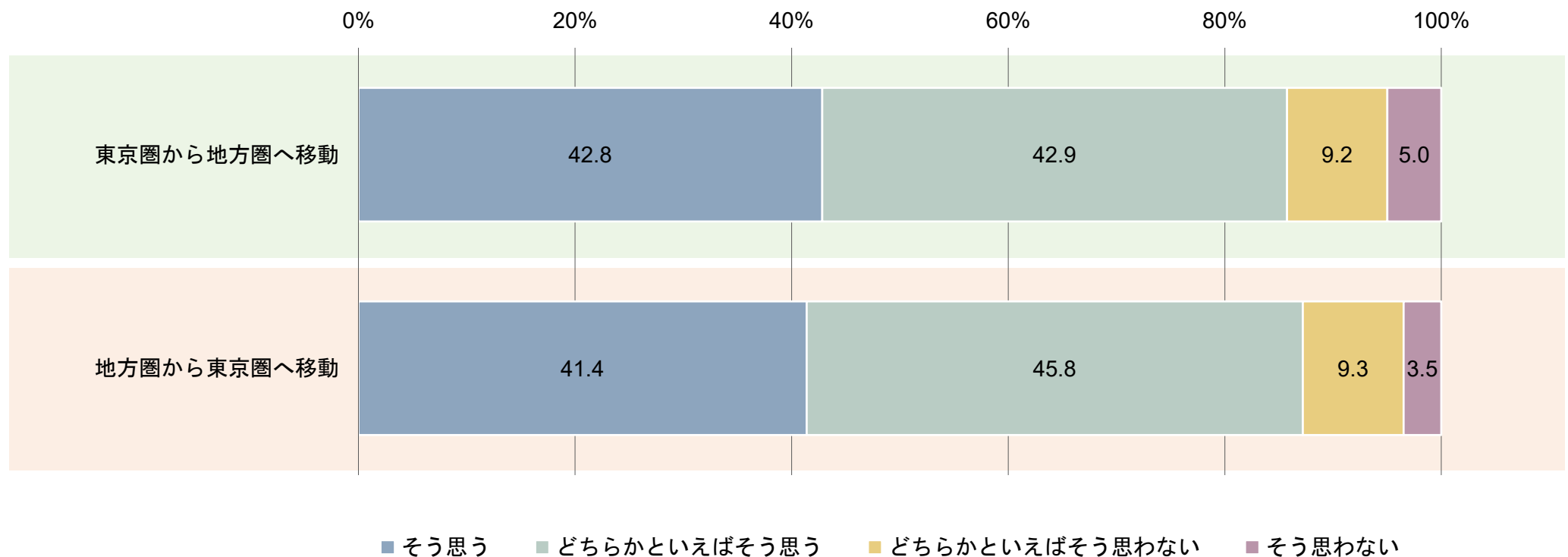


【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224

### 3. 集計結果

Q26. 生活、仕事、学業などにおけるデジタル化（テレワークやオンライン教育、遠隔医療など）が推進されることで、都市から地方へ転居しやすくなると思いますか。

- ・「東京圏から地方圏へ移動」では「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高く42.9%となっている。次いで、「そう思う」が42.8%、「どちらかといえばそう思わない」が9.2%となっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「どちらかといえばそう思う」の割合が最も高く45.8%となっている。次いで、「そう思う」が41.4%、「どちらかといえばそう思わない」が9.3%となっている。



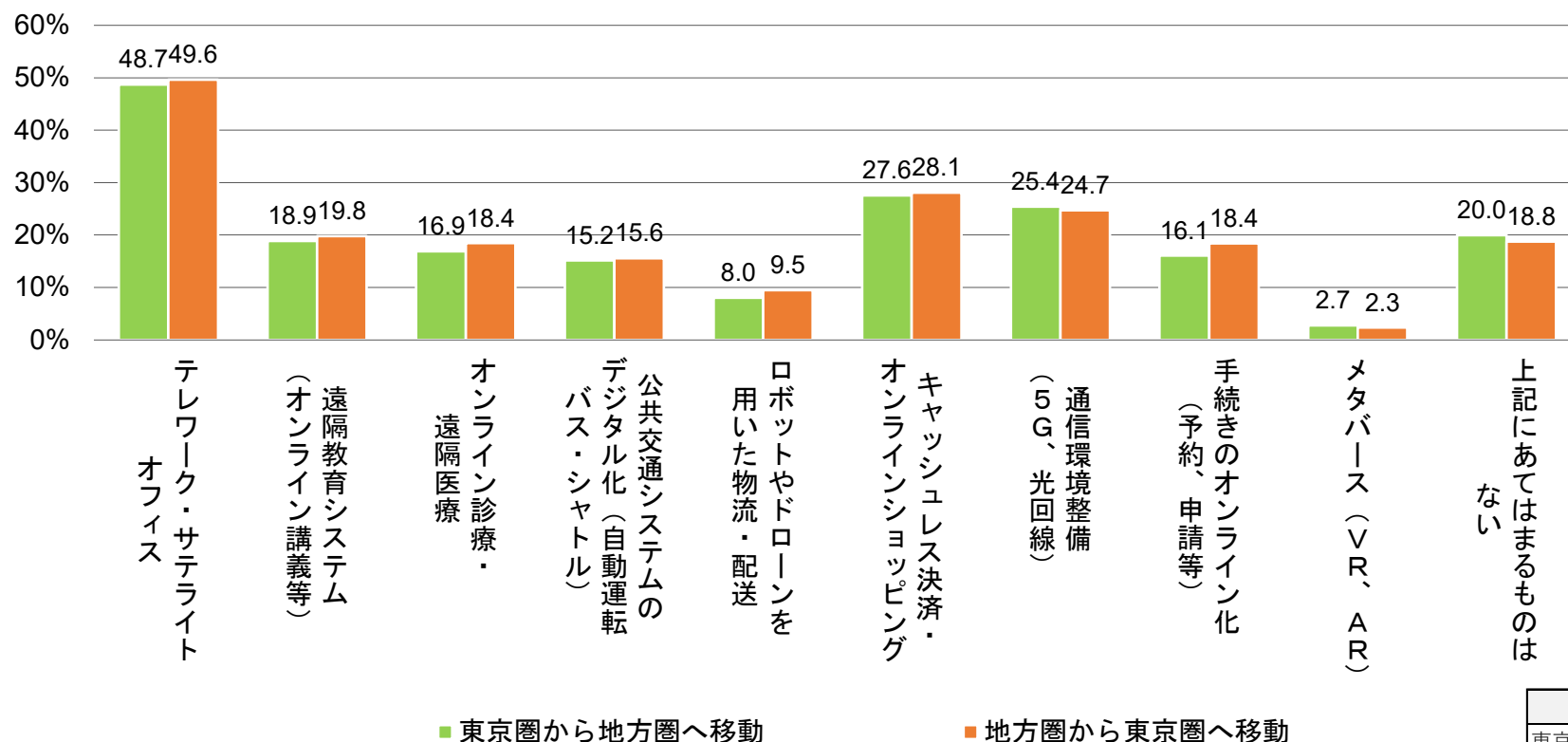
【該当サンプル数】	n=
東京圏から地方圏へ移動	916
地方圏から東京圏へ移動	1,224



### 3. 集計結果

Q27. デジタル技術の普及・進展に関して、あなたが居住地を選択する際の要因に与える影響が大きいと考えるものを、3つまでお答えください。（複数回答）

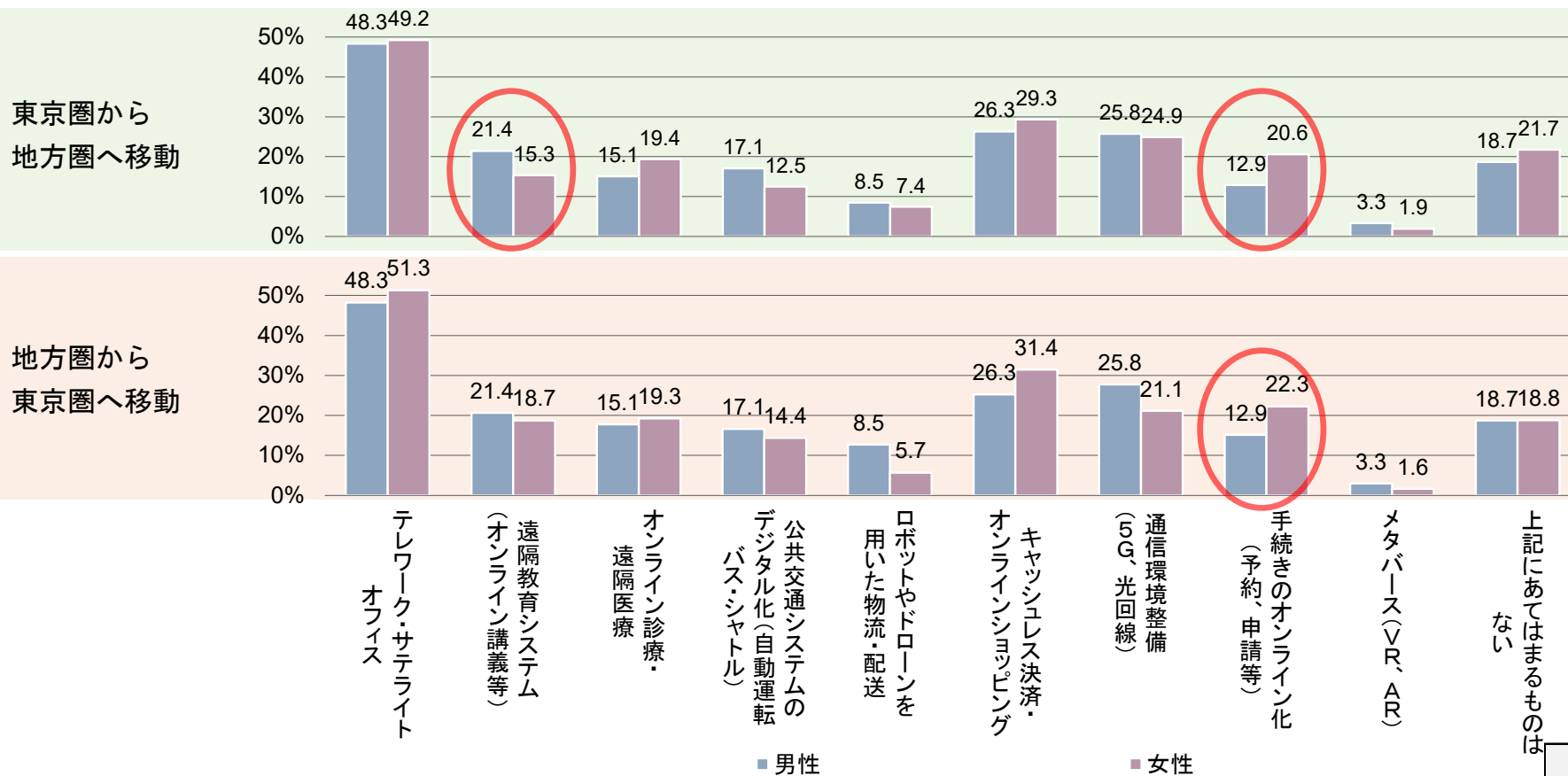
- 「東京圏から地方圏へ移動」では「テレワーク・サテライトオフィス」の割合が最も高く48.7%となっている。次いで、「キャッシュレス決済・オンラインショッピング」が27.6%、「通信環境整備（5G、光回線）」が25.4%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「テレワーク・サテライトオフィス」の割合が最も高く49.6%となっている。次いで、「キャッシュレス決済・オンラインショッピング」が28.1%、「通信環境整備（5G、光回線）」が24.7%となっている。



# 3. 集計結果

Q27. デジタル技術の普及・進展に関して、あなたが居住地を選択する際の要因に与える影響が大きいと考えるものを、3つまでお答えください。（複数回答） **（性別）**

- ・男女間で差が見られるのは、「東京圏から地方圏へ移動」では「遠隔教育システム（オンライン講義等）」や「手続きのオンライン化（予約、申請等）」などとなっている。
- ・「地方圏から東京圏へ移動」では「手続きのオンライン化（予約、申請等）」に差が見られ、女性が高い割合を示している。



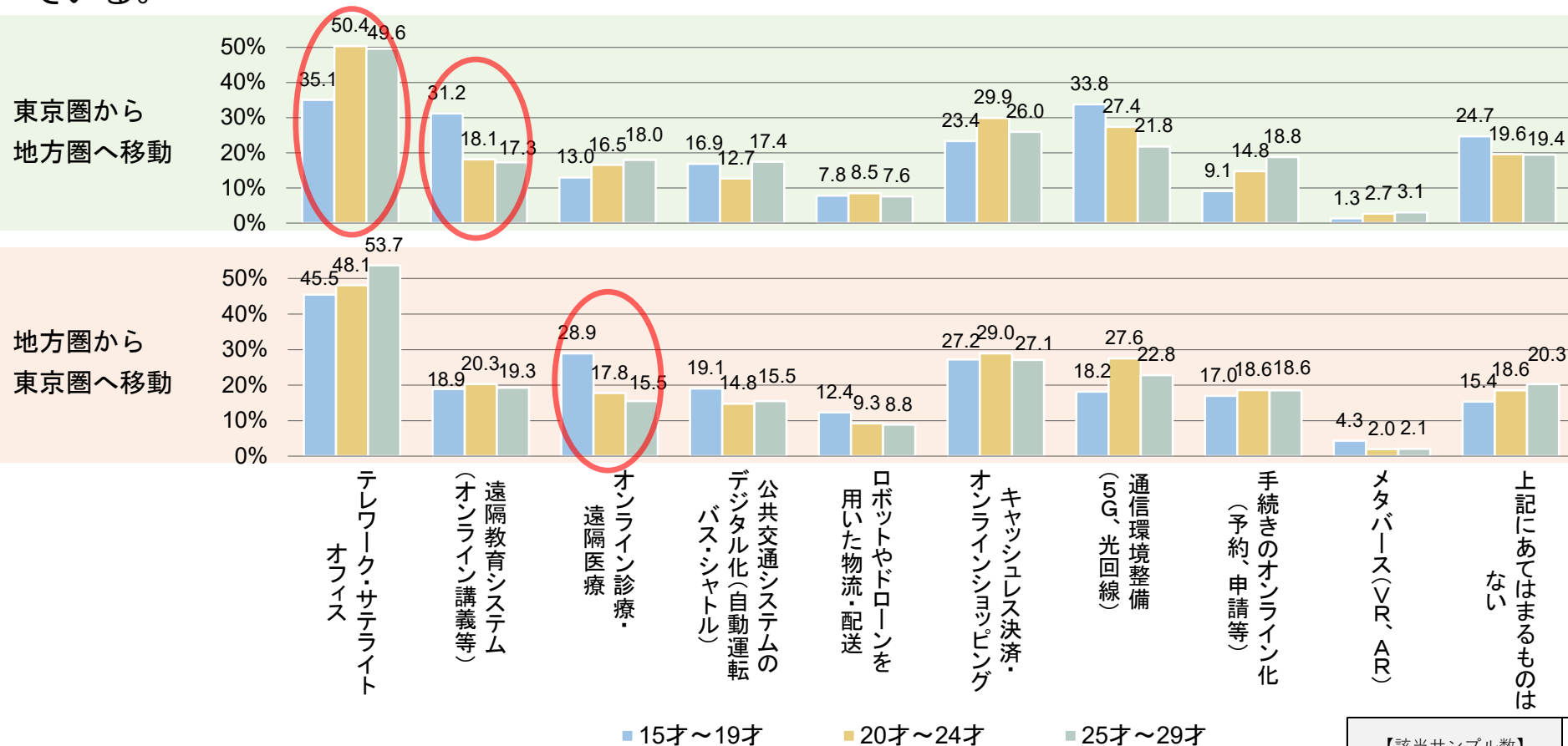
【該当サンプル数】	n=	
	男性	女性
東京圏から地方圏へ移動	217	699
地方圏から東京圏へ移動	287	937



# 3. 集計結果

Q27. デジタル技術の普及・進展に関して、あなたが居住地を選択する際の要因に与える影響が大きいと考えるものを、3つまでお答えください。（複数回答） **（年齢階級別）**

- 「東京圏から地方圏へ移動」では、「テレワーク・サテライトオフィス」で「15才～19才」の割合が他の年齢階級に比べ低く、「遠隔教育システム（オンライン講義等）」では「15才～19才」が高くなっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では、「オンライン診療・遠隔医療」において「15才～19才」が高くなっている。

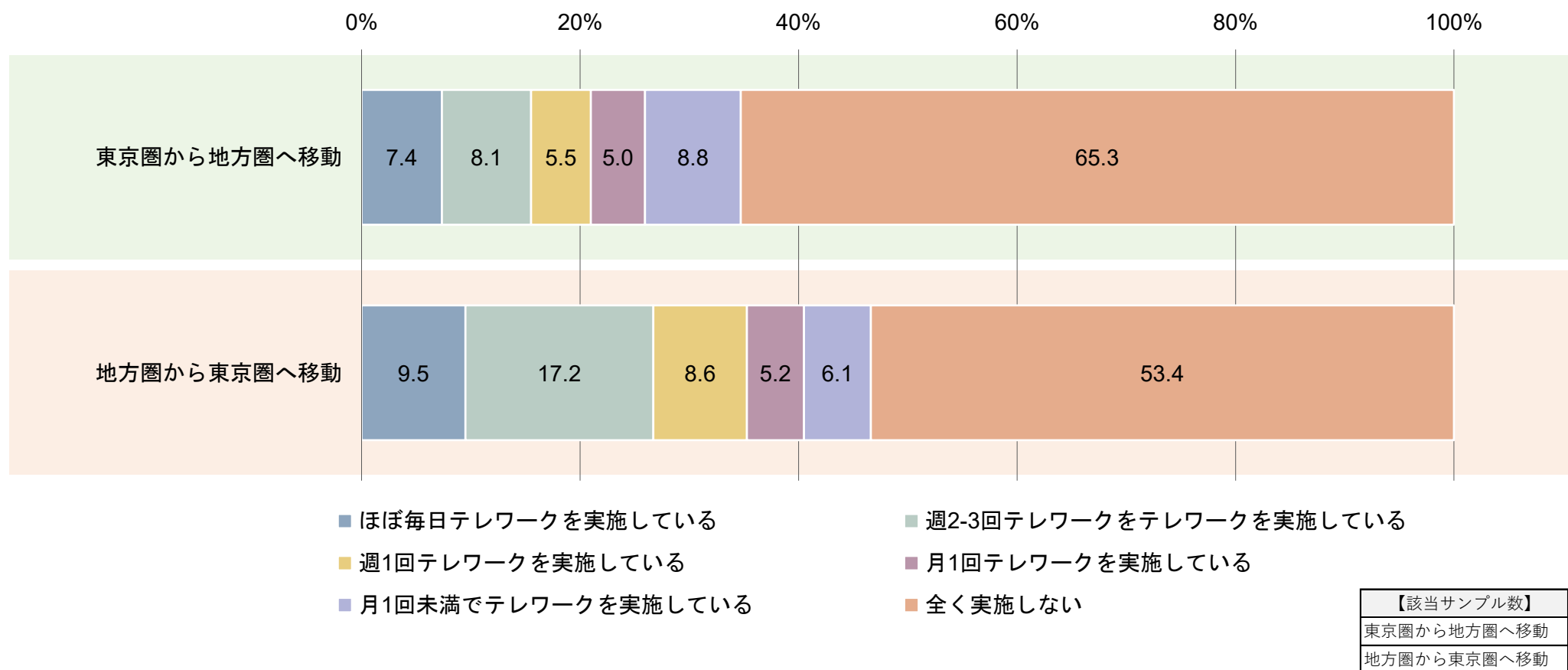


【該当サンプル数】	n=		
	15-19才	20-24才	25-29才
東京圏から地方圏へ移動	45	298	573
地方圏から東京圏へ移動	161	427	636

### 3. 集計結果

Q28. あなたが勤務する企業または団体におけるテレワークの実施頻度をお答えください。

- 「東京圏から地方圏へ移動」では「全く実施しない」の割合が最も高く65.3%となっている。次いで、「月1回未満でテレワークを実施している」が8.8%、「週2-3回テレワークを実施している」が8.1%、「週1回テレワークを実施している」が5.5%、「ほぼ毎日テレワークを実施している」が7.4%となっている。
- 「地方圏から東京圏へ移動」では「全く実施しない」の割合が最も高く53.4%となっている。次いで、「週2-3回テレワークを実施している」が17.2%、「ほぼ毎日テレワークを実施している」が9.5%、「週1回テレワークを実施している」が8.6%、「月1回未満でテレワークを実施している」が6.1%、「月1回テレワークを実施している」が5.2%となっている。



## 4.まとめ

---

# 4. まとめ

(項目)	東京圏から地方圏へ移動	地方圏から東京圏へ移動
就労・就学形態の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移動前に比べ移動後では、自営業・フリーランスの割合が増加し、正規職員・社員が低下。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移動前に比べ移動後では、正規職員・社員の割合が若干増加し、自営業・フリーランスがやや低下。</li> </ul>
職業の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移動前と比べ移動後の割合が比較的高くなっている業種は「情報通信業」「医療・福祉」などとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 移動前と比べ移動後の割合が大きく上昇した業種は「情報通信業」。「医療・福祉」も比較的高くなっている。</li> </ul>
同居している家族の構成	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「一人暮らし」の割合が4割超と最も高く、次いで「父親・母親」が約3割となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「一人暮らし」の割合が7割近くで最も高く、次いで、「配偶者（事実婚のパートナーを含む）」が15%程度となっている。</li> </ul>
転居の都合	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「転居はあなた自身の都合に基づくものであった」が約8割となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「転居はあなた自身の都合に基づくものであった」が8割超となっている。</li> </ul>
転居のきっかけ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」、「就職」がそれぞれ2割を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「就職」「進学」「転勤（人事異動等）、職場が再編（部署ごとオフィスが移動、合併、分割等）」がそれぞれ2割を超えている。</li> </ul>
転居の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕事・学業関連では、「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」が4割近くあり、最も高い。</li> <li>■ その他・生活関連では、「家賃、食費、日用品の購入費などの生活コストを抑えるため」、「地元または慣れ親しんだ地域（居住、訪問経験あり）で暮らすため」が2割近くとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 仕事・学業関連では、「希望する仕事・職場、学びたいこと・学校があったため」が5割を超え、最も高い。</li> <li>■ その他・生活関連では、「生活利便性、生活環境、安心・安全の良さ」、「東京圏へのあこがれや良いイメージがあるため」が3割を超えている。</li> </ul>
東京圏・地方圏での暮らしへの希望の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京での暮らしを希望する割合が、2020年4月以前の47.3%から現在（2023年1月時点）では34.3%まで下がり、地方圏での暮らしを希望する割合は、20.6%から35.3%まで上昇している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 東京での暮らしを希望する割合は約6割で推移。地方での暮らしは15.6%から18.9%へと若干上昇している。</li> </ul>

# 4. まとめ

(項目)	東京圏から地方圏へ移動	地方圏から東京圏へ移動
居住地選択で重視していることの変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「人の混雑の少なさ」を重視する人の割合が新型コロナウイルス感染拡大直後から高まっている。</li> <li>■ 「大都市へのアクセスの良さ」を重視する人の割合が、コロナ感染拡大直後低下し、現在も低下したままの水準となっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「人の混雑の少なさ」を重視する人の割合が新型コロナウイルス感染拡大直後から高まっている。</li> </ul>
東京圏のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」が3割近くとなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「東京圏は人・モノ・情報が集まっているため、豊かな生活ができる」が3割を超えている。</li> <li>■ 「東京圏から地方圏へ移動」に比べ、「新たなことに挑戦しやすい風土がある」「同じ会社や同じ職業でも、やりがいのある仕事が多くなった」などの割合が高くなっている。</li> </ul>
地方圏のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」が、2割を超えている。</li> <li>■ 「地方圏から東京圏への移動」に比べ、「地方圏の生活環境が良くなって住みやすくなっている」などの割合が高くなっている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「地方圏では人・モノ・情報が集中していないため、のんびり生活できる」が2割を超えている。</li> </ul>
地方圏居住の意向	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「住みたい」とする割合は、「自身の出身地またはその近隣」が4割を超え、「自身が同都道府県内または近郊に居住した経験のある地域」「自身が仕事・観光等で訪問したことのある地域」が2割を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「住みたい」とする割合は、「自身の出身地またはその近隣」が3割を超え、「自身が同都道府県内または近郊に居住した経験のある地域」が2割を超えている。</li> </ul>

## 4. まとめ

(項目)	東京圏から地方圏へ移動	地方圏から東京圏へ移動
デジタル化の推進と地方居住のしやすさ	■ デジタル化の推進によって地方居住がしやすくなるかということについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせて、約86%がしやすくなるとしている。	■ デジタル化の推進によって地方居住がしやすくなるかということについては、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせて、約87%がしやすくなるとしている。
居住の選択に影響を与える要因(デジタル化技術)	■ 「テレワーク・サテライトオフィス」の割合が約49%と最も高く、次いで「キャッシュレス決済・オンラインショッピング」、「通信環境整備(5G、光回線)」が2割を超えている。	■ 「テレワーク・サテライトオフィス」の割合が約50%と最も高く、次いで「キャッシュレス決済・オンラインショッピング」、「通信環境整備(5G、光回線)」が2割を超えている。
テレワークの実施状況	■ 「全く実施しない」の割合が6割を超えている。	■ 「全く実施しない」の割合は5割を超えており、「週2-3回テレワークをテレワークを実施している」が2割近くとなっている。

## **【参考資料】 過年度調査結果（抜粋）**

---

# 過年度調査結果

- ・ 2018年度～2021年度にかけて実施した、今年度調査と同種の下記4つの調査につき、今年度調査と類似する設問に係る集計結果を整理した。

## 【過年度調査の概要】

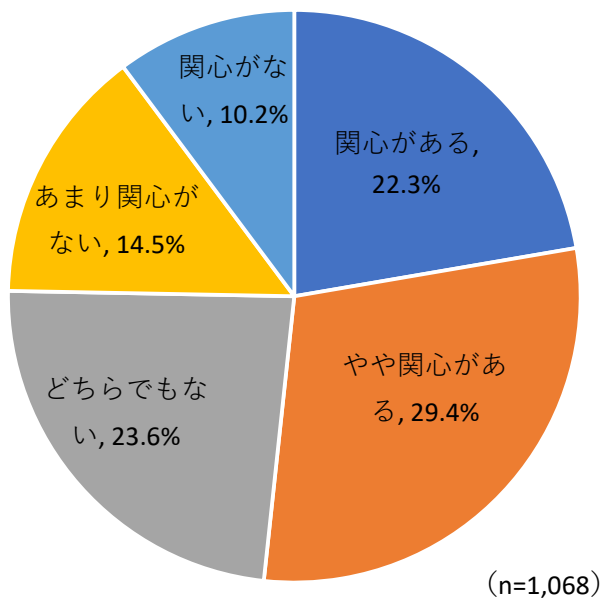
	実施年度	調査対象	移動の別	
			東京圏 → 地方圏	地方圏 → 東京圏
東京在住者の今後の暮らしに関する意向調査報告書	2018年度	東京都在住の18～69歳の男女	—	(出身地ベースの移動)
若年層における東京圏・地方圏移動に関する意識調査報告書	2019年度	20～34歳の男女	過去4年以内に東京圏から地方圏に住民票を移したもの	過去4年以内に地方圏から東京圏に住民票を移したもの
東京圏、地方での暮らしや移住及び地方への関心に関する意識調査報告書	2020年度	20～30代の男女	地方移住者UJ/Iターン者	東京圏への転入者
東京圏から東京圏外への移住の意識・行動に関するアンケート調査報告書	2021年度	10代～70代以上の男女	東京圏から東京圏外への移住	—



# 過年度調査結果

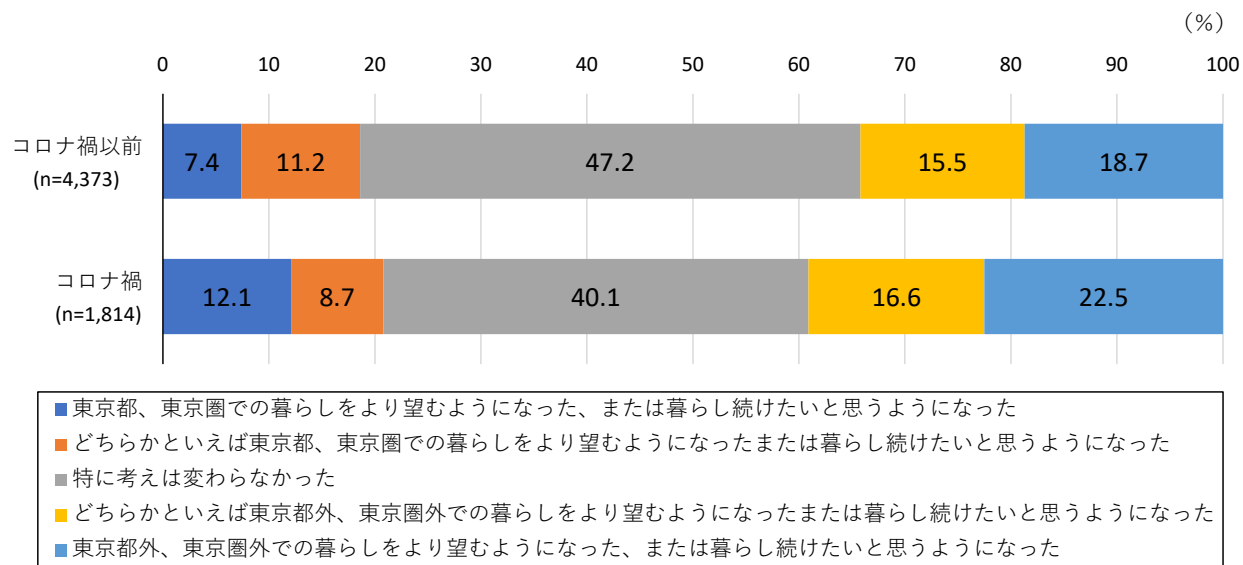
## ■ 地方圏（東京圏以外）での暮らしに対する意識・関心 （今年度調査：Q17～19関連）

【2020年度調査】（東京圏への転入者）  
－地方での暮らしに対する関心－



(資料) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏、地方での暮らしや移住及び地方への関心に関する意識調査（令和2年9月）」より作成

【2021年度調査】（東京圏から東京圏外への移住者）  
－東京圏以外で暮らすことへの考え方の変化－



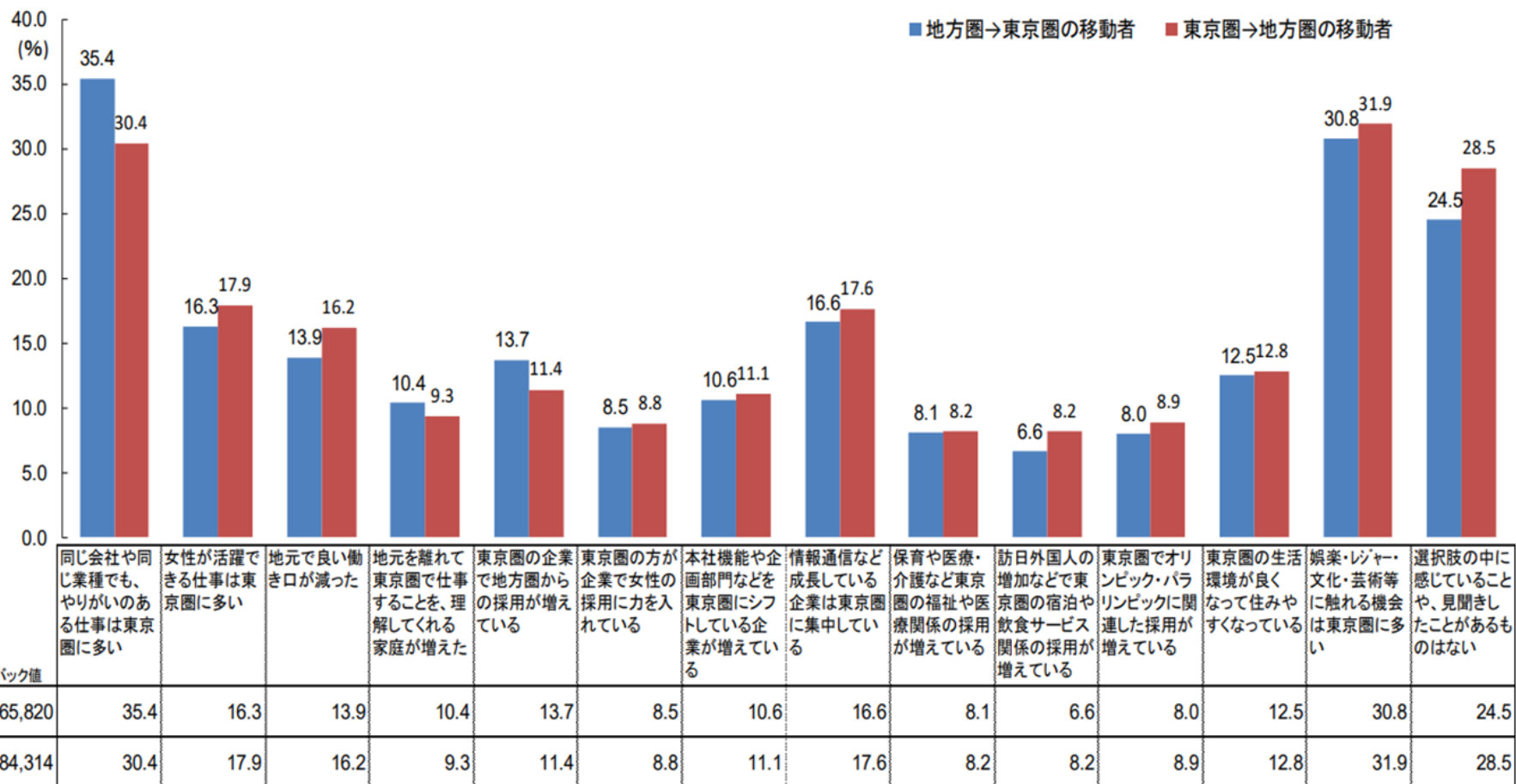
(資料) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏から東京圏以外への移住者の意識・行動に関するアンケート調査結果（令和3年11月）」より作成

# 過年度調査結果

## ■ 東京圏のイメージ (今年度調査：Q23関連)

【2019年度調査】

－ 感じていることや見聞きしたことがあること －



(※) 本設問は、「東京圏について」 感じていることや見聞きしたことがあることに限定していない。

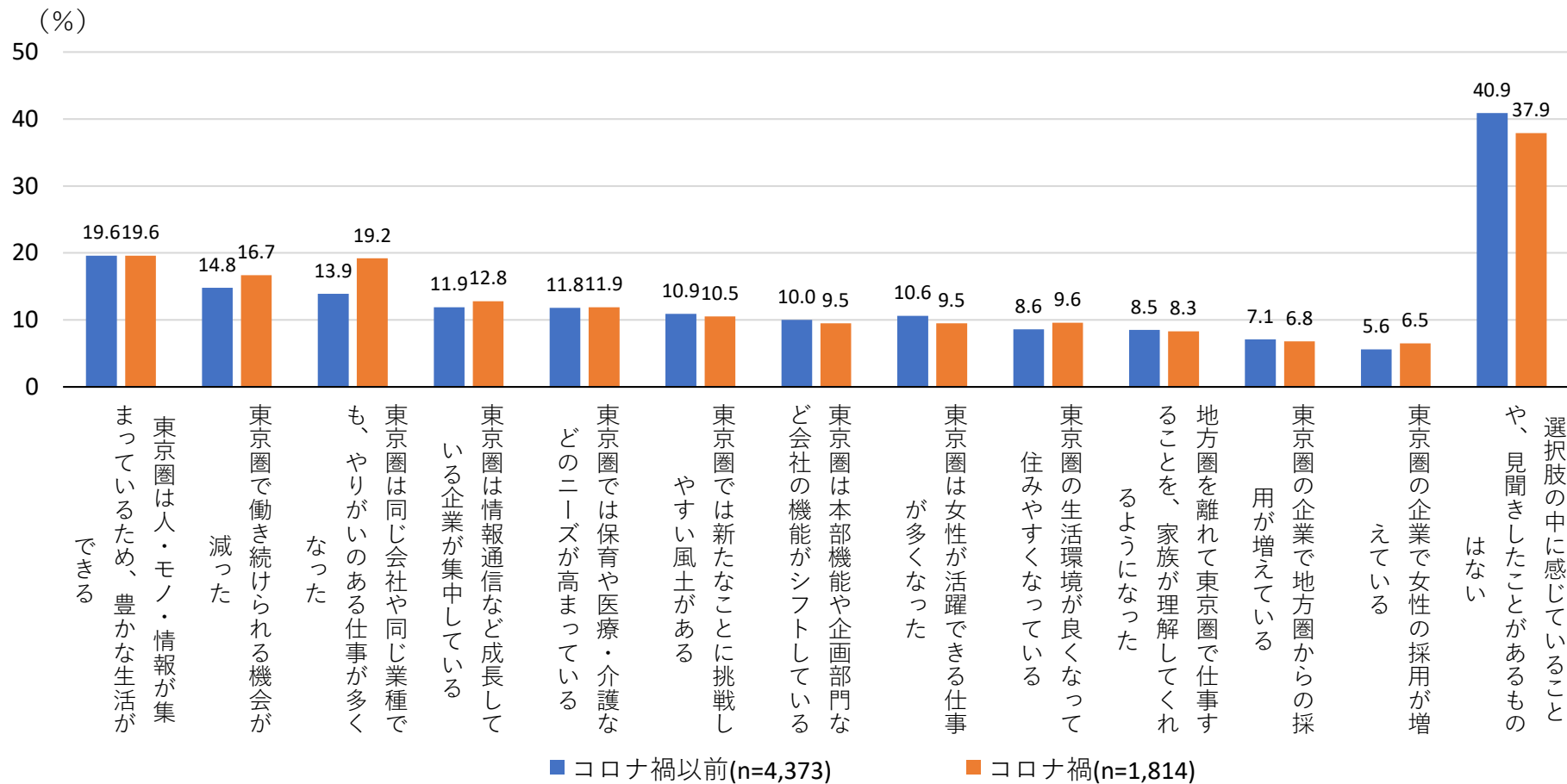
(出所) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「若年層における東京圏・地方圏移動に関する意識調査（2019年4～5月調査）」

# 過年度調査結果

## ■東京圏のイメージ（続き）

（今年度調査：Q23関連）

【2021年度調査】（東京圏から東京圏外への移住者）  
 -東京圏のイメージとして感じていることや見聞きしたこと-

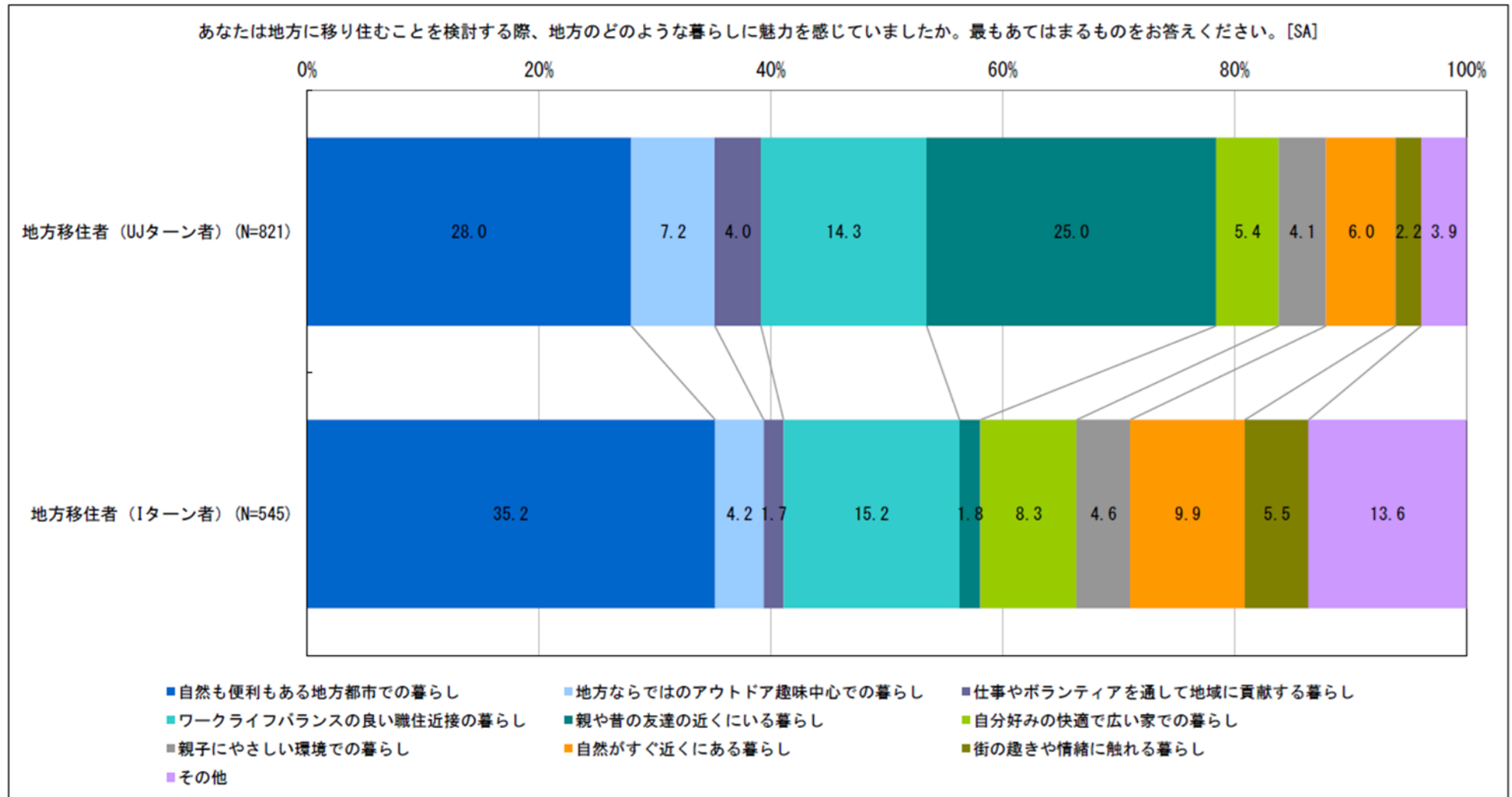


（資料）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏から東京圏以外への移住者の意識・行動に関するアンケート調査結果（令和3年11月）」より作成

# 過年度調査結果

## ■ 地方圏のイメージ (今年度調査：Q24関連)

【2020年度調査】 (地方移住者)



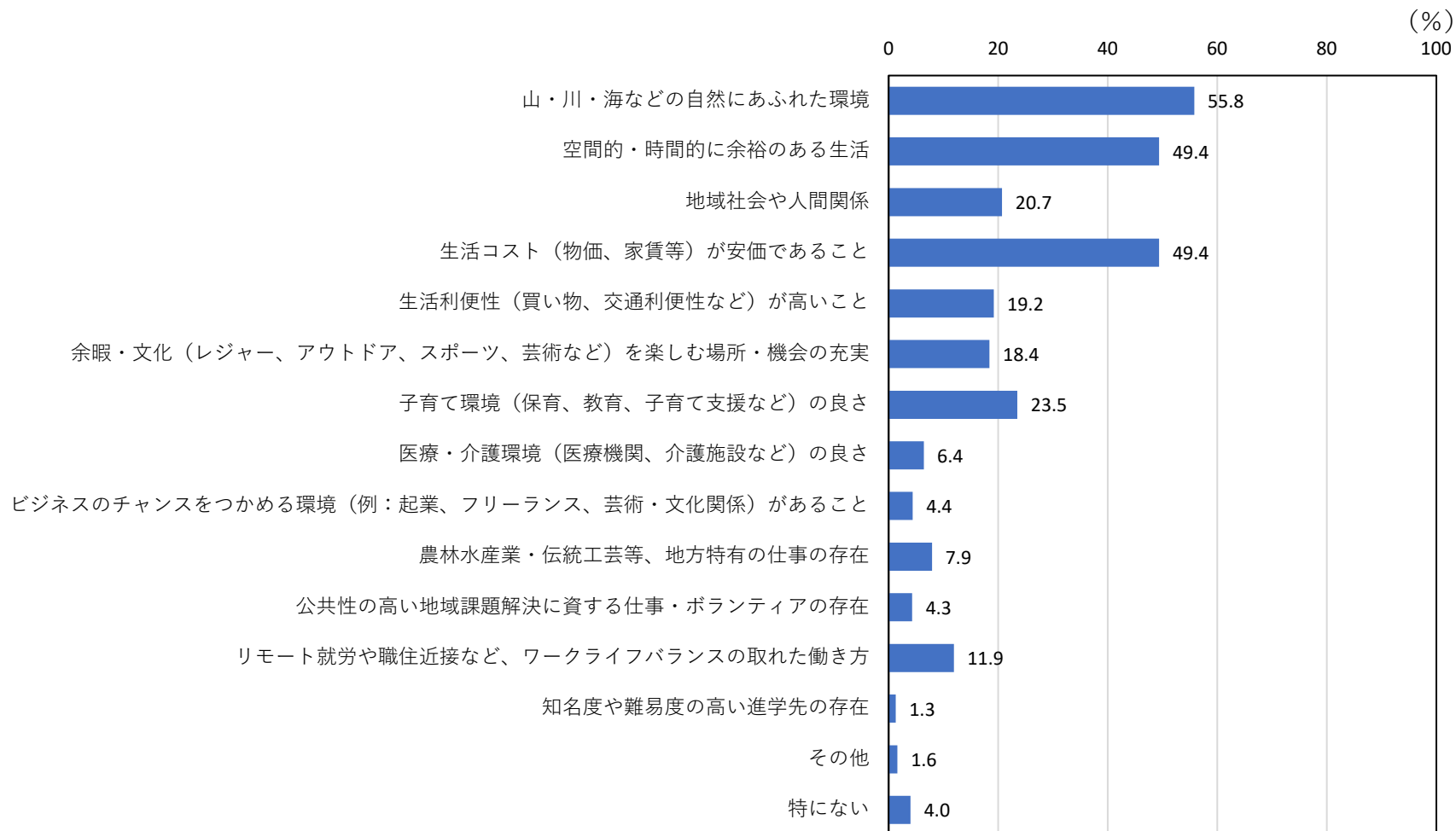
(出所) 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏、地方での暮らしや移住及び地方への関心に関する意識調査 (令和2年9月)」

# 過年度調査結果

## ■ 地方圏のイメージ（続き）

（今年度調査：Q24関連）

【2020年度調査】（東京圏転入者 + 生まれよりの東京在住者）



※地方で暮らすことに「関心がある」または「やや関心がある」と回答した人を対象とする集計結果

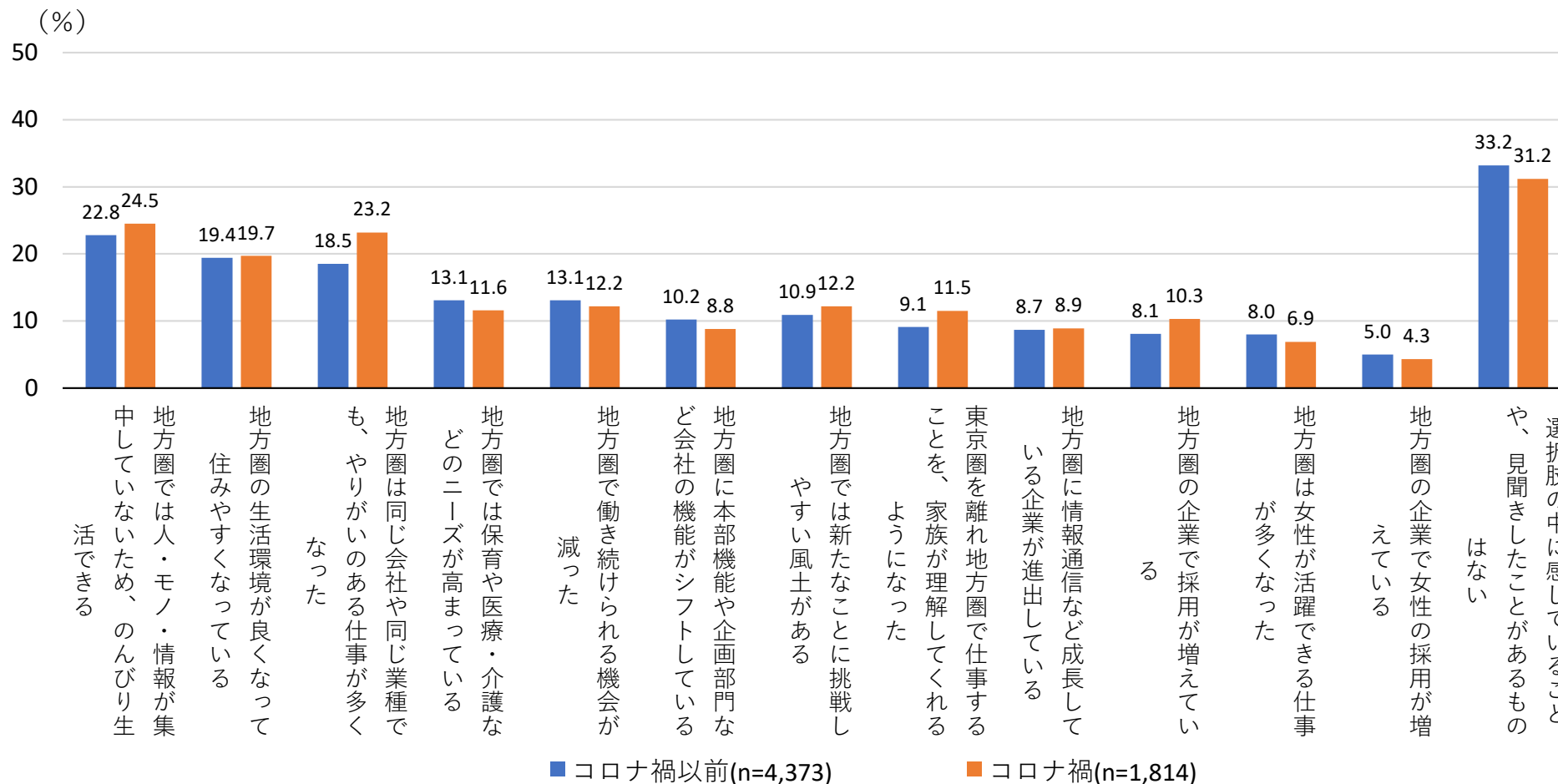
（出所）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏、地方での暮らしや移住及び地方への関心に関する意識調査（令和2年9月）」

# 過年度調査結果

## ■ 地方圏のイメージ（続き）

（今年度調査：Q24関連）

【2021年度調査】（東京圏から東京圏外への移住者）  
 - 地方圏のイメージとして感じていることや見聞きしたこと -



（資料）内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局「東京圏から東京圏以外への移住者の意識・行動に関するアンケート調査結果（令和3年11月）」より作成